

STARFAX® 14

STARFAX® 14 Lite



お使いになる前に

FAXを送信する

FAXを受信する

電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる

データやプログラムの管理

グループFAX機能を使う

もっと使いこなす

困ったときは

サポートサービスについて

ユーザーズマニュアル

目次

お使いになる前に

7

FAX機からSTARFAXでこう変わる!	8
マニュアルの読み方	10
STARFAXのセットアップを行う前に	13
STARFAXをセットアップする	14
セットアップする	14
以前のSTARFAXシリーズをご利用の場合	16
FAX送信をためす(始めにやってみよう)	17

FAXを送信する

21

FAXを送信するには?	22
原稿を決める	24
ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う	24
原稿の画質を選ぶ	26
ドラッグ&ドロップを使う	27
ファイルの選択画面から選ぶ	28
スキャナから取り込む	29
定型原稿を使う	30
過去に送受信した原稿を使う	31
別の原稿を追加する	32
登録した原稿を確認する	33
登録した原稿を編集する	34
登録した原稿を取り消す	35
登録した原稿から不要なページを取り消す	36
送付状を選ぶ	37
STARFAXの送付状とは?	37
差出人情報を登録・編集する	38
送付状を選ぶ	39
登録した送付状を確認する	41
登録した送付状を取り消す	41

ワード送付状を選ぶ <small>SF14 ONLY</small>	42
登録したワード送付状を確認する <small>SF14 ONLY</small>	44
登録したワード送付状を取り消す <small>SF14 ONLY</small>	44
FAXの送り先を決める	45
番号ボタンで入力する	45
電話帳から選ぶ	46
短縮パネルから選ぶ	47
登録した送り先を取り消す	48
送信を開始する	49
送信を開始する	49
予約送信する(送信開始日時を指定)	50
予約送信する(送信する時間帯を指定)	51
割り込み送信する	52
送信を中止する	53
FAXの送信結果を見る	54
FAXの送信結果を見る	54
送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する	55
送信結果の一覧表を保存・印刷する	56

FAXを受信する

57

FAXを受信するには?	58
FAXを受信する	59
自動受信を使う	59
手動受信を使う	60
受信しないように設定する	62
受信したFAXを確認する	63
受信結果を見る	63
受信したFAXを表示する	64
受信したFAXを編集する	65
受信したFAXを印刷する	66
受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する	67
受信結果の一覧表を保存・印刷する	68
FAXを自動的にメール転送・印刷・PDF保存する <small>SF14 ONLY</small>	69
送受信したFAXをメールで転送する	69
受信したFAXをプリンタで印刷する	71
受信したFAXをFAXで転送する	72
受信したFAXを指定したフォルダにPDF形式で保存する	73

電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

75

電話帳を登録・変更・削除する	76
電話帳を登録する	76
エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する	SF14 ONLY
※14LiteはCSVのみ対応	77
電話帳を変更する	79
電話帳を削除する	80
グループ設定を使う	81
電話帳を一覧表(CSV)に書き出す・印刷する	83
短縮パネルを登録・変更・削除する	84
短縮パネルを登録する	84
短縮パネルを変更する	85
短縮パネルを削除する	86

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる

87

STARFAXの送付状とは?	88
サンプルの送付状を変更して、オリジナル送付状をつくる	89
ワードの書類を変更してワード送付状にする	SF14 ONLY
	93

データやプログラムの管理

97

データをバックアップする	98
データを復元する・他のパソコンへデータを移す	99
オンラインアップデートについて	100
STARFAXをアンインストール(削除)する	101

グループFAX機能を使う

SF14 ONLY

103

グループFAX機能とは	104
セットアップする	105
サーバー(親)をセットアップする	105
クライアント(子)をセットアップする	106
クライアント(子)とOCXをセットアップする	107

STARFAX 14サーバーにクライアントを追加する方法	108
STARFAX 14サーバーにSTARFAX 14 またはSTARFAX13クライアント(子機)を追加する	108
使用方法について	109
クライアントの使用方法(4つの設定について)	109
クライアントの使用方法(自由設定について)	110
クライアント(子)別に使用方法を設定する	111
接続方法について	112
クライアントとの接続方法(2つの接続方法について)	112
「ユーザー名・パスワードによるログインでの接続」について	113
クライアント(子)のデータを移動する	114
運用について	115
クライアント(子)の送信FAXを確認する	115
クライアント(子)送信待ちFAXを取り消す	116
グループFAX機能を停止・再開する	117
接続できるクライアント(子)台数の確認方法	118

もっと使いこなす 119

同報送信について	120
同報送信(1つの原稿を複数の相手先に送信)を行う	120
同報送信を一時停止・再開する	121
QRコード付きのFAX原稿を送る	122
相手に応じて差出人情報を使い分ける	125
ページヘッダを使う	126
話しの中で送信できなかった相手に再度送る(再送信)	128
ページFAXを使う <small>SF14 ONLY</small>	129
定型原稿に登録する	130
複数の電話帳を使いわける	132
電話帳登録せずに送付状に送り先の情報を差し込む	134
FAX情報サービスを使う	135
インターネットFAXとは? <small>SF14 ONLY</small>	137

「相手ファクシミリが応答しません。配線不備の可能性もあります」が表示されてFAXの送信が行えない	140
STARFAXで受信させたいのに、FAX機が受信してしまう	140
「発信音を検出できません」と表示されてFAXが送れない	141
「ノイズ(モデム、併用するFAX機)により通信できません。」が表示されて、FAXの送受信が行えない	141
送信した原稿のサイズが小さくなる	144
FAX原稿が作成できない(ステーションに登録できない)	144
FAX原稿の文字が薄い	144
FAX原稿のページ数が変わってしまう(ページ割れする)	144

ライセンスについて	146
ライセンス認証(アクティベーション)	147
ユーザーサポートを受けるためには	149
ユーザー登録が必要です	149
お問い合わせの前に	150
お問い合わせ方法は	151
製品を紛失したときは	152
ユーザー登録の内容を変更したいときは	152

お使いになる前に

FAX機からSTARFAXでこう変わる!	8
マニュアルの読み方	10
STARFAXのセットアップを行う前に	13
STARFAXをセットアップする	14
セットアップする	14
以前のSTARFAXシリーズをご利用の場合	16
FAX送信をためす(始めにやってみよう)	17

FAX機からSTARFAXでこう変わる!

悩み1

○FAX機だと「いつ、誰に、どの書類を」送ったのかわからない。

請求書、納品書、見積書、報告書などで使う定型書類……

せっかくパソコンで作った書類なのに、印刷して、FAX機に読み取らせて、FAX番号をダイヤルして……

ほんと面倒!

それに「いつ」「誰に」「どの書類を」送ったのか、わからなくなってしまうし、どうしたらいいの?

これで 解決!

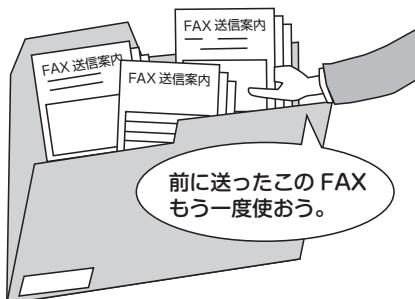
送信記録を確認可能。

送信記録からFAXを再送信することもできます。

●データをSTARFAXの画面にドラッグするだけで、簡単に原稿をセットできます。

●送信ログを管理できるから、「いつ」「誰に」「どの書類を」送ったのか、画面上で確認可能。宛先ごとに並べ替えも一瞬。FAXを再送信したり、別の送り先にFAX送信することもできます。

パソコンで作ったファイルをそのままSTARFAXにドラッグするだけで、FAX送信ができるようになって、ほんと便利! 送信記録も残ってるから、いちいちFAXを紙ベースでファイリングしなくてもよくなつたわ。



悩み2

○一度にセットできる宛先が少なく、セットするのに時間が掛かる

一度に送れる数に限界があって、相手先をセットするのに膨大な時間が!

IP電話回線で、通話料が以前の数分の1の料金で通信できるようになったから、同じ経費でもっと送信件数を増やしたい! でも数百件が限界……しかも、何件キチンと送れたのかも分かりにくい。

これで 解決!

電話帳画面から、多数の宛先を簡単セット。

STARFAXなら結果レポートも画面で確認可能。

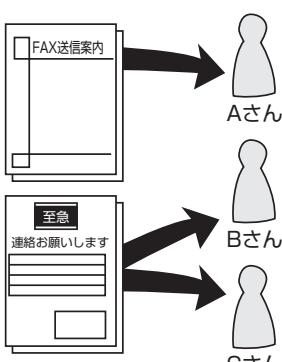
●エクセルなどの、別ソフトのデータからFAX番号を抜き出し、ワンタッチで宛先セットができるから、手間いらす。

●繰り返し使う送信先リスト(電話帳)を何冊でも持て、そのつど切り替え可能だから、機動性抜群。

●宛先を1万件まで一度にセット、スタートボタンを押すだけだから、後はパソコン任せ。

●送信結果は、画面で確認。結果レポートをファイルで取り出したり印刷できるから、宛先管理へのフィードバックも楽。

今まで宛先セットの大変だったFAX機に比べて一度にたくさん の宛先を間違いなく指定できるから、簡単で安心! 送信できなかつた宛先もちゃんとリストで確認して、再送信すれば大丈夫、これまた便利。時間とお金を削減できて、ほんとよかつた!

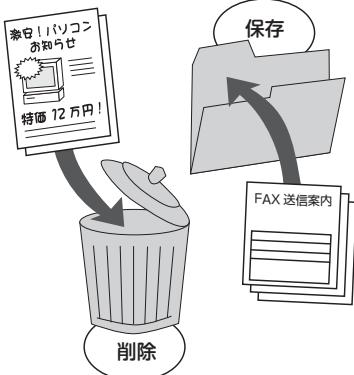


パソコンソフト「STARFAX」であなたの悩みを解決!

悩み3

仕事のFAXに紛れて広告FAXが多い…紙やトナーの無駄。

不要なFAXの受信は、紙やトナーの無駄。うちは複合機なので、カウンターが加算されて経費に響く! それに最近広告FAXが多くなっていて、以前うっかりして、大切なFAXを捨てそうになった。



これで解決!

必要なものだけ印刷、不要なものは画面上で削除。 経費削減間違いない!

- 必要なものだけを印刷、不要なものは画面上で削除できるから、経費削減。
- 紙が減ると保管場所も不要になって、紙以外のコスト削減効果も。

今までの紙代ってほんと無駄だったなあ……会社では「経費削減!」つていろいろやってるけど、こんなところで無駄遣いしてたら、意味なかったかも? 紙が多く発生する事務所では、効果バツグンですよ。

お使いになる前に

悩み4

受信FAXを関係者に回覧するために、人数分コピーするのは手間も掛かって、紙も無駄。

人数分コピーする必要があるから、手間も掛かって、紙も無駄。何かいい方法ないかな~



これで解決!

STARFAXなら、受信FAXをメール添付で転送可能。 画像データとして保存もできます。

- 受信FAX画像をメールに添付できるから、紙を使わず、関係者に回覧が可能。
- 相手FAX番号ごとに転送先を変更できるから、配布作業から解放。

今まで1枚1枚コピーして配ってたけど、その手間もなくなった。それにメールだからタイムリーに送信できて、情報伝達もスピーディーに……

今じゃそのメールに返信してくれる社員もいて、反応もいい! 便利なものはやっぱり使わないと損ですよね。



Aさん
Bさん

マニュアルの読み方

マニュアルは紙と電子マニュアルに分かれています。
用途にあわせてお読みください。

使いになる前に

■マニュアルについて

FAXモデム接続ガイド	はじめにお読みください。 電話回線の繋ぎ方がわかります。
ユーザーズマニュアル	本書です。STARFAXの操作方法がわかります。 Windowsのスタートから[すべてのプログラム]→[STARFAX 14(または、14 Lite)]→[マニュアル&Webページ]→[ユーザーズマニュアル(PDFマニュアル)]で本書のPDF版が開きます。 ※本マニュアルはSTARFAX 14/14Liteとの共用マニュアルとなっております。
ヘルプ(電子マニュアル)	ユーザーズマニュアルにのっていない説明や操作方法がわかります。 Windowsのスタートから[すべてのプログラム]→[STARFAX 14(または、14 Lite)]→[マニュアル&Webページ]→[ヘルプ]で開きます。

※開発中の画面で作成しているため、実際の画面と一部異なることがあります。

■記号について

 **注意** 機能を使用する上で特に注意しなければならないことを記載しています。

 **役立つ情報** 機能を使用する上で知っていると役立つ情報を記載しています。

 **参考** 機能に関連する情報の参考箇所を記載しています。

SF14 ONLY このマークの機能は14Liteには搭載されていません。

■マウスの操作方法について



クリック

マウスの左ボタンを押してすぐにはなす操作です。



ダブルクリック

マウスの左ボタンをカチカチッと2回クリックする操作です。



右クリック

マウスの右ボタンを押してすぐにはなす操作です。



ドラッグ&ドロップ

マウスのボタンを押したままマウスを動かして、移動先でボタンをはなす操作です。

■動作環境		STARFAX 14				STARFAX 14Lite							
対応 OS	Windows 7/Vista	32bit	○	64bit	○	32bit	○	64bit	—				
	Windows XP		○	—	—		○	—	—				
CPU	1GHz 以上												
メモリ	512MB 以上												
ハードディスク	500MB 以上												
FAX モデム	スーパー G3・G3 規格対応機器				G3 規格対応機器								
FAX 回線	NTT 電話回線、またはそれに準拠する電話回線が必要												
インターネット環境	ライセンス認証	○		○		○							
	プログラム更新	○		○		○							
	グループ FAX 機能	○		—		—							
ディスプレイ	解像度 800×600 以上、65,536 色以上が必要												
サウンドデバイス	音声ガイダンス・着信音機能利用時にサウンドカードとスピーカが必要												
CD-ROM	パッケージ版はインストール時に CD-ROM ドライブが必要												
周辺機器	マウス、キーボードが必要												
制限事項	インストールは管理者権限 (Administrator) 使用は標準ユーザー権限 (User) 以上が必要												
■FAX通信仕様		STARFAX 14				STARFAX 14Lite							
通信機能	スーパー G3	○		—		—							
	G3	○		○		○							
通信速度	33600 ~ 16800bps	○		—		—							
	14400 ~ 2400bps	○		○		○							
原稿解像度	・ファイン (200*200dpi) ・ノーマル (200*100dpi) ・スーパーファイン (200*400dpi)												
画像圧縮機能	MH/MR/MMR	○		○		○							
	JPEG	カラー時: ○		—		—							
対応原稿サイズ	A3/B4	○		—		—							
	A4/B5/A5	○		○		○							
制限事項	・スーパー G3 を利用する場合は スーパー G3FAX モデムが必要 ・カラー FAX を使用する場合は Class1.0 または Class1 規格 の FAX モデムが必要 ・カラー FAX は用紙サイズ A4、 解像度はファイン								Class1.0 または Class1 規格の FAX モデムが必要。				
■入出力形式		STARFAX 14				STARFAX 14Lite							
入力	送信原稿	印刷機能のあるアプリケーションのデータならすべて原稿として指定可能											
	電話帳	XLS/XLSX	○		—		—						
		CSV	○		○		○						
		SFT	○		○		○						
出力	送受信原稿	SFD、TIFF、JPEG、BMP、PDF											
	送受信記録	CSV											
	電話帳	CSV、SFT											

■STARFAX 14/STARFAX 14 Lite比較表

機能／機能説明	STARFAX 14	STARFAX 14 Lite
対応 OS :		
Windows 7 x86 対応	○	○
Windows 7 x64,Windows Vista x64 対応	○	—
FAX 送信 :		
対応原稿	A3/B4/A4/B5/A5	A4/B5/A5
3種類の原稿作成モード	○	○
ページ FAX	○	—
はんこ /QR はんこ機能	○	○
STARFAX 送付状	○	○
ワード送付状	○	—
電話帳	1万件	1万件
短縮パネル	50件	50件
グループ設定	16グループ	16グループ
ダイヤルボタン	○	○
短縮パネルとダイヤルボタンの同時表示	○	○
エクセルファイルからの電話帳登録	○	—
CSV ファイルからの電話帳登録	○	○
STARFAX 電話帳の CSV 出力	○	○
スーパー G3 対応	○	—
グループ FAX 機能	○ ※ STARFAX13 クライアントとの互換性含む	—
カラー FAX 対応	○	—
データバックアップ・復元機能	○	○
同報送信	10000 件まで	50 件まで
自動受信・手動受信の切り替え	○	○
送受信した FAX をメール転送する	○	—
受信 FAX の自動プリンタ印刷	○	—
受信 FAX のファイル保存	○	○
OCX 対応	○	—

STARFAXのセットアップを行う前に

STARFAXをセットアップする前に以下の内容を必ずお読みください。

現在、STARFAX 製品をご利用されていますか？

.....

はい

いいえ

ご用意いただくもの

- FAXモデム（内蔵または外付け）
- 電話線

必要に応じて「秘話機能付き分配器」

お使いになる前に

最初に、FAX モデム（内蔵または外付け）と電話回線を接続し、STARFAX を使用できる環境を整えます。

「FAX モデム接続ガイド」をご覧になり、電話回線のご使用状況や FAX モデムの種類に応じた接続を完了してください。

次にパソコンから FAX モデムの設定を行います。

モデムパック製品を
ご購入いただいた方

本製品に付属している「モデムセッタップガイド」をご覧になり、FAX モデムのセットアップを行ってください。

ご使用の FAX モデム（内蔵または外付け）製品に付属している取扱説明書等をご覧になり、セットアップを行ってください。

次ページからの手順に従い、STARFAX をインストールしてください ►►►

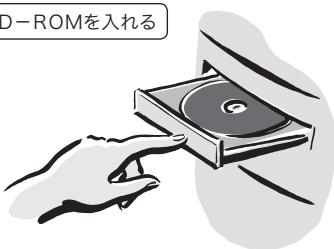
STARFAXをセットアップする

STARFAXを使用できるように、プログラムやデータをパソコンに組み込みます。以前のSTARFAXがセットアップされているときは、セットアップを実行するとデータの引継ぎ確認画面が表示されます。

セットアップする

お使いになる前に

①CD-ROMを入れる



セットアップは対話形式で進んでいくようになっています。ご利用の環境にあわせてセットアップを行ってください。



電話線とパソコンの接続はお済みですか？

STARFAXのセットアップは、電話線をパソコン（のFAXモデム）に接続したあとに行ってください。

接続を終えておくと、機器の設定が自動的に行われます。

接続方法は「FAXモデム接続ガイド」をご覧ください。



スーパーG3 FAXモデムを使うときは、別途付属しているスーパーG3モデムセットアップガイドを見ながら設定を行ってください。

01

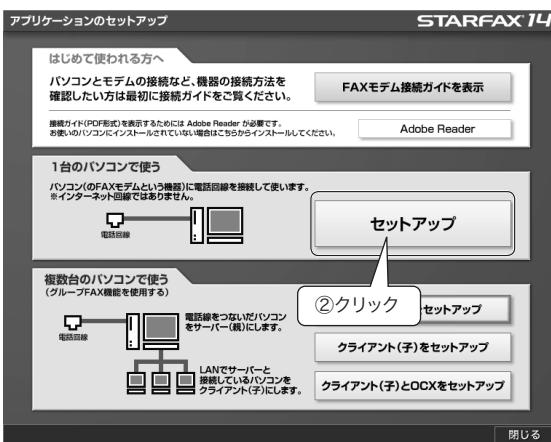
セットアップを起動する

①パソコンのCD-ROMドライブにSTARFAX 14のCD-ROMを入れます。

[アプリケーションのセットアップ]が開きます。



しばらく待ってもメニューが開かないときは、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブ（STARFAX 14と表示されています）をクリックして開き、をダブルクリックします。



グループFAX機能を使う

以下のページを見ながらセットアップを進めてください。
「グループFAX機能を使う」→104ページ

②[セットアップ]をクリックします。



③ [次へ(N) >] をクリックします。

以後、セットアップウィザードの指示にそってセットアップを進めます。

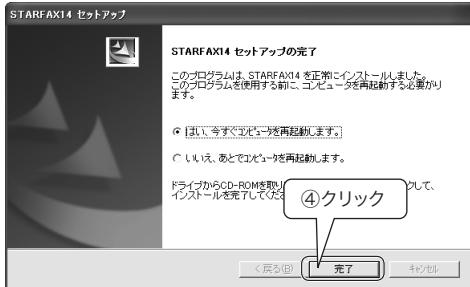


ライセンスキーが必要です

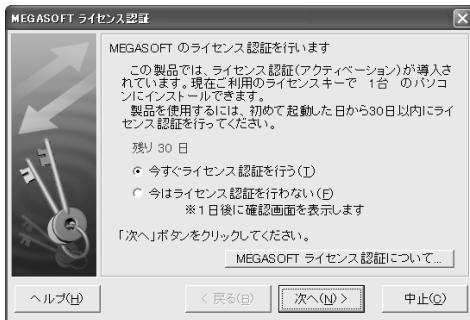
ライセンスキーはセットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。



ライセンスキーは英字の「O (オー)」と「I (アイ)」は使われていません。数字の「0(ゼロ)」と「1(イチ)」を使用します。



④ インストール後に再起動を求められた場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]にチェックをつけ、[完了]をクリックしてください。



参照 MEGASOFTライセンス認証について
「ライセンス認証(アクティベーション)について」
→147ページ



セットアップタイプについて

「通常セットアップ」と「グループFAXサーバー(親)」の切り替えは、[ステーション]の[設定]から変更できますが、「グループFAXクライアント(子)」への変更はできません。現在のSTARFAXをアンインストールしたあと、使用するタイプを選んでインストールしなおしてください。

以前のSTARFAXシリーズをご利用の場合

お使いになる前に



STARFAX 14は以前のSTARFAXを削除することなくインストールできます。

STARFAX99～2005、速攻!STARFAX、STARFAX13をご利用の場合は、電話帳、短縮パネル、通信記録、送付状、ページFAXのデータをSTARFAX 14にコピーして引き継ぎます。

STARFAX95～98のデータは引き継げません。ご了承ください。

01 データを自動的に引き継ぐ

① [次へ (N) >]をクリックします。



データの引き継ぎについて

ここで、電話帳や送付状、通信記録などのデータを引き継がなかったときは、以前のデータが使用できなくなります。



異なるフォルダにセットアップするときは

[参照(R)...]をクリックしてフォルダを選びます。電話帳や送付状、通信記録などのデータを引き継ぐときは、[以前のデータを引き継ぎます。]にチェックを入れます。

②以後、セットアップウィザードの指示にそって、セットアップを進めます。



以前のSTARFAXを設定されていた方は
自動転送、プリンタドライバの設定は引き継がれません。セットアップ後に再度設定してください。



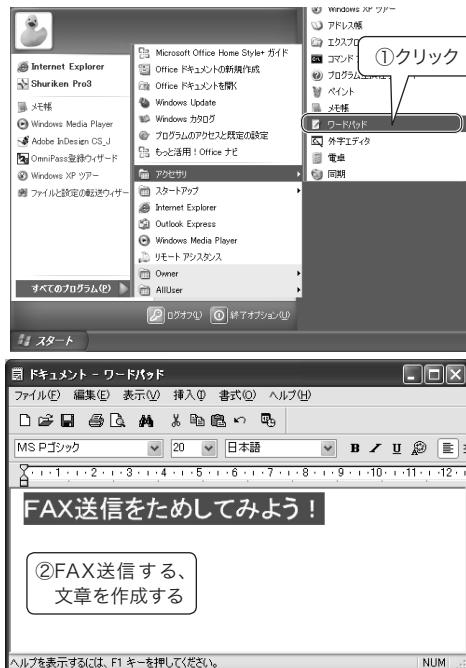
ロックされたファイルの検出が表示されたら
[次回からこのメッセージを表示しない]にチェックを入れ[無視]をクリックします。



「共有ファイルの検出」が表示されたら
[次回からこのメッセージを表示しない]にチェックを入れ、[はい]をクリックします。

FAX送信をためす(始めにやってみよう)

Windowsに標準でインストールされているソフト[ワードパッド]で原稿を作成し、FAX送信をためしてみましょう。



01

[ワードパッド]で送信原稿を作成する

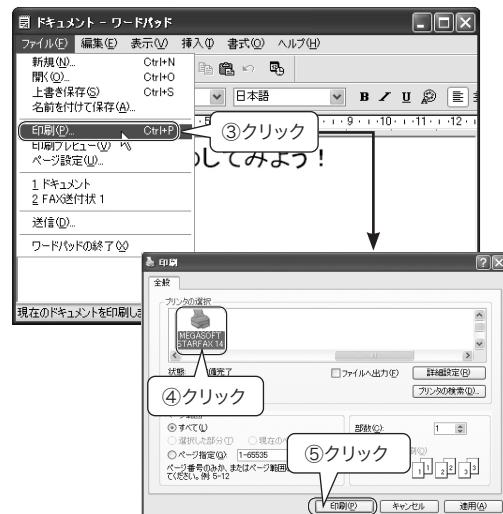
①Windowsのスタートから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ワードパッド]をクリックします。

②[ワードパッド]が起動しますので、FAX送信用の文章を作成します。



文字の大きさは

文章は大きめのフォントで作成してください。
あと手順で送信イメージを確認します。



02

印刷機能を使い、FAX原稿を登録する

③[ファイル]→[印刷]をクリックします。
[印刷]画面が開きます。

④[プリンタの選択]から[MEGASOFT STARFAX 14]をクリックします。

⑤[印刷]をクリックします。



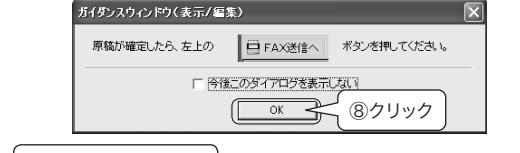
03 [ステーション]に登録されたFAX原稿を確認する

⑥ [ステーション]にFAX原稿が登録されます。

 [ステーション]とは
STARFAXのメイン画面です。送信原稿や送付状、送信先の設定などを行います。

⑦ 送信原稿  表示/編集 をクリックします。

⑧ OK をクリックします。



⑨ [表示/編集]が開きます。

⑩ ワードパッドで作成したとおりに表示されることを確認します。

⑪  FAX送信へ をクリックします。



04 FAXの送信先をダイヤルから入力し、送信する

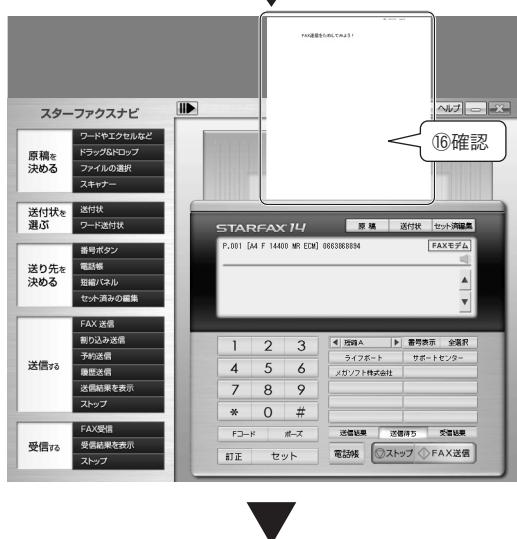
⑫ テスト先として、メガソフトサポートセンターのFAX番号[0663868894]を番号ボタンで入力します。

 ご注意ください
サポートセンターから返信はいたしません。
ご了承ください。

⑬ 入力した番号を確認します。

⑭ FAX送信 をクリックして送信を始めます。

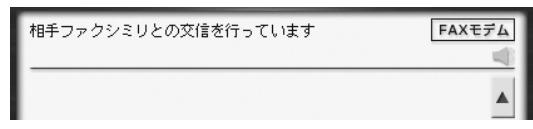
05 FAXの送信状況を確認する



「発信音を検出できません」

「発信音を検出できません」と表示されてFAX送信できない場合は、「「発信音を検出できません」と表示されてFAXが送れない。」→141ページ

⑯[ステーション]に送信状態が表示されます。



⑯送信が始まると、原稿イメージが[ステーション]のトレイから上へ動いていきます。



送信イメージについて

送信中に表示されるFAXイメージは、実際に送信する原稿と少し異なることがあります、手順⑯で確認したものが実際に送信している原稿です。

⑰「正常に通信が終了しました」とメッセージが表示されたら、送信完了です。

その後、表示は[送信が可能です。]に戻ります。



お
使
い
に
な
る
前
に

⑯[送信結果]が開きます



06 送信結果を確認する

⑯ 送信結果を表示 をクリックします。

⑰ [送信結果]が開きます。

⑱ 日付、時刻、相手先、FAX項目から送信したFAXを探します。

次に送信が成功したことを表す~~×~~マークを確認します。



~~×~~マークがついているときは
送信が失敗したことを探しています。
FAX番号の入力誤りか、送信先の話し中です。
また、何度も送信してもエラーになるときは、な
にかの問題が起こっています。
以下のページから解決方法を探してください。
「困ったときは」→139ページ

参照 ⑯ その他のFAX送信方法は
「FAXを送信する」→ 21ページ

FAXを送信する

FAXを送信するには?	22
原稿を決める	24
ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う	24
原稿の画質を選ぶ	26
ドラッグ&ドロップを使う	27
ファイルの選択画面から選ぶ	28
スキャナから取り込む	29
定型原稿を使う	30
過去に送受信した原稿を使う	31
別の原稿を追加する	32
登録した原稿を確認する	33
登録した原稿を編集する	34
登録した原稿を取り消す	35
登録した原稿から不要なページを取り消す	36
送付状を選ぶ	37
STARFAXの送付状とは?	37
差出人情報を登録・編集する	38
送付状を選ぶ	39
登録した送付状を確認する	41
登録した送付状を取り消す	41
ワード送付状を選ぶ <small>SF14 ONLY</small>	42
登録したワード送付状を確認する <small>SF14 ONLY</small>	44
登録したワード送付状を取り消す <small>SF14 ONLY</small>	44
FAXの送り先を決める	45
番号ボタンで入力する	45
電話帳から選ぶ	46
短縮パネルから選ぶ	47
登録した送り先を取り消す	48
送信を開始する	49
送信を開始する	49
予約送信する(送信開始日時を指定)	50
予約送信する(送信する時間帯を指定)	51
割り込み送信する	52
送信を中止する	53
FAXの送信結果を見る	54
FAXの送信結果を見る	54
送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する	55
送信結果の一覧表を保存・印刷する	56

FAXを送信するには？

送る原稿を決める

どのソフトからでも
印刷機能で
FAX原稿を作成！

ワードやエクセルなど（ソフト）の印刷機能を使う	24
原稿の画質を選ぶ	26
ドラッグ＆ドロップを使う	27
ファイルの選択画面から選ぶ	28
スキャナから取り込む	29
定型原稿を使う	30
過去に送受信した原稿を使う	31
別の原稿を追加する	32
登録した原稿を確認する	33
登録した原稿を編集する	34
登録した原稿を取り消す	35
登録した原稿から不要なページを取り消す	36

送付状を選ぶ

サンプルから
1クリックで送付状を
選択！
送り先情報の
差し込みもできます。

STARFAXの送付状とは？	37
差出人情報を登録・編集する	38
送付状を選ぶ	39
登録した送付状を確認する	41
登録した送付状を取り消す	41
ワード送付状を選ぶ	42
登録したワード送付状を確認する	44
登録したワード送付状を取り消す	44

FAXの送り先を決める

番号ボタンからの入力は
もちろん、電話帳や
短縮パネルはさらに便利！

番号ボタンで入力する	45
電話帳から選ぶ	46
短縮パネルから選ぶ	47
登録した送り先を取り消す	48

送信を開始する

ボタン1つで簡単送信！
夜間の予約送信もできます。

送信を開始する	49
予約送信する(送信開始日時を指定)	50
予約送信する(送信する時間帯を指定)	51
割り込み送信する	52
送信を中止する	53

FAXの送信結果を見る

送信結果は一覧で確認！
PDFファイルへの変換や
通信記録の印刷もできます。

FAXの送信結果を見る	54
送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する	55
送信結果の一覧表を保存・印刷する	56

原稿を決める

FAX送信する原稿を[ステーション]に登録します。
登録方法はいくつかの方法から選べます。



ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う

どのソフトで作成した書類でも、ソフトの「印刷機能」を使ってFAX原稿が作成できます。

①FAX送信する、書類を開きます



FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54



ステーションへの登録とは
マニュアルでは、FAX原稿を作成することを、「ステーションに登録」と表現しています。

01 ソフトの印刷機能を使う

①送信したい書類を開きます。

②[ファイル] - [印刷]をクリックします。

③[印刷]画面が開きます。

[プリンタ名]を[MEGASOFT STARFAX 14]に変更します。

④[OK]をクリックします。

⑤印刷機能を使ってFAX原稿が作成され、[ステーション]にFAX原稿が登録されます。



登録した原稿の確認方法や取り消し方は

「登録した原稿を確認する」→33ページ

「登録した原稿を編集する」→34ページ

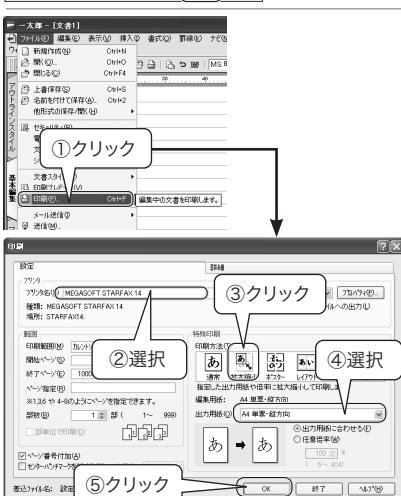
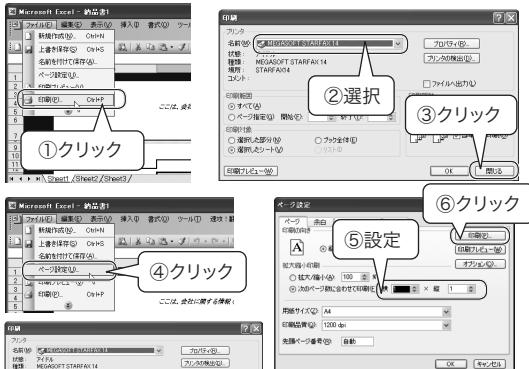
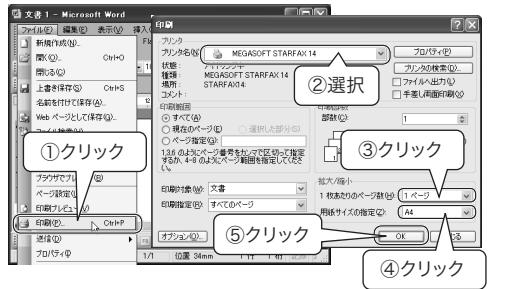
「登録した原稿を取り消す」→35ページ

「登録した原稿から不要なページを取り消す」→36ページ



FAX原稿のページ数が変わってしまうときは(ワード、エクセル、一太郎)

FAX原稿のページ数が変わってしまうのは、用紙余白のサイズがSTARFAXとプリンタで違うためです。(Windowsの世界では、プリンタごとの用紙余白サイズが統一されていません。)例えば、通常使用するプリンタがエプソンになっていると、作成した書類はエプソンプリンタの用紙余白サイズで作成されます。その原稿をそのままFAX原稿にすると、エプソンプリンタとSTARFAXの用紙余白サイズが違うため、書類がページに収まらないことがあります。この問題は、書類のサイズを小さめに作っておけば解決できますが、印刷の設定を変更することで対処することもできます。



■ワードの拡大縮小印刷手順

(A4サイズ原稿1ページをSTARFAXへ登録する場合)

- ワードの[ファイル]—[印刷]をクリックします。
- [プリンタ名]を[MEGASOFT STARFAX 14]にします。
- [拡大/縮小]—[1枚あたりのページ数]を[1ページ]にします。
- [拡大/縮小]—[用紙サイズの指定]を[A4]にします。
- [OK]をクリックします。

■エクセルの拡大縮小印刷手順

- エクセルの[ファイル]—[印刷]をクリックします。
- プリンタの名前を[MEGASOFT STARFAX 14]にします。
- [閉じる]または[キャンセル]をクリックします。
- エクセルの[ファイル]—[ページ設定]をクリックします。
- [拡大縮小印刷]で[横1×縦1]を選びます。
- [印刷(P)...]をクリックします。
- [OK]をクリックします。

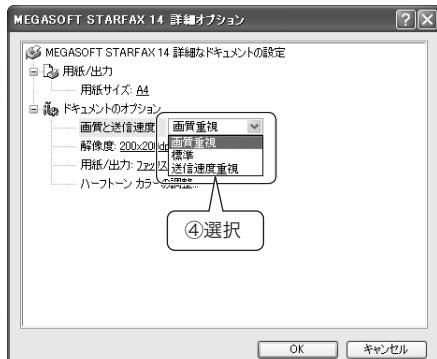
■一太郎の拡大縮小印刷手順

- 一太郎の[ファイル]—[印刷]をクリックします。
- [プリンタ名]を[MEGASOFT STARFAX 14]にします。
- [特殊印刷] [印刷方法]の「拡大縮小」をクリックします。
- [出力用紙]を印刷したい用紙のサイズ(A4・縦方向など)にします。
- [OK]をクリックします。

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

原稿の画質を選ぶ

メモ帳での設定例



FAX原稿をセットする際に、画像を単純化して送信時間を減らす「送信速度重視」モードや、写真をより美しく表現する「画質重視」モードを選びます。

01 STARFAX 14の印刷プロパティから画質を変更する

① [印刷]画面を表示します。

[プリンタの選択]から[MEGASOFT STARFAX 14]をクリックします。

② [詳細設定(R)]をクリックします。

③ [印刷設定]が表示されます。

[詳細設定(W)...]をクリックします。

④ [画質と送信速度]から画質を選択します。

・「標準」

バランスの取れた標準設定です。

・「画質重視」

写真を美しく表現する設定です。

・「送信速度重視」

画質を単純化して送信速度を速める設定です。



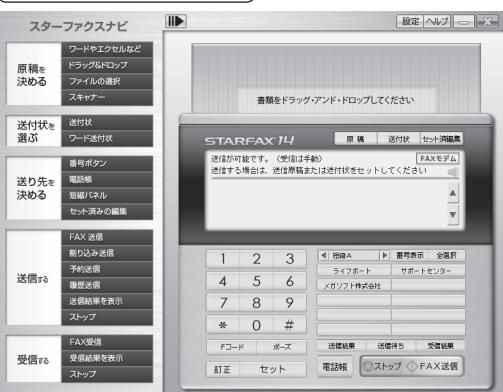
設定の記憶について
上記の説明のようにソフトの印刷設定から変更すると、変更は今回ののみ有効になります。
コントロールパネルのプリンタにあるSTARFAX 14を変更すると、設定が記憶されます。



解像度について
[解像度]を変更すると、CADなど一部のソフトで正常な原稿が作成されないことがあります。
[解像度]は変更せずに、[画質と送信速度]で調整することをおすすめします。

ドラッグ&ドロップを使う

①[ステーション]を起動する



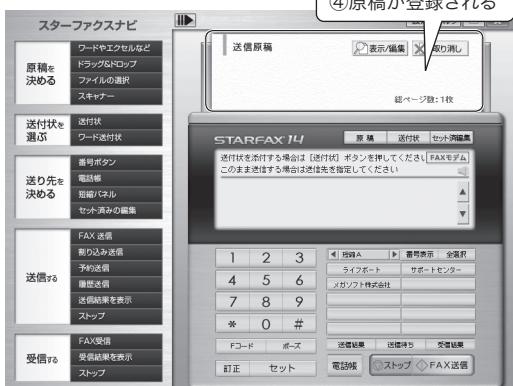
②ファイルのある場所を開く



③ドラッグ&ドロップ



④原稿が登録される



ワード・エクセル・一太郎などで作成したファイルを、ステーションにドラッグ&ドロップしてFAX原稿を作成します。

× モード 印刷ページを指定したいときは

ドラッグ&ドロップではできません。

次の方法を使用してください。

「ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う」
→24ページ

01 ドラッグ&ドロップでFAX原稿を作成する

①[ステーション]を起動しておきます。

②送信したいファイルがあるフォルダを開きます
(この例ではマイドキュメント)。

③FAX送信したいファイルを[ステーション]のトレイ部分にドラッグ&ドロップします。

④[ステーション]にFAX原稿が登録されます。

FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

× モード 複数シートを持つエクセルファイルについて
保存時に表示していたシートだけがFAX原稿になります。
選ばれたシートに複数のページがあるときは、
すべてのページがFAX原稿になります。

注意 ドラッグ&ドロップで原稿が作成できないときは
「ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う」
→24ページ

× モード 「送る」メニューを使う
原稿ファイルを右クリックして、「送る」から[STARFAX 14]で送信]を選ぶと、ドラッグ&ドロップと同じ操作になります。

ファイルの選択画面から選ぶ



ワード・エクセル・一太郎などで作成したファイルを、ファイルの選択画面から選んでFAX原稿を作成します。

印刷ページを指定したいときは
次の方法を使用してください。

「ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う」
→24ページ

01 ワード・エクセル・一太郎などのファイルをファイルの選択画面から選ぶ



① [ファイルの選択] をクリックします。

② [原稿の選択] で送信したいファイルをクリックします。

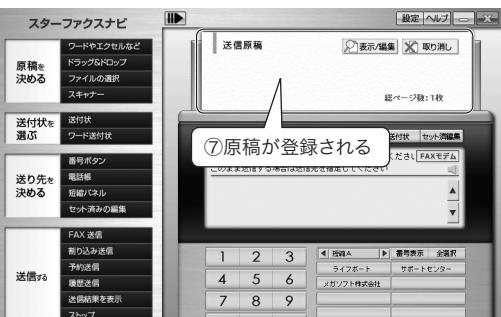
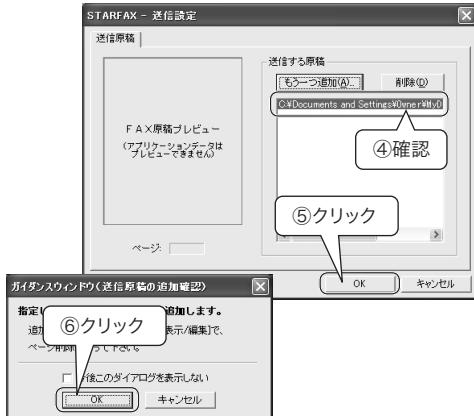
複数のファイルを選ぶには
キーボードの [Ctrl] キーを押したまま、ファイルをマウスでクリックしていくます。

③ [選択] をクリックします。

④ [送信する原稿] に選んだファイルが表示されます。

⑤ [OK] をクリックします。

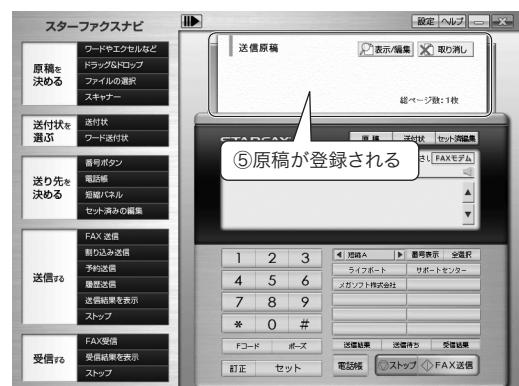
⑥ 確認の画面が表示されますので [OK] をクリックします。



⑦ [ステーション] にFAX原稿が登録されます。

複数シートを持つエクセルファイルについて
保存時に表示していたシートだけがFAX原稿になります。選ばれたシートに複数のページがあるときは、すべてのページがFAX原稿になります。

スキャナから取り込む



紙の原稿をスキャナから取り込んで、FAX原稿を作成します。

注意 スキャナを準備する
取り込みを行う前に、スキャナを使える状態にしておきます。

01 使用するスキャナを決める

- ① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [スキャナの選択] をクリックします。
- ② 「ソースの選択」からスキャナをクリックします。
- ③ [選択] をクリックします。

02 原稿を取り込む

- ④ [ステーション] の [スキャナ] をクリックします。
- ⑤ スキャナの説明どおりに取り込み操作を行うと、ステーションに原稿が登録されます。

メモ スキャナの操作方法は取り込み方はスキャナごとに違います。スキャナのマニュアルをご覧ください。
なお、FAX原稿として送信できる画像は、「200×200dpi」「200×400dpi」「200×100dpi」で「モノクロ2値」です。

注意 スキャナから取り込めないときはTWAIN規格の違いでスキャナから原稿を取り込めないときは、スキャナのソフトで原稿を取り込んだあと、スキャナソフトの印刷機能で原稿を作成してください。
「ワードやエクセルなど（ソフト）の印刷機能を使う」→24ページ

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

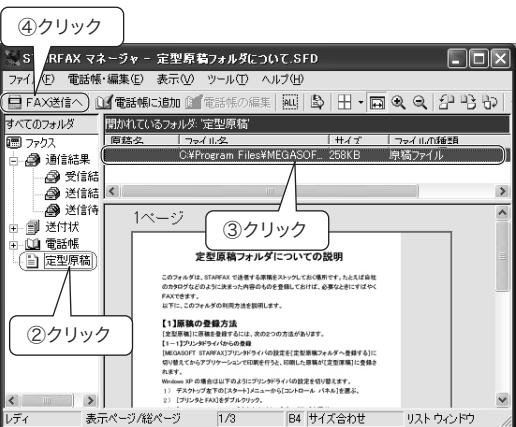
原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

定型原稿を使う



あらかじめ登録しておいた定型原稿から、送信するFAX原稿を選びます。

①[ステーション]の「送信結果を表示」をクリックします。



②[定型原稿]をクリックします。

③送信する原稿をクリックします。

④「FAX送信へ」をクリックします。

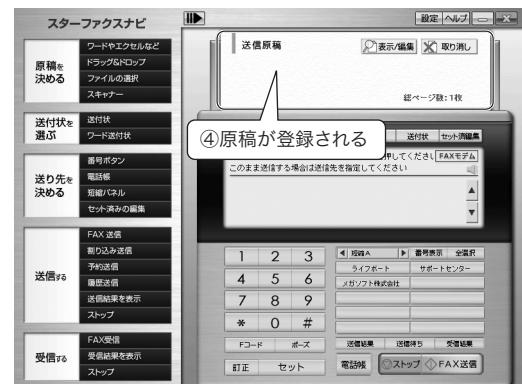
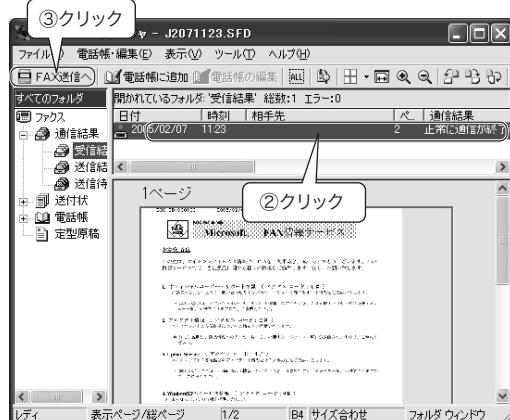


⑤[ステーション]にFAX原稿が登録されます。

定型原稿の登録方法は
「定型原稿に登録する」→130ページ

過去に送受信した原稿を使う

受信したFAXや、過去に送信したFAXを、送信原稿として使います。



01 [受信結果] ([送信結果]) を開く

① [ステーション] の **受信結果を表示** (送信結果を表示) をクリックします。

02 送信する原稿を選ぶ

② 送信する原稿をクリックします。
③ **FAX送信へ** をクリックします。

FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を決める
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

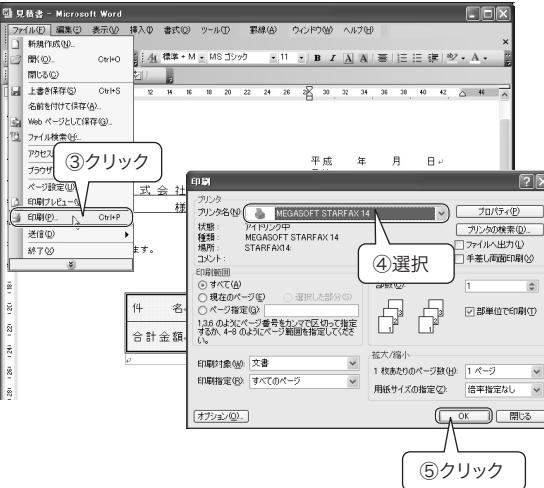
④ [ステーション] にFAX原稿が登録されます。

別の原稿を追加する

[ステーション]の状態



②書類を開く



[ステーション]に別の原稿を追加したいときは、FAX原稿の登録操作をもう一度繰り返します。

01 [ステーション]に原稿が登録されている状態

①この例では、エクセルで作成した書類が[ステーション]に登録されているので、[総ページ数: 1]と表示されています。

02 別の書類をFAX原稿として追加する

②FAX原稿として追加したい書類(この例ではワード)を開きます。

③[ファイル] - [印刷]をクリックします。

④[印刷]画面が開きます。

[プリンタ名]を[MEGASOFT STARFAX 14]に変更します。

⑤OKをクリックします。

印刷機能を使ってFAX原稿が作成され[ステーション]にFAX原稿が登録されます。

03 FAX原稿が追加されたことを確認する

⑥[総ページ数: 2]に変わったことを確認します。

登録した原稿を確認する



[ステーション]に登録した原稿を確認します。

01 [表示/編集] で原稿を確認する

①[ステーション]の [表示/編集] をクリックします。



②ガイダンスウィンドウ(表示/編集)が表示されますので [OK] をクリックします。



③原稿を確認します。

④確認が終了したら [FAX送信へ] をクリックします。

FAXを送信する

原稿を
決める
P24

送付
を
選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

登録した原稿を編集する

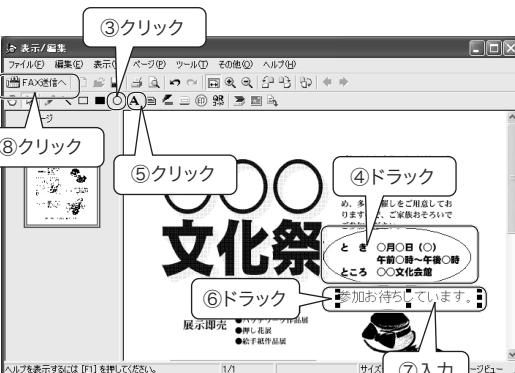


[ステーション]に登録したFAX原稿に、○を付けたり文字を書き込んだりします。

01 [表示/編集]を表示する

①[ステーション]の[表示/編集]をクリックします。

②原稿を表示します。



02 原稿を編集する

③○をクリックします

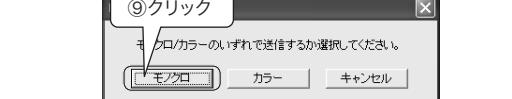
④原稿上でドラッグして○を付けます。

⑤Aをクリックします。

⑥原稿上でドラッグして枠を作ります。

⑦文字を入力します。

参照 ビューアのその他の操作は
[STARFAX 14(または、14Lite)]-[マニュアル&Webページ]-[ヘルプ]



03 [ステーション]に再登録する

⑧[送信]をクリックします。

⑨[モノクロ]をクリックします。

カラーFAXについて(14Liteは非対応)
カラーFAXで送るには、送り先のFAX機がカラーフAXを受信できる機能を持っていなければなりません。
[STARFAX 14]-[マニュアル&Webページ]-[ヘルプ]

⑩原稿の編集が終わってステーションに登録されます。

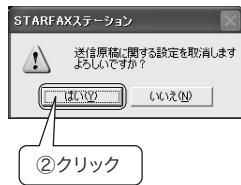
登録した原稿を取り消す



[ステーション]に登録した原稿を取り消します。

01 [ステーション]に登録した原稿を取り消す

①[ステーション]の[X]取り消しをクリックします。



②[はい]をクリックします。

③原稿が取り消されます。



FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

登録した原稿から不要なページを取り消す

FAXを送信する

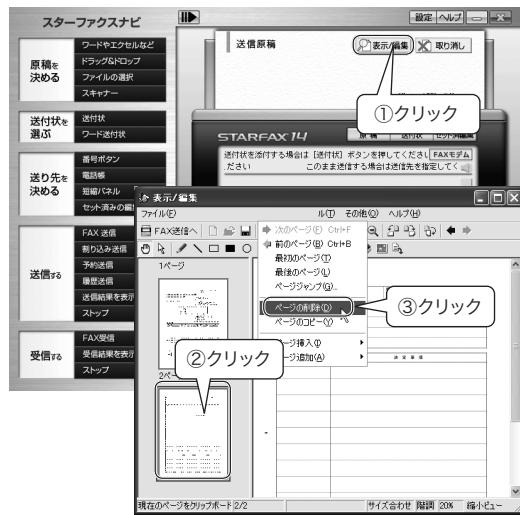
原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54



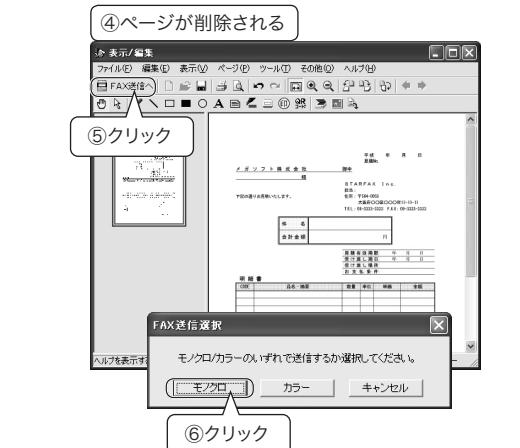
原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54



[ステーション]に登録した原稿から、不要なページだけを取り消します。

01 [表示/編集]で不要なページを取り消す

- ①[ステーション]の[表示/編集]をクリックします。
- ②取り消したいページのサムネール(ダイアログ左側の縮小表示)をクリックします。
- ③[ページ]-[ページの削除]をクリックします。

④ページが削除されます。

- ⑤[FAX送信へ]をクリックします。
- ⑥[モノクロ]をクリックします。

参考 カラーFAXについて(14Liteは非対応)
カラーFAXで送るには、送り先のFAX機がカラーFAXを受信できる機能を持っていなければなりません。
[STARFAX 14] - [マニュアル&Webページ] - [ヘルプ]

⑦「総ページ数:○」でページ数が減ったことを確認します。

参考 すべてを取り消すには
「登録した原稿を取り消す」→35ページ

送付状を選ぶ

送付状を選びます。送付状には、設定しておいた「差出人の情報」、電話帳や短縮に登録した「送り先の情報」、送信前の「一言メモ」が差し込めます。

STARFAXの送付状とは？

FAX送付状

送り先

会社名 []
所 属 []
氏 名 []

差出人

会社名 []
所 属 []
氏 名 []

FAX送付状

会社名 株式会社ライフボート
所 属 営業部
氏 名 佐藤 太郎様

いつもお世話になっております。
前回の議事録です。
ご確認の程、お願ひいたします。

会社名 メガソフト株式会社
所 属 技術本部
氏 名 田中 一郎

STARFAXの送付状とは、設定しておいた「差出人の情報」、電話帳や短縮に登録した「送り先の情報」、送信前の「一言メモ」が差し込めるFAX原稿のこと

01 送付状の仕組み

[電話帳]や[短縮パネル]に登録した送り先の情報

電話帳の編集

FAX番号: 03-3265-1251 例)06-6386-2043
会社名: 株式会社ライフボート
所属名: 営業部
役職名: 佐藤 太郎 様
読み: さとう たいら
電話番号: 03-3265-1250 例)06-6386-2043
〒: 101-0051 国番号: 日本 (81)
住所1: 東京都千代田区神田神保町2-2-34
住所2:
備考:
キーワード:

一言メモ

2. メモ欄に差し込む文章を記入してください。
いつもお世話になっております。
前回の議事録です。
ご確認の程、お願ひいたします。

差出人の情報

ユーザー情報

日本語 | 英語 |
表示名(①): 差出人
氏名(②): 田中 一郎
会社名(③): メガソフト株式会社
所属(④): 技術本部
役職(⑤):
国番号(⑥): 日本 (81)
電話番号(⑦): 06-6386-2043
FAX番号(⑧): 06-6386-0894
〒(⑨): 164-0053
住所(⑩): 大阪府枚方市江の木町1-38
OK キャンセル

FAXを送信する

原稿を決める
P24

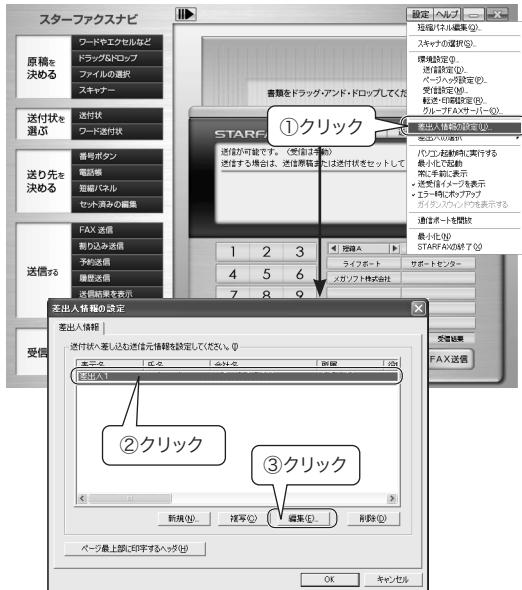
送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

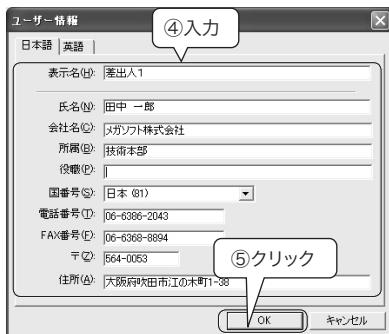
差出人情報を登録・編集する

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

01 差出人情報を登録する

- [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [差出人情報の設定] をクリックします。
- [差出人情報の設定] から [差出人1] をクリックします。
- [編集(E)...] をクリックします。

新規登録するには
[新規(N)...] をクリックします。

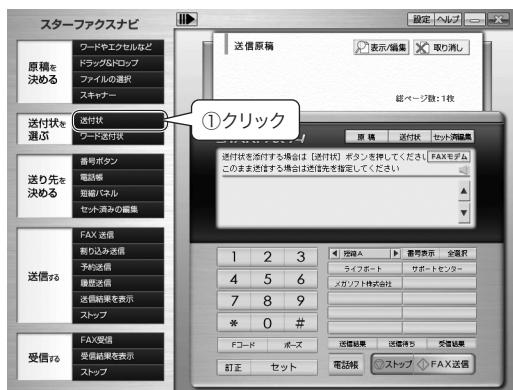


- [ユーザー情報] に差出人情報を入力します。
- [OK] をクリックして登録します。
- 登録されました。

差出人は複数登録することができます。



送付状を選ぶ

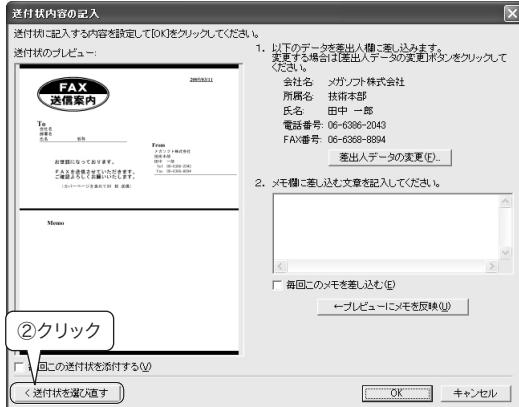


送付状を選びます。

送付状には、設定しておいた「差出人の情報」、電話帳や短縮に登録した「送り先の情報」、送信前の「一言メモ」が差し込めます。

01 送付状の選択画面を表示する

① [ステーション] の **送付状** をクリックします。



02 送付状を選ぶ

② <送付状を選び直す> をクリックします。

③ [送付状の選択] から、送付状をクリックします。

④ **OK** をクリックします。

メモ 差し込み内容について
送付状によって差し込まれる内容(送り先情報、差出人情報、メモ)が違います。用途にあった送付状を選んでください。

「STARFAXの送付状とは?」→37ページ



FAXを送信する

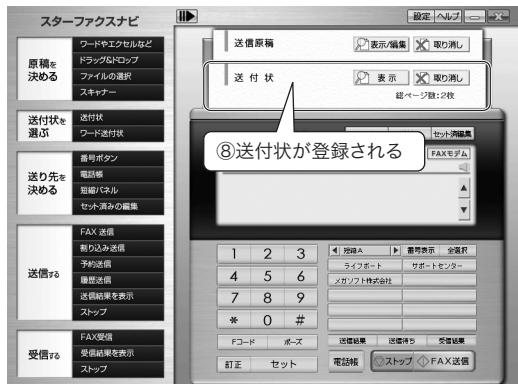
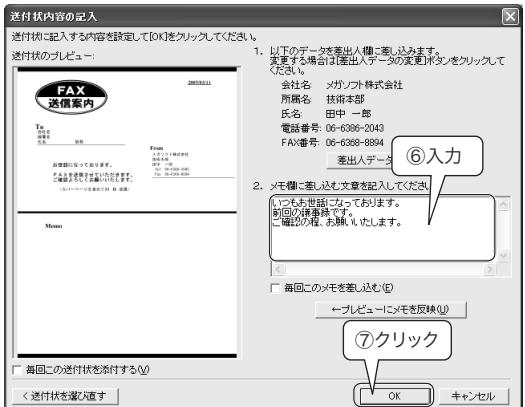
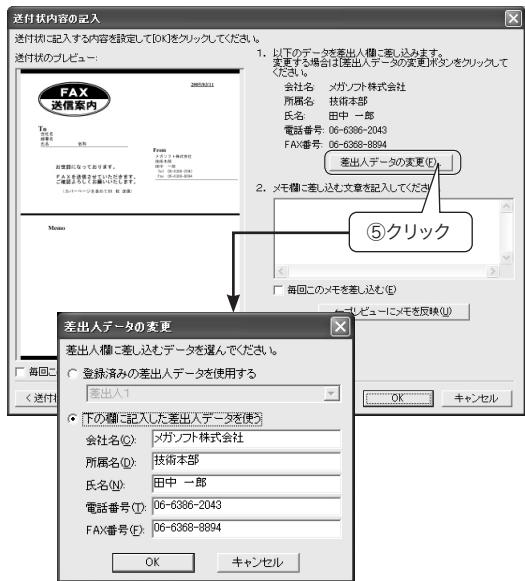
原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

03 差出人情報を変更する

⑤事前に登録した差出人情報が表示されますが、一時的に変更したいときは、**差出人データの変更(F)**をクリックして、情報を変更します。

差出人情報の登録は
 「差出人情報を登録・編集する」→38ページ

04 送付状に「一言メモ」を入力する

⑥**[メモ欄に差し込む文章を記入してください。]に文字を入力します。**

メモが入力できないときは
メモ欄がない送付状が選ばれています。
別の送付状を選び直してください。

その他の設定について
[毎回この送付状を添付する]
チェックを入れると、FAX原稿をステーションに登録したときに、現在選択されている送付状が自動的に選択されます。
[毎回このメモを差し込む]
チェックを入れると、メモ欄に入力した文章を次回以降も使えます。
[プレビューにメモを反映]
メモを送付状のプレビューに反映させます。
表示には少し時間がかかります。

⑦ **OK** をクリックします。

⑧**送付状が[ステーション]に登録されます。**

その他の送付状の操作は
 「登録した送付状を確認する」→41ページ
「登録した送付状を取り消す」→41ページ
「ワード送付状を選ぶ」→42ページ
「オリジナルの送付状やワード送付状をつくる」→87ページ

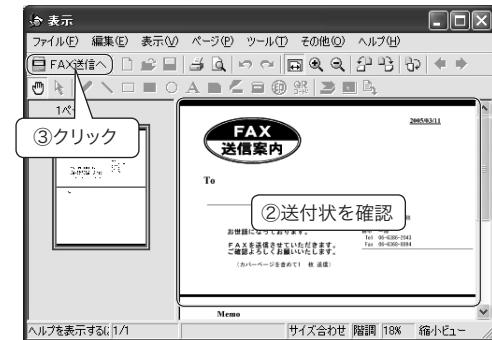
登録した送付状を確認する

[ステーション]に登録した送付状を確認します。



01 [表示] で送付状を確認する

①[ステーション]の 表示 をクリックします。



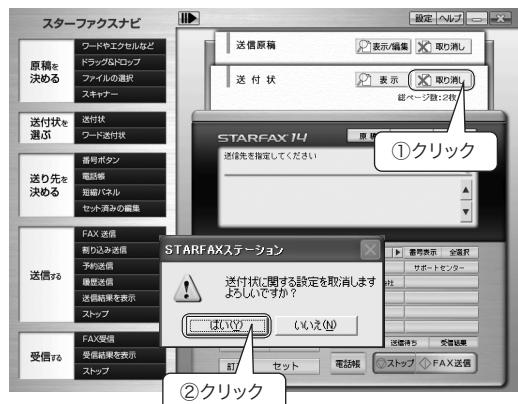
②送付状を確認します。

③確認が終了したら FAX送信へ をクリックします。

FAXを送信する

登録した送付状を取り消す

[ステーション]に登録した送付状を取り消します。



01 [ステーション] に登録した送付状を取り消す

①[ステーション]の 取り消し をクリックします。

② をクリックします。

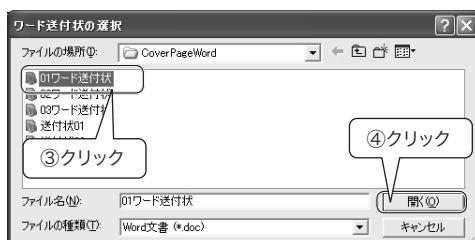
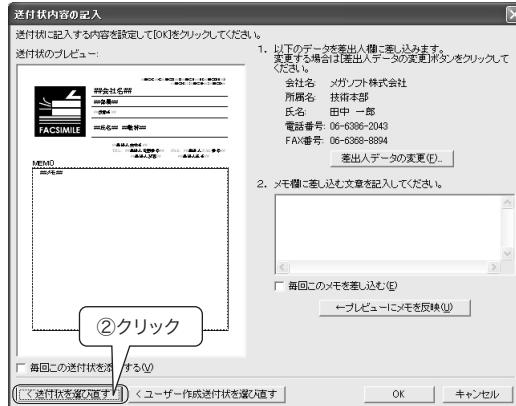
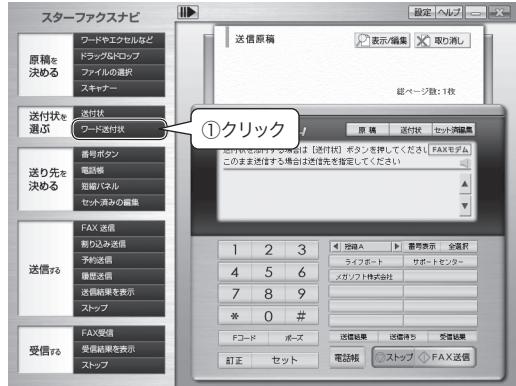
原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54



Microsoft Wordで作成した送付状を選びます。ワードの書類に、設定しておいた「差出人の情報」、電話帳や短縮に登録した「送り先の情報」、送信前の「一言メモ」が差し込めます。

01 送付状の選択画面を表示する

① [ステーション] の **ワード送付状** をクリックします。

02 送付状を選ぶ

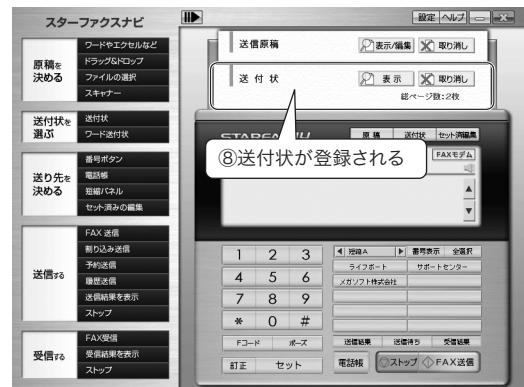
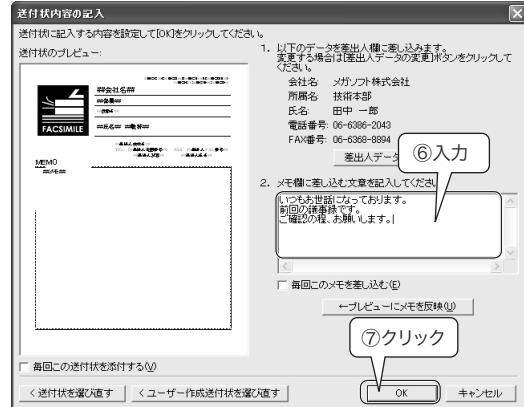
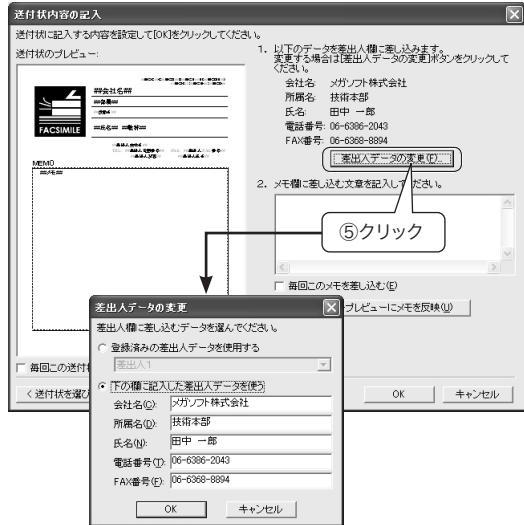
② **「送付状を選び直す」** をクリックします。

メモ オリジナルのワード送付状を使うにはマイドキュメントに作成したオリジナルのワード送付状は、[ユーザー作成送付状を選び直す] から選べます。

③ [ワード送付状の選択] から送付状をクリックします。

④ **開く(④)** をクリックします。

メモ 差し込み内容について
送付状によって差し込まれる内容(送り先情報、差出人情報、メモ)が違います。用途にあった送付状を選んでください。
「STARFAXの送付状とは?」→37ページ



03 差出人情報を変更する

⑤事前に登録した差出人情報が表示されますが、一時的に変更したいときは、[差出人データの変更(F)...]をクリックして、情報を変更します。

差出人情報の登録は
 「差出人情報を登録・編集する」→38ページ

04 送付状に「一言メモ」を入力する

⑥[メモ欄に差し込む文章を記入してください。]に文字を入力します。

メモが入力できないときは
メモ欄がない送付状が選ばれています。
メモ入力が必要なときは、別の送付状を選んでください。

その他の設定について
[毎回この送付状を添付する]
チェックを入れると、FAX原稿をステーションに登録したときに、現在選択されている送付状が自動的に選択されます。
[毎回このメモを差し込む]
チェックを入れると、メモ欄に入力した文章を次回以降も使えます。
[プレビューにメモを反映]
メモを送付状のプレビューに反映させます。
表示には少し時間がかかります。

⑦ [OK] をクリックします。

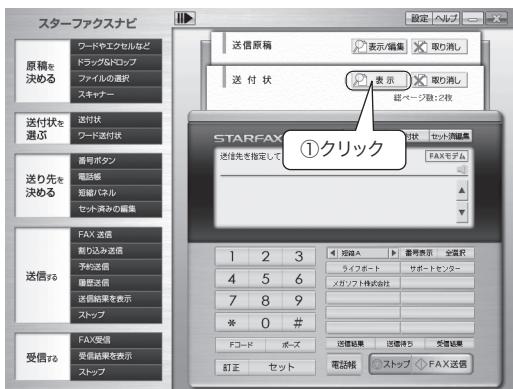
⑧送付状が[ステーション]に登録されます。

その他の送付状の操作は
 「登録したワード送付状を確認する」→44ページ
「登録したワード送付状を取り消す」→44ページ
「送付状を選ぶ」→39ページ
「オリジナルの送付状やワード送付状をつくる」→87ページ

送付状の差し込みとは
「STARFAXの送付状とは?」→37ページ

登録したワード送付状を確認する

SF14 ONLY

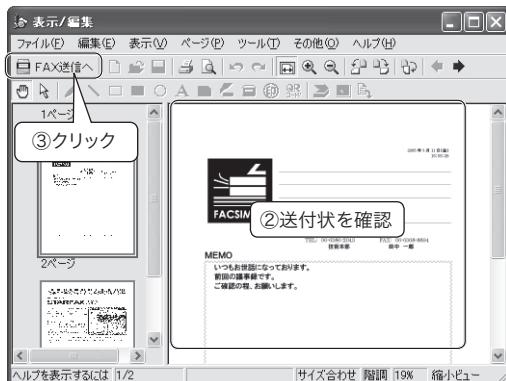


[ステーション]に登録したワード送付状を確認します。

01 [表示] でワード送付状を確認する

①[ステーション]の 表示 をクリックします。

表示時間について
ワード送付状は、差込文字の変換を行うので、
表示に少し時間がかかります。



②送付状を確認します。

③確認が終了したら FAX送信へ をクリックします。

FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

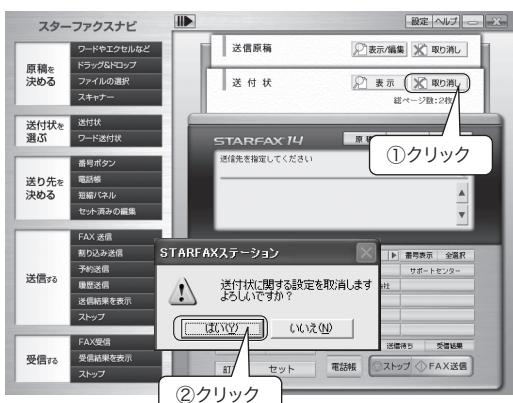
送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

登録したワード送付状を取り消す

SF14 ONLY



[ステーション]に登録したワード送付状を取り消します。

01 [ステーション] に登録したワード送付状を取り消す

①[ステーション]の 取り消し をクリックします。

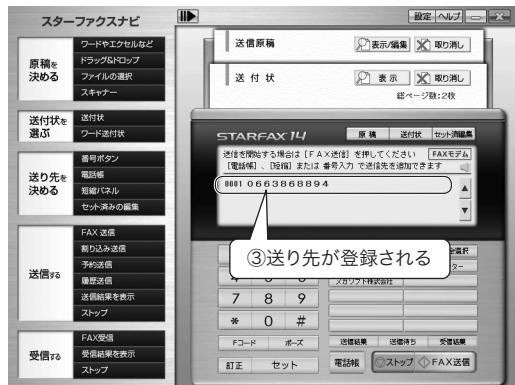
② をクリックします。

FAXの送り先を決める

FAXの送り先を決めます。

送り先は番号ボタンで入力するか、電話帳や短縮パネルから選びます。

番号ボタンで入力する



操作が簡単です。

一度だけ送信する送り先のときなどに使います。

01 送り先のFAX番号を入力する

①[ステーション]の番号ボタンをクリックして送り先のFAX番号を入力します。

② **セット** をクリックします。

③[ステーション]に送り先が登録されます。

※ 複数の送り先を選びたいときは
別の送り先を追加するときは、再度番号ボタンをクリックして送り先のFAX番号を入力し、
セット をクリックします。

※ 1件だけ送信するときは
1件だけを送信するときは、 **セット** を押さなくて
も **FAX送信** で送信できます。

FAXを送信する

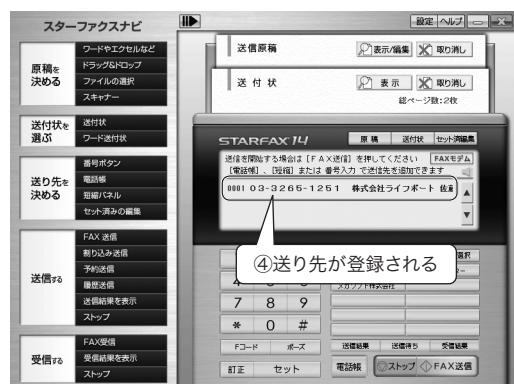
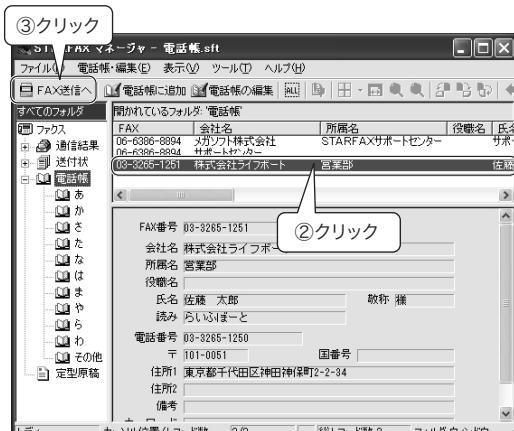
原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

電話帳から選ぶ

一覧から送り先を選べます。



電話帳の作成方法は
「電話帳を登録・変更・削除する」→76ページ

01 電話帳を開く

① **電話帳** をクリックします。

[電話帳] が開きます。

02 送り先を選ぶ



「グループ表示」や「50音表示」から選ぶには
[電話帳・編集] - [グループ表示(50音表示)]
をクリックします。

②送り先をクリックします。



複数の送り先を選ぶには
別の送り先を追加するときは、[Shift]キーもしくは、[Ctrl]キーを押しながら送り先をクリックして選んでから、**■ FAX送信へ** をクリックします。
■ をクリックすると、表示されている送り先がすべて選ばれます。

③ **■ FAX送信へ** をクリックします。

④[ステーション]に送り先が登録されます。

短縮パネルから選ぶ

送り先がワンタッチで選べます。

参考 短縮パネルの登録方法は
「短縮パネルを登録する」→84ページ

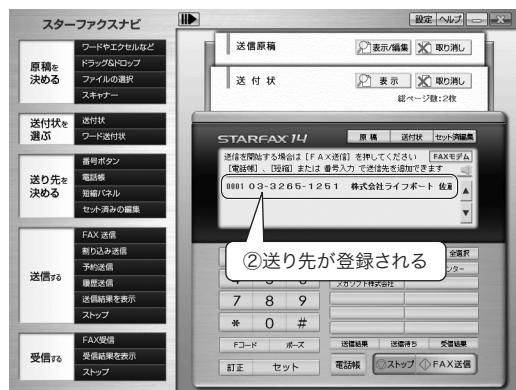


01 送り先を選ぶ

①送り先が登録されている短縮ボタンをクリックします。

別の短縮パネルを表示するには
[◀ ▶]をクリックします。

一度に選ぶには
[全選択]をクリックします。
表示されている送り先がすべて選ばれます。



②[ステーション]に送り先が登録されます。

FAXを送信する

原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54

登録した送り先を取り消す

ステーションに登録した送り先を取り消せます。

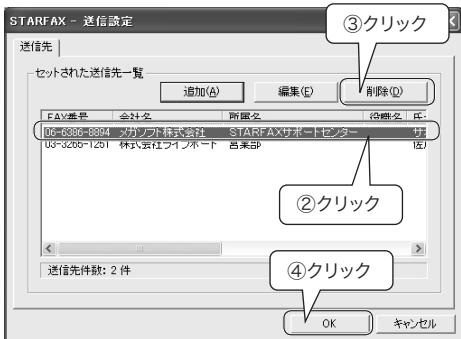


ステーションからの取り消しとは

送り先としてステーションに登録した情報が取り消されるだけです。電話帳や短縮パネルから削除されるわけではありません。

01 ステーションに登録した送り先の一覧を表示する

① セット済みの編集 をクリックして、[送信設定] を表示します。



02 [送信設定] の送り先を取り消す

②取り消したい送り先を[送信設定]から選んでクリックします。

③ 削除① をクリックします。

④ OK をクリックします。

⑤取り消されます。



すべての登録を取り消すには

ステーションの[ストップ]をクリックします。

「原稿」「送付状」「送り先」がすべて取り消されます。



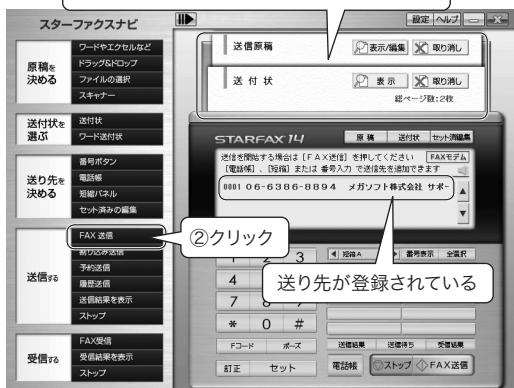
送信を開始する

[FAXスタート]でFAX送信が始まります。

その他、時間を指定して送信したり、同報送信の一時停止など、便利な使い方があります。

送信を開始する

①FAX原稿(または送付状が登録されている)



③送信中



④送信終了



FAX原稿(または送付状)と、送り先を指定したあと、[FAXスタート]をクリックすると、FAX送信が始まります。

01 FAXを送信する

① [ステーション] にFAX原稿(または送付状)と、送り先が登録されていることを確認します。

② **FAX送信** をクリックすると送信が始まります。

③送信中です。

④送信終了です。



送信結果を見るには

「FAXの送信結果を見る」→54ページ



その他の操作は

「送る原稿を決める」→22ページ

「送付状を選ぶ」→22ページ

「FAXの送り先を決める」→23ページ

FAXを送信する

原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

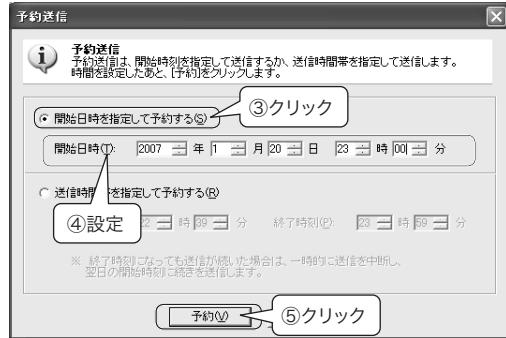
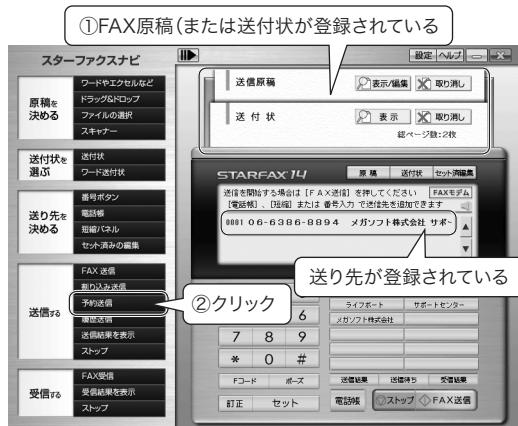
送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54

原稿を決める
P24送付状を選ぶ
P37送り先を決める
P45送信を開始する
P49原稿の確認
P54

予約送信する(送信開始日時を指定)



送信開始日時を指定できます。

通信料金の安い時間帯に送ると、通信料が節約できます。



予約を行う前に
FAX原稿(または送付状)と、送り先を[ステーション]に登録しておきます。

01 開始日時を予約する

①予約を行う前に、送信原稿(または送付状)と、送り先を[ステーション]に登録しておきます。

- ② [予約送信] をクリックします。
- ③ [開始日時を指定して予約する] をクリックします。
- ④ 送信を開始する[日付]と[時間]を設定します。
- ⑤ [予約] をクリックします。
- ⑥ 予約完了が表示されますので [OK] をクリックします。

02 予約を完了させて、[ステーション]を待機状態にする

⑦ステーションに「1件のFAXを送信します」と表示されたら、予約は完了です。

⑧ [ステーション]を最小化して起動したままにしておきます。



指定した時間に送信されないときは
[ステーション]を終了すると送信されません。
最小化で起動したままにしておきます。

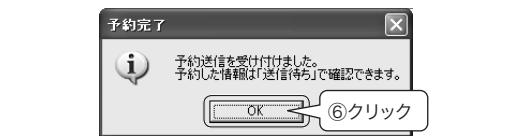
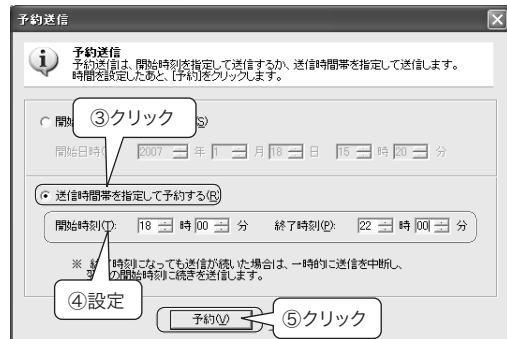
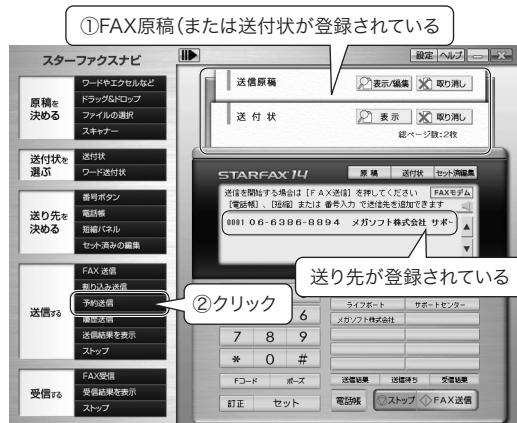


予約状況を確認するには
[ステーション]の「送信待ち」をクリックします。



予約を中止したいときは
「送信を中止する」→53ページ

予約送信する(送信する時間帯を指定)



「送信時間帯指定」機能は、長時間FAXを送信し続けるFAXDMなどのときに有効です。

指定した時間帯以外は送信を一時的に中断し、翌日に続きを送信します。例えば、FAXの利用が多い就業時間中(18時まで)や、深夜時間(22時以降)の送信を避けたい場合に使用します。



予約を行う前に

FAX原稿(または送付状)と、送り先を[ステーション]に登録しておきます。

01 送信時間帯を指定する

①予約を行う前に、送信原稿(または送付状)と、送り先を[ステーション]に登録しておきます。

② [予約送信] をクリックします。

③ [送信時間帯を指定して予約する] をクリックします。

④ [開始時刻] と [終了時刻] を設定します(この説明例では18時と22時です)。

⑤ [予約] をクリックします。

⑥ 予約完了が表示されますので [OK] をクリックします。

02 予約を完了させて、[ステーション] を待機状態にする

⑦ステーションに「1件のFAXを送信します」と表示されたら、予約は完了です。

⑧ [ステーション] を最小化して起動したままにしておきます。



指定した時間に送信されないときは
[ステーション]を終了すると送信されません。
最小化で起動したままにしておきます。



予約状況を確認するには

[ステーション]の「送信待ち」をクリックします。



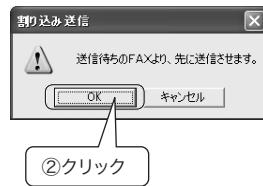
予約を中止したいときは

「送信を中止する」→53ページ

割り込み送信する



FAXを送信する



割り込み送信は、急ぎのFAXを優先的に送信する機能です。

同報送信などで大量のFAXを送ってる最中でも、同報送信処理を中断せずに、急ぎのFAXを優先して送信できます。

01

割り込み送信する

①FAXの送信中に **割り込み送信** をクリックします。

[割り込み送信]が開きます。

② **OK** をクリックします。

×モード 割り込み送信を複数回行った場合は
割り込み送信同士の場合、順番は変わりません。
操作の早い方が先に送信されます。



送信を中止する



FAXの送信を中止したいときは、次のように操作します。

01 FAXの送信を中止する

- ①FAXの送信中に **「Stop」** をクリックします。
[Stop] が開きます。
- ②[現在通信中のFAXを中止し、全ての送信待ちをキャンセルする] を選びます。
- ③ **「OK」** をクリックします。

×モード 中止を受け付けないときは
送信状況によっては、操作を受け付けてくれないときがあります。そのときは **「Stop」** を何度もクリックしてみてください。

FAXを送信する

原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確認
P54

FAXの送信結果を見る

FAX送信が正常に行われたことを確認します。

送信FAXの保存(PDFや画像形式)や、送信結果一覧表も保存できます。

FAXの送信結果を見る

FAXを送信する

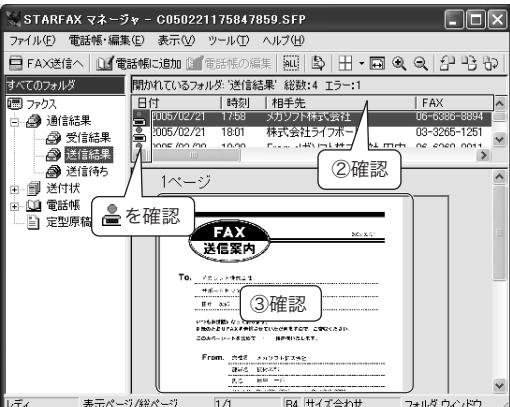
原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54



FAX送信の結果は次の操作で確認します。

01 [送信結果] を開く

① 送信結果を表示 をクリックします。

02 [送信結果] からFAXを探す

② 日付、時刻、相手先、FAX項目から送信したFAXを探してクリックします。

送信に成功すると、左端に成功したことを表す が表示されます。

マークがついているときは
送信が失敗したことを表しています。
何度もエラーになるときは、なにかの問題
が起こっています。
以下のページから解決方法を探してください。
「困ったときは」→139ページ

③ 送信したFAXが表示されます。

FAX原稿を印刷するには
対象のFAXをクリックして選び、[ファイル]→[印刷]で印刷できます。

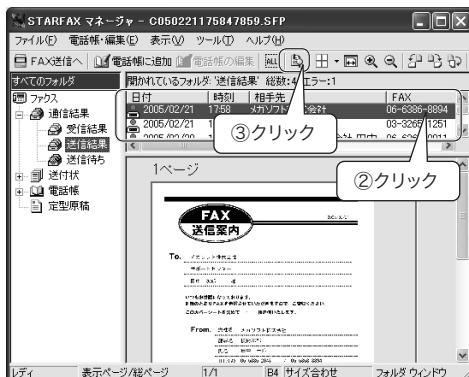
送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する



送信したFAXは、PDFファイルや画像ファイルに変換して保存することができます。

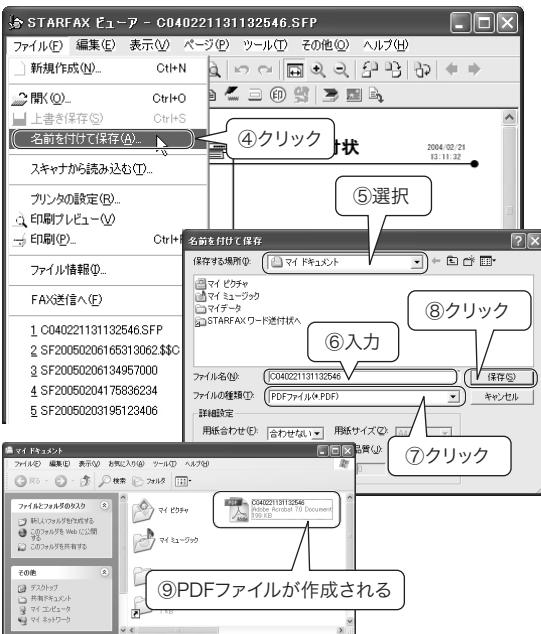
01 [送信結果] を開く

- ① 送信結果を表示 をクリックします。



02 送信したFAXを[ビューア]で開く

- ②日付、時刻、相手先、FAXなどの項目から送信したFAXを探してクリックします。
- ③[③]をクリックすると、FAX原稿が[ビューア]で開きます。



03 PDFファイル(や画像ファイル)として保存する

- ④[ファイル] - [名前を付けて保存]をクリックします。
- ⑤[保存する場所]をクリックして、[マイドキュメント]にします(例としてマイドキュメントを選んでいます)。
- ⑥ファイル名を決めます。
- ⑦[ファイルの種類]をクリックして、[PDFファイル]にします(例としてPDFファイルを選んでいます)。
- ⑧[保存]をクリックします。
- ⑨[マイドキュメント]にPDFファイルが作成されます。

FAXを送信する

原稿を
決める
P24

送付状
を選ぶ
P37

送り先を
決める
P45

送信を
開始する
P49

原稿の
確
認
P54

送信結果の一覧表を保存・印刷する

FAXを送信する

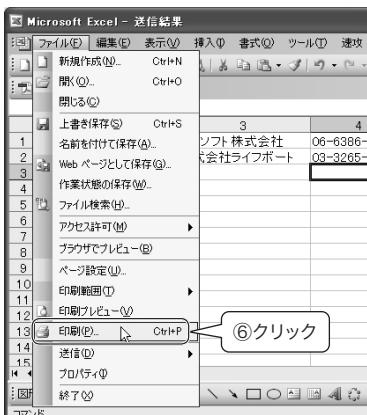
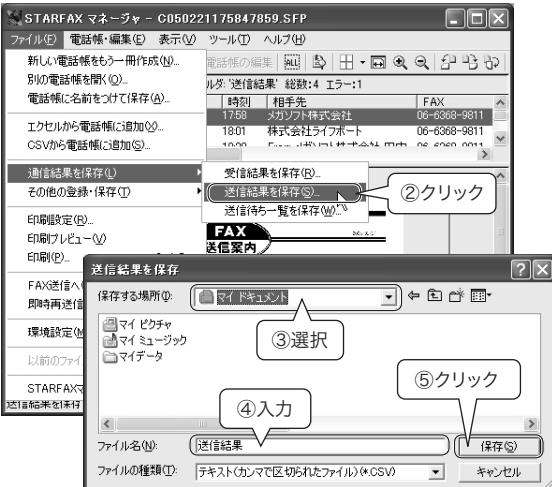
原稿を決める
P24

送付状を選ぶ
P37

送り先を決める
P45

送信を開始する
P49

原稿の確認
P54



送信結果の一覧表をファイルへ保存してから印刷します。

01 [送信結果]を開く

① 送信結果を表示 をクリックします。

02 送信結果をCSVファイルで保存する

② [ファイル] - [通信結果を保存] - [送信結果を保存] をクリックします。

③ [保存する場所] をクリックして、[マイドキュメント]にします(例としてマイドキュメントを選んでいます)。

④ ファイル名を決めます。

⑤ 保存 をクリックします。

メモ CSV(シーエスブイ)ファイルとは
データをカンマ(,)で区切って並べたテキストファイルです。汎用性が高いため、異なる種類のソフト間のデータ交換によく使われます。

03 送信結果をエクセルで印刷する

⑥ [マイドキュメント]に保存したCSVファイルをエクセルで開き、レイアウトを調整したあと、[ファイル] - [印刷] をクリックして印刷します。

メモ マネージャの簡易印刷について
印刷設定を[送受信結果の一覧]に変更したあと、印刷すると、送受信結果の一覧表を印刷できます。

FAXを受信する

FAXを受信するには?	58
FAXを受信する	59
自動受信を使う	59
手動受信を使う	60
受信しないように設定する	62
受信したFAXを確認する	63
受信結果を見る	63
受信したFAXを表示する	64
受信したFAXを編集する	65
受信したFAXを印刷する	66
受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する	67
受信結果の一覧表を保存・印刷する	68
FAXを自動的にメール転送・印刷・PDF保存する	69
送受信したFAXをメールで転送する	69
受信したFAXをプリンタで印刷する	71
受信したFAXをFAXで転送する	72
受信したFAXを指定したフォルダにPDF形式で保存する	73

FAXを受信するには?

FAXを受信する

受信方法を選択!
ご利用環境にあわせた
受信が可能です。

自動受信を使う 59
手動受信を使う 60
受信しないように設定する 62



FAXを受信する

FAX受信したあとに…

受信したFAXを確認する

受信結果は一覧で確認!
PDFファイルへの変換や
通信記録の印刷もできます。

受信結果を見る 63
受信したFAXを表示する 64
受信したFAXを編集する 65
受信したFAXを印刷する 66
受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 67
受信結果の一覧表を保存・印刷する 68

FAXを自動的にメール転送・印刷・PDF保存する SF14 ONLY

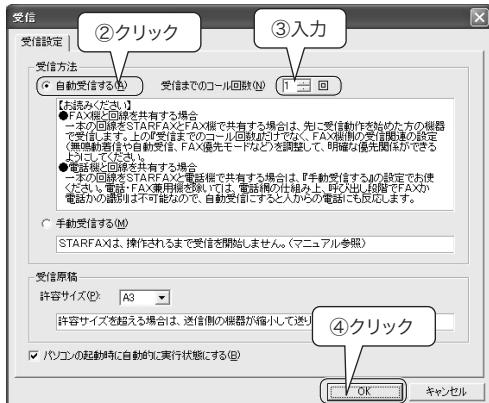
受信FAXを自動転送!
メールやプリンタを有効に
活用します。

送受信したFAXをメールで転送する 69
受信したFAXをプリンタで印刷する 71
受信したFAXをFAXで転送する 72
受信したFAXを指定したフォルダにPDF形式で保存する... 73

FAXを受信する

FAX受信の方法は「自動受信」と「手動受信」の2つの方法があります。どちらを使うのかは、ご利用の電話回線環境で決まります。

自動受信を使う



STARFAX専用の電話回線があるときは、「自動受信」を使います。

自動受信に設定しておくと、[ステーション]を起動しておくだけでFAXが受信できます。

注意 パソコンの電源について
FAXを受信するにはパソコンと、[ステーション]を起動しておきます。

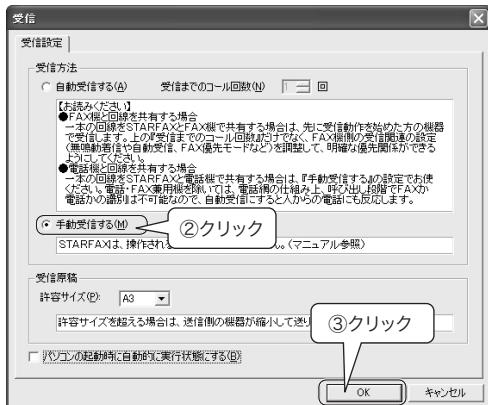
01 [受信設定]を自動受信に変更する

- [ステーション]の[設定]をクリックして表示されるメニューから[受信設定]をクリックします。
[受信]が開きます。
- [受信方法]の[自動受信する]をクリックします。
- [受信までのコール回数]を入力します。
- OKをクリックします。

注意 STARFAXが電話を取ってしまうときは
設定を[手動受信]に変更してください。
「手動受信を使う」→60ページ

参照 受信したFAXを確認するには
「受信したFAXを確認する」→63ページ

手動受信を使う



電話回線をSTARFAXと電話で併用するときは手動受信を使います。

手動受信は、電話でFAXがきたことを確認(ボーポーという音が)したあと、STARFAXで受信操作を行う方法です。



電話回線を電話とSTARFAXで併用するときの問題
相手先からの着信をSTARFAXに知らせるFAXモデムは、電話とFAXを区別する機能を持っています。そのため、STARFAXを初期設定のまま使うと、電話がかかってきたときもSTARFAXが取ってしまい、話しができなくなります。

この問題は、STARFAXのFAX受信設定を「手動受信(初期設定は自動受信)」に変更すると解決できます。

手動受信にすると、STARFAXは受信操作をしないかぎり、電話やFAXを取らなくなりますので、電話とFAXを区別する機能を持たないFAXモデムの問題を解決できます。

01 [受信設定]を手動受信に変更する

① [ステーション]の[設定]をクリックして表示されるメニューから[受信設定]をクリックします。

[受信]が開きます。

② [受信方法]の[手動受信する]をクリックします。

③ [OK]をクリックします。

④ [ステーション]に(受信は手動)と表示されます。

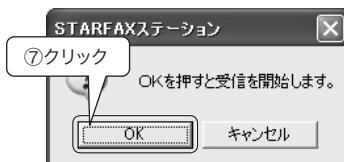
手動受信は次のように操作します。

02 電話の受話器を取り、FAXの音を確認する

⑤FAXが送信されてきたこと(ポーポーという音が流れます)を確認します。

03 STARFAXで受信操作を行う

⑥[ステーション]の **FAX受信** をクリックします。



⑧受信を開始



⑦ **OK** をクリックします。

⑧受信を始めたら、電話の受話器を置きます。



FAXモデムの仕様について
FAX受信中でも電話機の通話を遮断しないFAX
モデムを使うと、電話機の信号が干渉して通信エ
ラーを起こすことがあります。

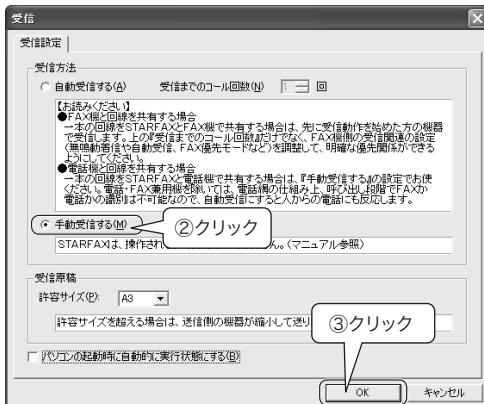


受信したFAXを確認するには
「受信したFAXを確認する」→63ページ

受信しないように設定する



FAXを受信する



標準の設定では[ステーション]が起動しているとFAXを受信してしまいます。

回線を電話機と併用しているときや、受信をFAX機にさせたいときはSTARFAXの受信機能を停止(手動受信にする)させます。

01 [受信設定]を手動受信に変更する

① [ステーション]の[設定]をクリックして表示されるメニューから[受信設定]をクリックします。

[受信]が開きます。

② [受信方法]の[手動受信する]をクリックします。

③ OKをクリックします。

④ [ステーション]に(受信は手動)と表示されます。



電話回線を電話とSTARFAXで併用するときの問題
相手先からの着信をSTARFAXに知らせるFAXモデムは、電話とFAXを区別する機能を持っています。そのため、STARFAXを初期設定のまま使うと、電話がかかってきたときもSTARFAXが取ってしまい、話しができなくなります。

この問題は、STARFAXのFAX受信設定を「手動受信(初期設定は自動受信)」に変更すると解決できます。

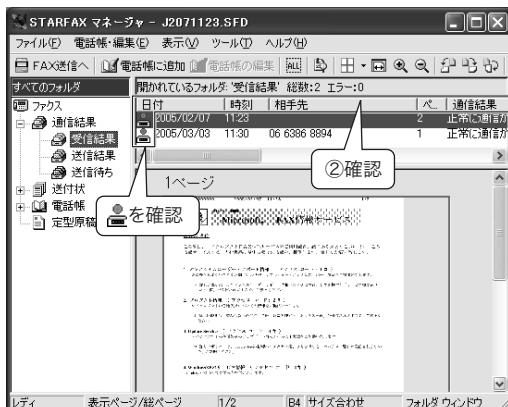
手動受信にすると、STARFAXは受信操作をしないかぎり、電話やFAXを取らなくなりますので、電話とFAXを区別する機能を持たないFAXモデムの問題を解決できます。

受信したFAXを確認する

受信したFAXを確認します。

受信したFAXの保存(PDFや画像形式)や、受信結果一覧表も保存できます。

受信結果を見る



受信したFAXを確認します。

受信結果を開くと、受信の成功・失敗や、送信元が確認できます。

01 [受信結果] を開く

① 受信結果を表示 をクリックします。

02 [受信結果] からFAXを探す

②日付、時刻、相手先、FAX項目から受信したFAXを探してクリックします。

受信に成功すると、左端に成功したことを表すマークが表示されます。



マークがついているときは

受信が失敗したことを表しています。

何度もエラーになるときは、なにかの問題が起こっています。

以下のページから解決方法を探してください。

「困ったときは」→139ページ



受信したFAXの操作方法は

「受信したFAXを表示する」→64ページ

「受信したFAXを編集する」→65ページ

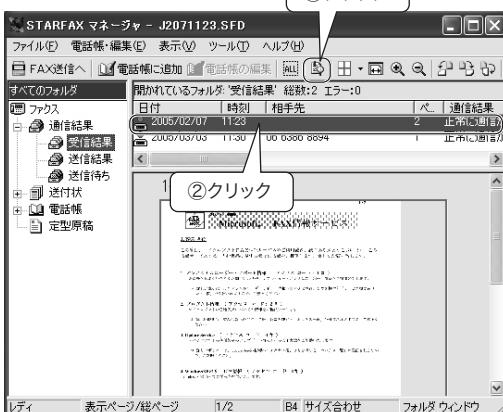
「受信したFAXを印刷する」→66ページ

「受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する」→67ページ

「受信結果の一覧表を保存・印刷する」→68ページ

「FAXを自動的にメール転送・印刷・PDF保存する」→69ページ

受信したFAXを表示する



受信したFAXを[ビューア]で表示します。

[受信結果] でも確認できますが、[ビューア]を使うと、より大きく表示でき、次ページの確認も簡単です。

01 [受信結果] を開く

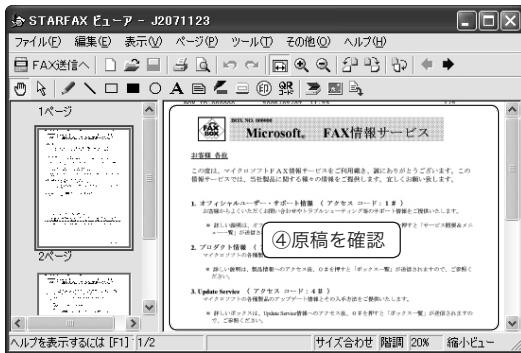
① [受信結果を表示] をクリックします。

02 [受信結果] からFAXを探す

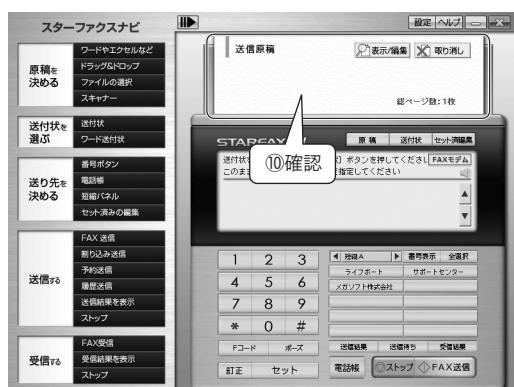
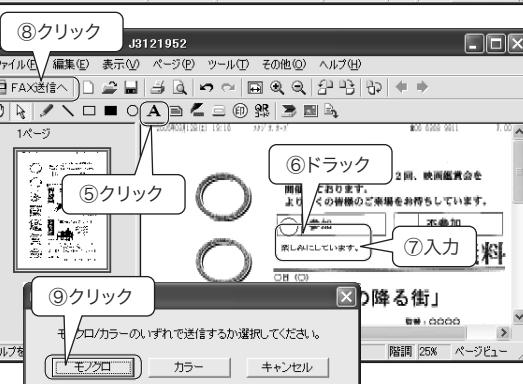
②日付、時刻、相手先、FAX項目から受信したFAXを探してクリックします。

③ [FAX] をクリックすると、FAX原稿が[ビューア]で開きます。

④原稿を確認します。



受信したFAXを編集する



受信したFAX原稿に○を付けたり文字を書き込んだりします。

01 [受信結果] から編集したいFAXを探す

- ①[受信結果]の□をクリックします。
- ②原稿を表示します。

02 原稿を編集する

- ③○をクリックします
- ④原稿上でドラッグして○を付けます。
- ⑤Aをクリックします。
- ⑥原稿上でドラッグして枠を作ります。
- ⑦文字を入力します。

 ビューアのその他の操作は
[STARFAX 14(または、14Lite)] - [マニュアル&Webページ] - [ヘルプ]

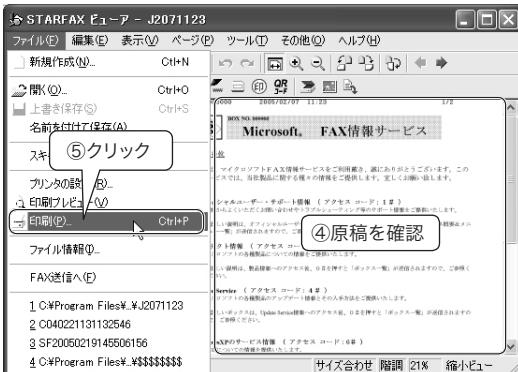
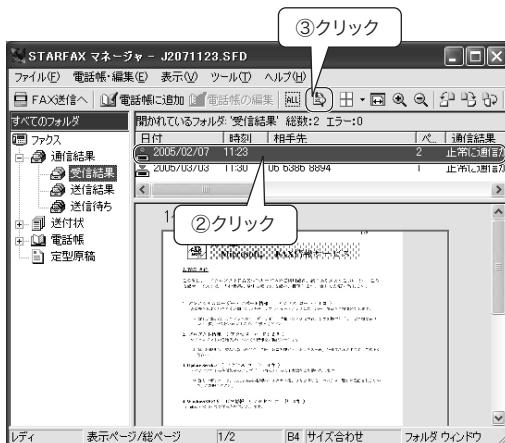
03 [ステーション] に再登録する

- ⑧FAX送信へをクリックします。
- ⑨モクロボタンをクリックします。

 カラーFAXについて(14Liteは非対応)
カラーFAXで送るには、送り先のFAX機がカラーFAXを受信できる機能を持っていなければなりません。
[STARFAX 14] - [マニュアル&Webページ] - [ヘルプ]

- ⑩原稿の編集が終わってステーションに登録されます。

受信したFAXを印刷する



受信したFAXを[ビューア]で印刷します。

01 [受信結果] を開く

① 受信結果を表示 をクリックします。

02 [受信結果] から印刷するFAXを探す

②日付、時刻、相手先、FAX項目から受信したFAXを探してクリックします。
 ③ をクリックすると、FAX原稿が[ビューア]で開きます。

03 FAX原稿を印刷する

④原稿を確認します。
 ⑤[ファイル] - [印刷] をクリックして印刷します。

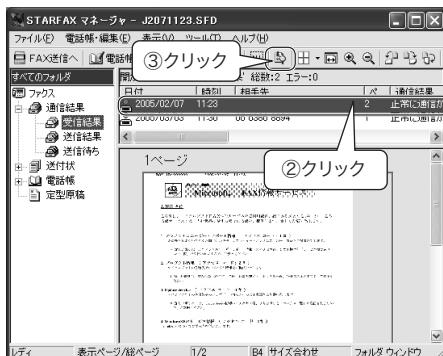
受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する



受信したFAXは、PDFファイルや画像ファイルに変換して保存することができます。

01 [受信結果] を開く

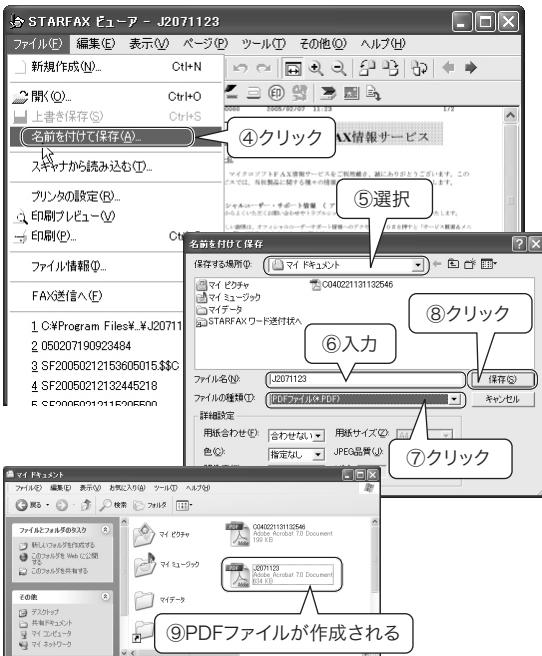
① 受信結果を表示 をクリックします。



02 受信したFAXを[ビューア]で開く

② 日付、時刻、相手先、FAXなどの項目から受信したFAXを探してクリックします。
③ をクリックすると、FAX原稿が[ビューア]で開きます。

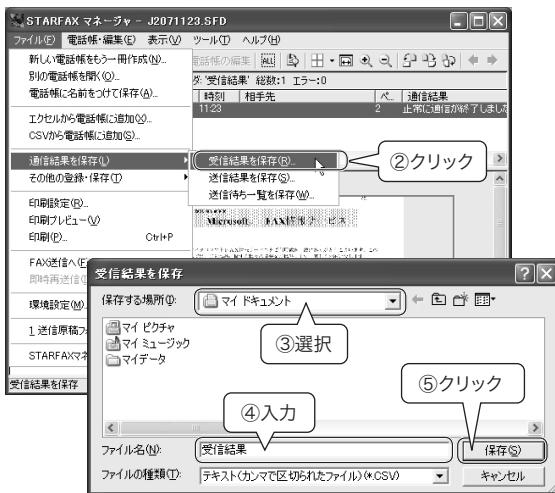
FAXを受信する



03 PDFファイル(や画像ファイル)として保存する

④ [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックします。
⑤ [保存する場所] をクリックして、[マイドキュメント] にします(例としてマイドキュメントを選んでいます)。
⑥ ファイル名を決めます。
⑦ [ファイルの種類] をクリックして、[PDFファイル] にします(例としてPDFファイルを選んでいます)。
⑧ 保存(S) をクリックします。
⑨ [マイドキュメント] にPDFファイルが作成されます。

受信結果の一覧表を保存・印刷する



受信結果の一覧表をファイルへ保存してから印刷します。

01 [受信結果] を開く

① 受信結果を表示 をクリックします。

02 受信結果をCSVファイルで保存する

② [ファイル] - [通信結果を保存] - [受信結果を保存] をクリックします。
 ③ [保存する場所] をクリックして、[マイドキュメント] にします(例としてマイドキュメントを選んでいます)。
 ④ ファイル名を決めます。
 ⑤ 保存 をクリックします。

メモ CSV(シーエスブイ)ファイルとは
データをカンマ(,)で区切って並べたテキストファイルです。汎用性が高いため、異なる種類のソフト間のデータ交換によく使われます。

03 受信結果をエクセルで印刷する

⑥ [マイドキュメント] に保存したCSVファイルをエクセルで開き、レイアウトを調整したあと、[ファイル] - [印刷] をクリックして印刷します。

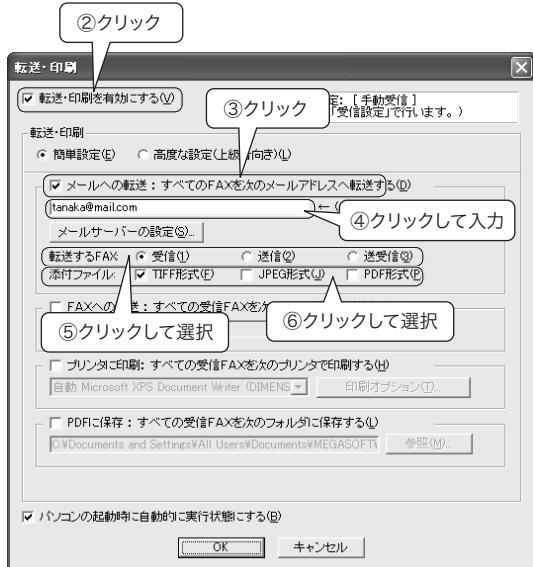
メモ マネージャの簡易印刷について
印刷設定を [送受信結果の一覧] に変更したあと、印刷すると、送受信結果の一覧表を印刷できます。

FAXを自動的にメール転送・印刷・PDF保存する

SF14 ONLY

送受信したFAXを自動的にメール転送したり、受信したFAXをプリンタへ印刷したり、別の宛先へFAX送信したり、PDF形式で自動保存できます。

送受信したFAXをメールで転送する



FAXを送受信したときに、設定しておいたメールアドレスにFAX原稿や送受信通知を送ります。

01 環境設定 [転送・印刷設定] を表示する

① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [転送・印刷設定] をクリックします。

[転送・印刷] が開きます。

02 転送先メールアドレスを設定する

② [転送・印刷を有効にする] にチェックを入れます。

③ [メールへの転送：すべてのFAXを次のメールアドレスへ転送する] にチェックをいれます。

④ 転送先のメールアドレスを入力します。

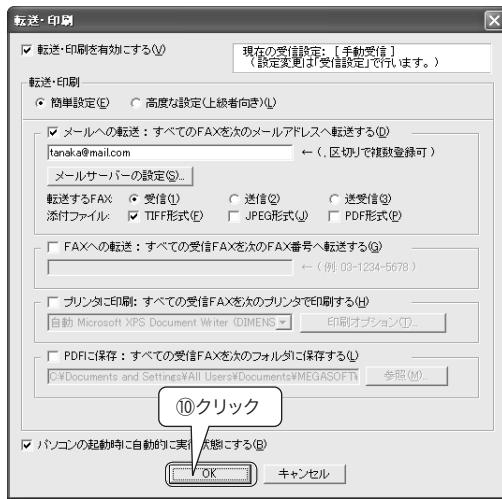
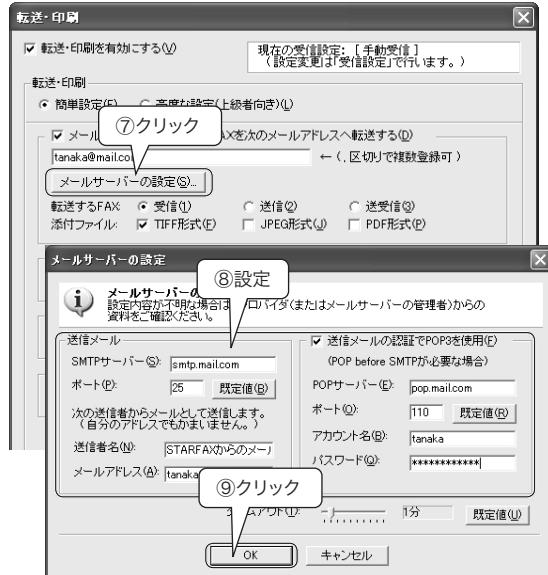
⑤ 転送するFAXの種類を選択します。

メモ 転送先を複数登録するには
次のように「,」で区切って入力します。
tanaka@mail.com,satou@mail.com

メモ 転送先のメールアドレスへ入力できる文字数
は、最大1025文字です。

⑥ 添付するFAX原稿のファイル形式を選びます。

メモ 添付ファイルについて
すべてのチェックを外すと、FAX原稿は転送
されずに受信通知だけが送られます。



03 メールサーバーを設定する

注! 意 メールサーバーの設定はお客様ごとに異なります。

ご契約のインターネットプロバイダ資料をご覧ください。

⑦ メールサーバーの設定 をクリックします。

⑧ 送信メールに関する設定を入力します。
受信しなければメール送信ができないプロバイダを使用しているときは、[送信メールの認証でPOP3を使用]にチェックを入れ、受信メールの設定をします。



POP before SMTPについて
認証に使用するだけで、メールを受信するわけではありません。

⑨ OK をクリックします。

⑩ OK をクリックします。

04 転送・印刷マネージャを常駐させておく

⑪ [転送・印刷マネージャ]が起動したら、×をクリックします。

⑫ 説明を読み、OK をクリックします。



[転送・印刷マネージャ]とは
メール・FAXへの転送や、プリンタへの印刷を行うプログラムです。必ずタスクトレイに常駐させておいてください。

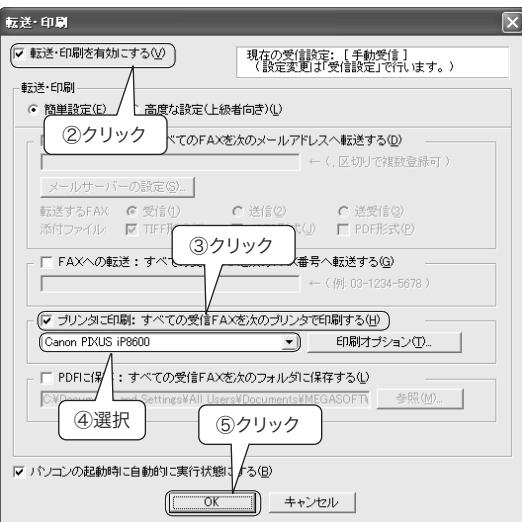
受信したFAXをプリンタで印刷する



FAXを受信すると、設定しておいたプリンタで自動的に印刷します。

01 環境設定 [転送・印刷設定] を表示する

- ① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [転送・印刷設定] をクリックします。
[転送・印刷] が開きます。



FAXを受信する

02 プリンタを設定する

- ② [転送・印刷を有効にする] にチェックを入れます。
- ③ [プリンタに印刷:すべての受信FAXを次のプリンタで印刷する] をクリックします。
- ④ 印刷するプリンタを選びます。
- ⑤ [OK] をクリックします。



03 転送・印刷マネージャを常駐させておく

- ⑥ [転送・印刷マネージャ] が起動したら、[X] をクリックします。
- ⑦ 説明を読み、[OK] をクリックします。

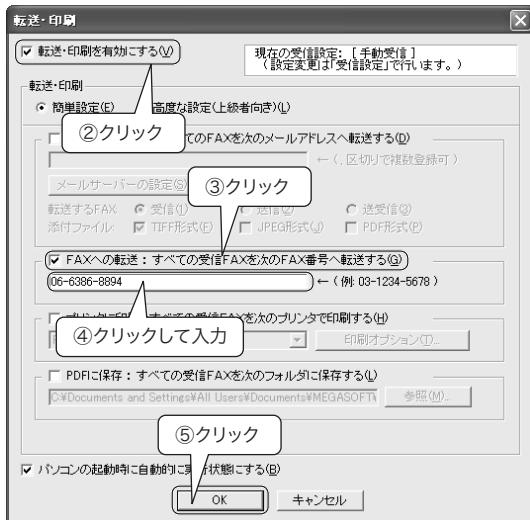


[転送・印刷マネージャ] とは
メール・FAXへの転送や、プリンタへの印刷
を行うプログラムです。必ずタスクトレイに常
駐させておいてください。

受信したFAXをFAXで転送する



FAXを受信する



FAXを受信すると、設定しておいたFAX番号にFAXで転送します。

01 環境設定 [転送・印刷設定] を表示する

- ① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [転送・印刷設定] をクリックします。
- [転送・印刷] が開きます。

02 転送先FAXを設定する

- ② [転送・印刷を有効にする] にチェックを入れます。
- ③ [FAXへの転送:すべての受信FAXを次のFAX番号へ転送する] をクリックします。
- ④ 転送するFAX番号を入力します。
- ⑤ [OK] をクリックします。



03 転送・印刷マネージャを常駐させておく

- ⑥ [転送・印刷マネージャ] が起動したら、[X] をクリックします。
- ⑦ 説明を読み、[OK] をクリックします。

注 ! [転送・印刷マネージャ] とは
メール・FAXへの転送や、プリンタへの印刷
を行うプログラムです。必ずタスクトレイに常
駐させておいてください。

受信したFAXを指定したフォルダにPDF形式で保存する

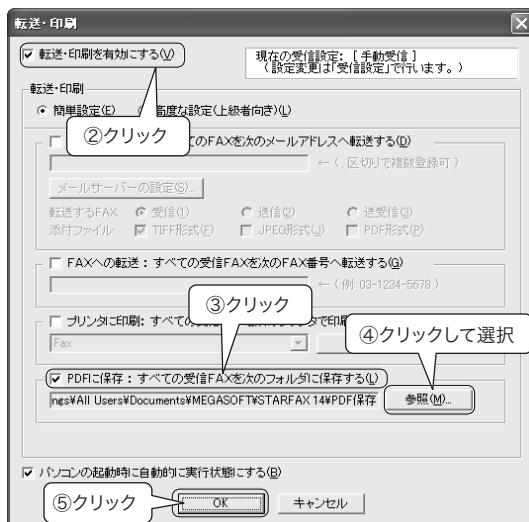


FAXを受信すると、指定したフォルダにPDF形式で自動的に保存します。

01 環境設定 [転送・印刷設定] を表示する

- ① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [転送・印刷設定] をクリックします。

[転送・印刷] が開きます。



02 保存するフォルダを設定する

- ② [転送・印刷を有効にする] にチェックを入れます。
- ③ [PDFに保存 : すべての受信FAXを次のフォルダに保存する] をクリックします。
- ④ [参照] をクリックし、保存先のフォルダを選択します。
- ⑤ [OK] をクリックします。



03 転送・印刷マネージャを常駐させておく

- ⑥ [転送・印刷マネージャ] が起動したら、[X] をクリックします。
- ⑦ 説明を読み、[OK] をクリックします。



[転送・印刷マネージャ] とは
メール・FAXへの転送や、プリンタへの印刷
を行うプログラムです。必ずタスクトレイに常
駐させておいてください。

FAXを受信する

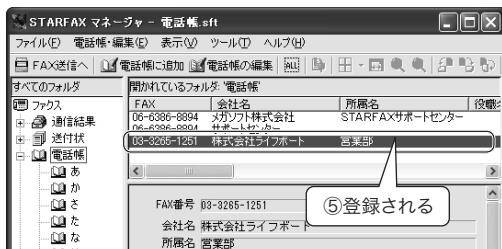
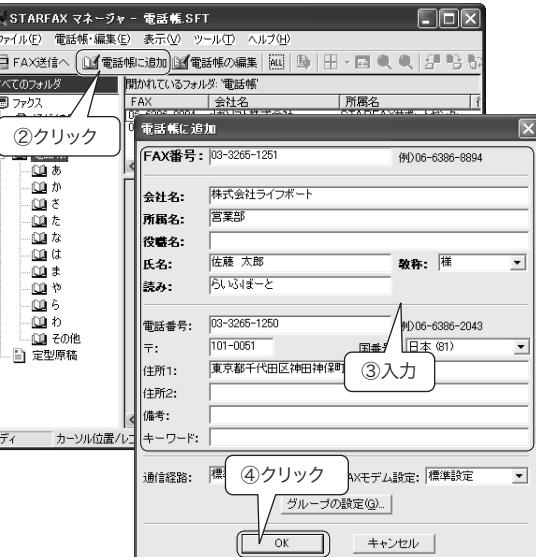
電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

電話帳を登録・変更・削除する	76
電話帳を登録する	76
エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する	SF14 ONLY
電話帳を変更する	77
電話帳を削除する	79
グループ設定を使う	80
電話帳を一覧表(CSV)に書き出す・印刷する	81
	83
短縮パネルを登録・変更・削除する	84
短縮パネルを登録する	84
短縮パネルを変更する	85
短縮パネルを削除する	86

電話帳を登録・変更・削除する

電話帳に送り先の情報を登録しておくと、FAX送信時の送り先を一覧表から指定できます。また、送付状に送り先の情報を差し込むこともできます。

電話帳を登録する



電話帳への登録は次のように操作します。

01 [電話帳] を開く

① **電話帳** をクリックします。
電話帳の画面が開きます。

02 [電話帳] に追加する

② **電話帳に追加** をクリックします。
[電話帳に追加] が開きます。
③送り先の情報を入力します。

メモ グループの設定とは
「グループ設定を使う」→81ページ

④ **OK** をクリックします。
⑤電話帳に登録されます。

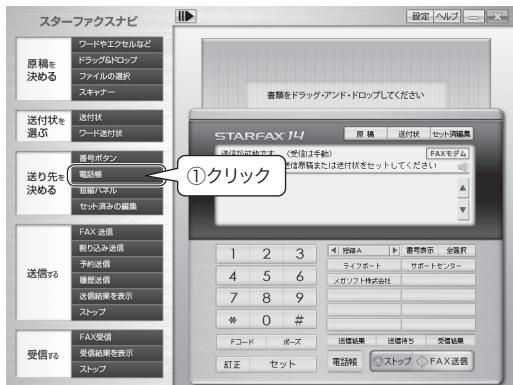
メモ 必須項目について
最低限必要な項目は「FAX番号」だけです。
その他の項目は必要に応じて入力してください。

メモ 送付状の差し込み項目について
送付状に差し込める項目は、「FAX番号」「会社名」「所属名」「役職名」「氏名」「敬称」「電話番号」「〒」「住所1」「住所2」です。
ただし、差し込まれる項目は選ぶ送付状によって違います。

メモ 「読み」について
ひらがな、カタカナで文字を入力しておくと、電話帳を50音表示したときに振り分けられて表示されます。
「電話帳から選ぶ」→46ページ

エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する

SF14 ONLY



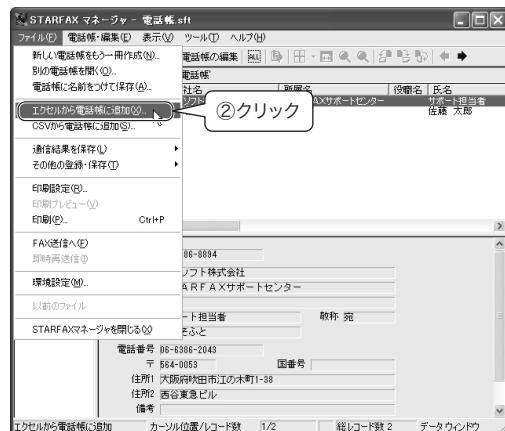
エクセルで作成した住所録ファイルがあるときは、次の操作でSTARFAXの電話帳に追加します。CSVファイルもほぼ同様の操作で追加できます。



Outlookや年賀状ソフトのデータは
Outlookや年賀状ソフトは、データをCSVファイル
に出力する機能を持っています。CSVファイルに出
力すれば、この章の説明でSTARFAXの電話帳に
追加できます。

01 [電話帳] を開く

① **電話帳** をクリックします。
電話帳の画面が開きます。



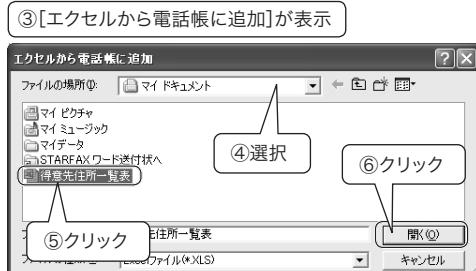
02 エクセルの住所録ファイルを選ぶ

② 電話帳画面の [ファイル] - [エクセルから電話帳に追加] をクリックします。



CSV住所録ファイルを取り込むには
[電話帳] の [ファイル] - [CSVから電話帳に
追加] をクリックします。

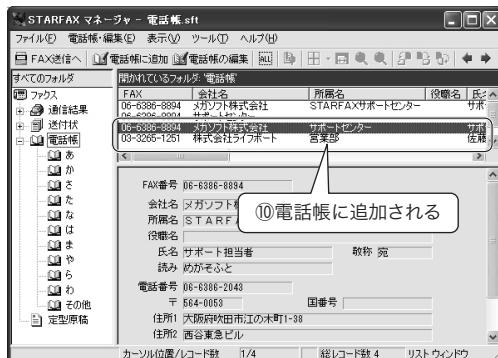
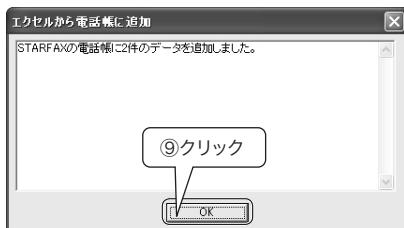
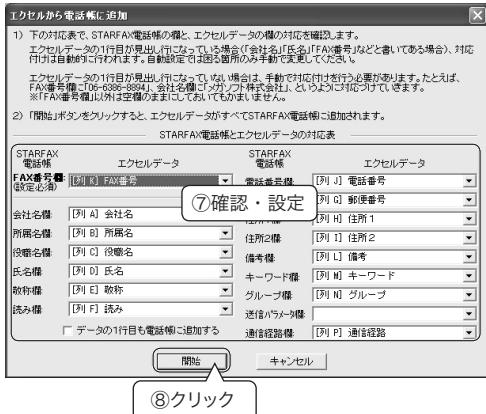
③ [エクセルから電話帳に追加] が開きます。
④ [ファイルの場所] からエクセルで作成した住所
録ファイルのある場所を探します。
⑤ エクセルで作成した住所録ファイルをクリック
します。
⑥ **開く(O)** をクリックします。



電話帳・短縮パネルを登録・
変更・削除する

会社名	所属名	役職名	氏名	敬称	読み
メガソフト株式会社	サポートセンター	サポート担当者	死ぬ	めぬ	
株式会社ライフポート	営業部	佐藤 太郎	様	様	らし

見出し



03 STARFAXの電話帳とエクセル住所録の欄を対応させる



対応を自動的に行うには

エクセル住所録データの1行目を、STARFAXの電話帳項目名にしておくと、ファイルを読み込んだときに対応付けが自動的に行われます。

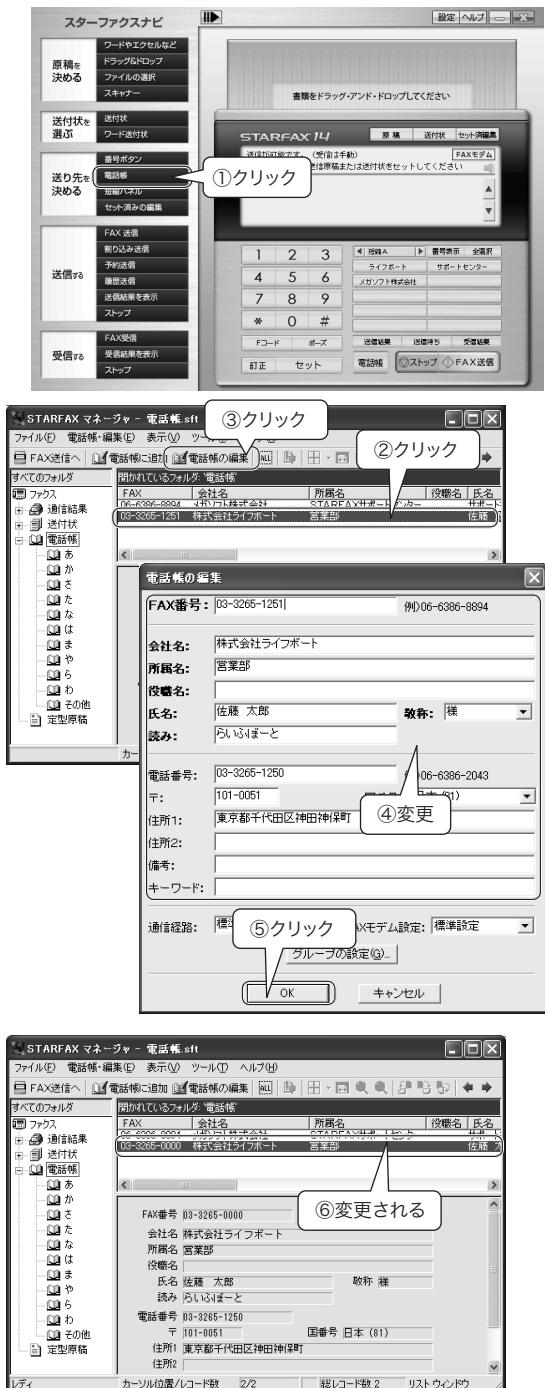
⑦STARFAXの電話帳欄にエクセル住所録の欄を割り当てます。

⑧ [開始] をクリックします。

⑨ [エクセルから電話帳に追加] が表示されたら [OK] をクリックします。

⑩電話帳に追加されます。

電話帳を変更する



電話帳の変更は、次のように操作します。

01 [電話帳] を開く

- ① **電話帳** をクリックします。

電話帳の画面が開きます。

02 送り先の情報を変更する

- ② 変更したい送り先をクリックします。
- ③ **電話帳の編集** をクリックします。
- [電話帳の編集] が開きます。
- ④ 送り先の情報を変更します。

グループの設定とは
「グループ設定を使う」→81ページ

- ⑤ **OK** をクリックします。
- ⑥ 電話帳が変更されます。

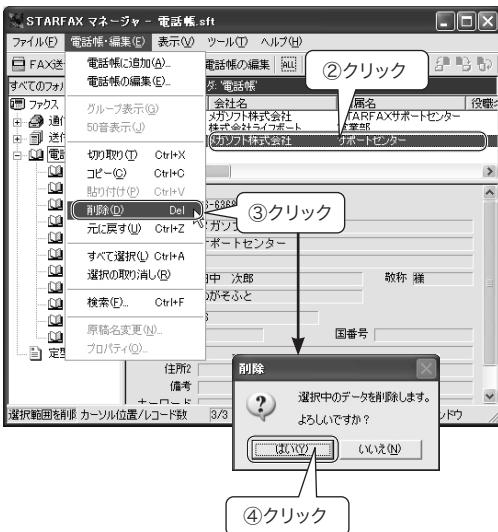
電話帳を削除する



電話帳に登録した送り先の削除は、次のように操作します。

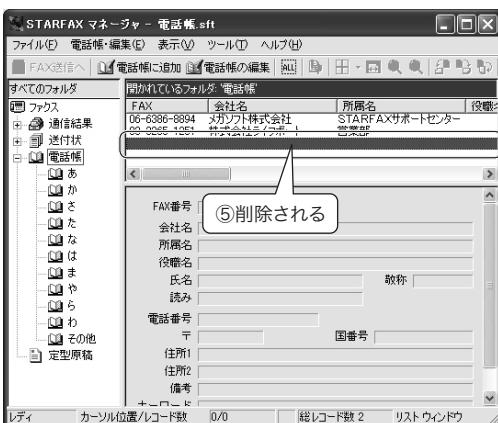
01 [電話帳] を開く

- ① **電話帳** をクリックします。
電話帳の画面が開きます。



02 送り先を削除する

- ② 削除する送り先をクリックします。
- ③ [電話帳・編集] - [削除] をクリックします。
確認画面が表示されます。
- ④ [いいえ] をクリックします。
- ⑤ 削除されます。



電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

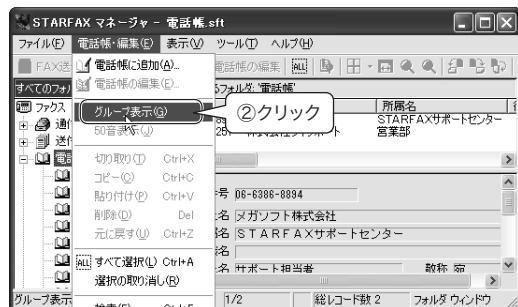
グループ設定を使う



「グループの設定」を使うと、送り先がグループに振り分けられて表示されます。送信単位に設定しておくと便利です。

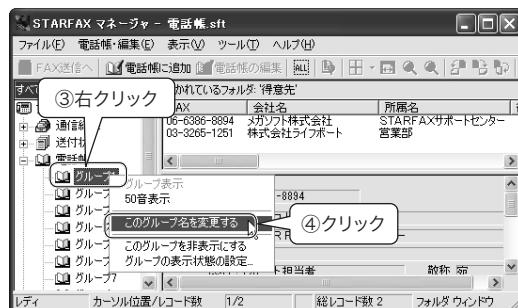
01 [電話帳] を開く

- ① **電話帳** をクリックします。
電話帳の画面が開きます。

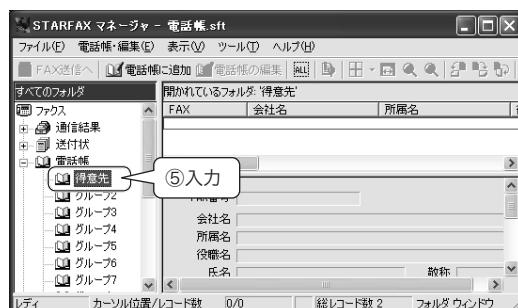


02 グループ名を設定する

- ② [電話帳・編集] – [グループ表示] をクリックします。

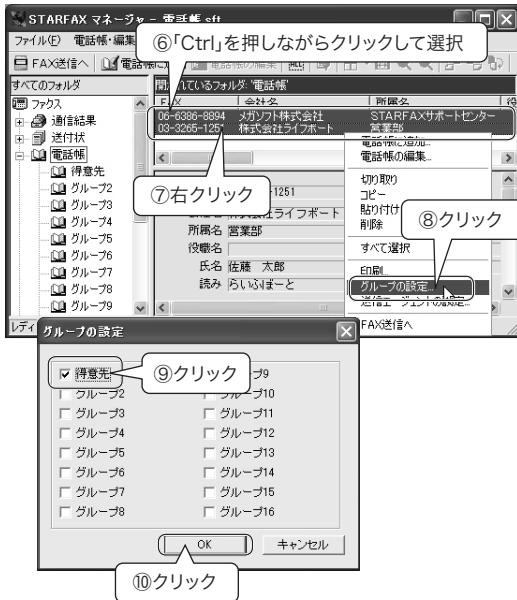


- ③ グループ名を変更したいグループを右クリックします(例としてグループ1を選んでいます)。
- ④ [このグループ名を変更する] をクリックします。

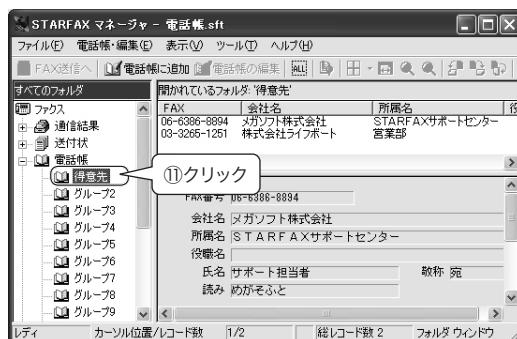


- ⑤ グループ名を入力します(例として得意先と入力しています)。

電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する



電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する



03 グループを設定する

- ⑥グループ設定したい送り先を「Ctrl」キーを押しながらクリックして選びます。
- ⑦⑥で選んだ送り先の上で右クリックします。
- ⑧[グループの設定]をクリックします。
- ⑨設定したいグループをクリックしてチェックを入れます(例として得意先を選んでいます)。

メモ 16のグループについて
電話帳は16個のグループを持っています。
使用したいグループにチェックを入れると、そ
のグループをクリックしたときに、登録した送
り先が表示されるようになります。
グループのチェックは、16個すべてに入れて
もかまいません。

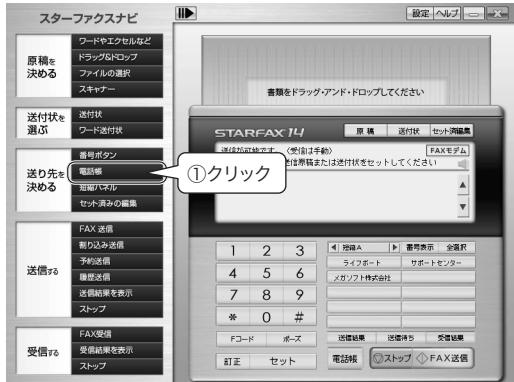
⑩ OK をクリックします。

04 [電話帳] をグループ表示にする

⑪ [グループ] をクリックするとそのグループに設定した電話帳が表示されます。

 電話帳を50音表示にするには
[電話帳・編集] - [50音表示] をクリックすると電
話帳が50音表示になります。

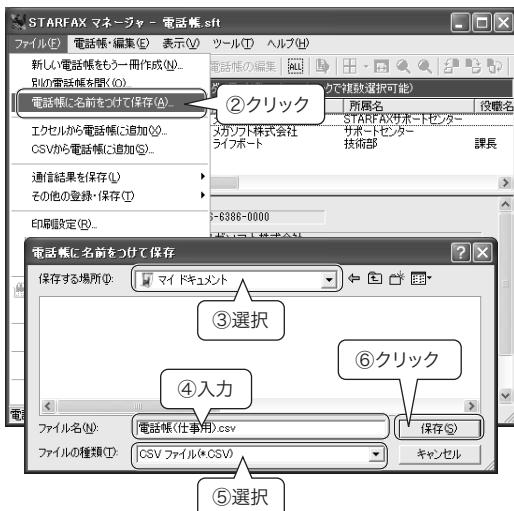
電話帳を一覧表(CSV)に書き出す・印刷する



電話帳を一覧表(CSVファイル)に書き出します。
書き出したファイルはエクセルで開いて印刷することができます。

01 [電話帳]を開く

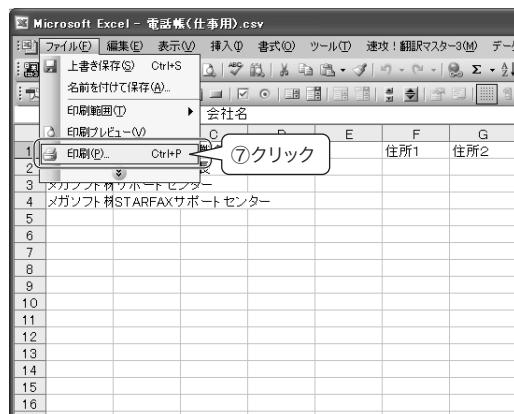
① [電話帳] をクリックします。
電話帳の画面が開きます。



02 [電話帳]をCSVファイルに保存する

② [ファイル] - [電話帳に名前をつけて保存]をクリックします。
③ [保存する場所]をクリックして、[マイドキュメント]にします(例としてマイドキュメントを選んでいます)。
④ ファイル名を決めます。
⑤ ファイルの種類を[CSVファイル(*.CSV)]にします。
⑥ [保存]をクリックします。

 CSV(シーエスブイ)ファイルとは
データをカンマ(,)で区切って並べたテキストファイルです。汎用性が高いため、異なる種類のソフト間のデータ交換によく使われます。



03 一覧表をエクセルで印刷する

⑦ [マイドキュメント]に保存したCSVファイルをエクセルで開き、レイアウトを調整したあと、[ファイル] - [印刷]をクリックして印刷します。

電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

短縮パネルを登録・変更・削除する

短縮パネルに送り先の情報を登録しておくと、FAX送信時の送り先指定がワンクリックで行えます。また、送付状に送り先の情報を差し込むこともできます。

短縮パネルを登録する



電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

短縮パネルへの登録は次のように操作します。

01

[短縮パネル] の編集画面を表示する

① [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [短縮パネル編集] をクリックします。

[短縮パネル編集] が開きます。

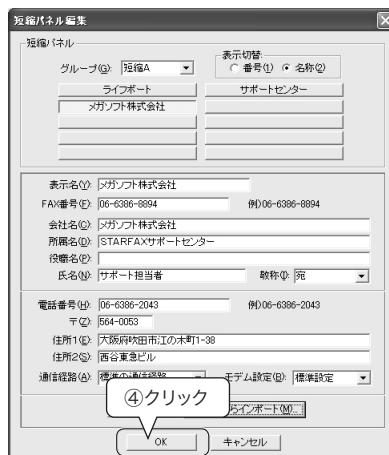
02

送り先を [短縮パネル] に登録する

② 登録先の短縮ダイヤルボタンをクリックします。

③ 送り先の情報を入力します。

④ [OK] をクリックします。



[電話帳] から取り込むには

[短縮パネル編集] の [電話帳からインポート(M)...] をクリックして、取り込む送り先を選びます。



必須項目について

最低限必要な項目は「FAX番号」だけです。他の項目は必要に応じて入力してください。



送付状の差し込み項目について

送付状に差し込める項目は、「FAX番号」「会社名」「所属名」「役職名」「氏名」「敬称」「電話番号」「〒」「住所1」「住所2」です。

ただし、差し込まれる項目は選ぶ送付状によって違います。

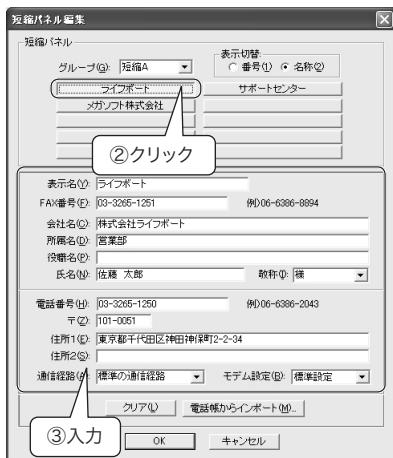
短縮パネルを変更する



短縮パネルの変更は次のように操作します。

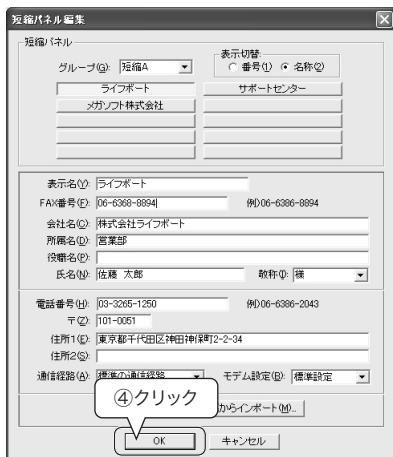
01 [短縮パネル] の編集画面を表示する

- ① [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [短縮パネル編集] をクリックします。
[短縮パネル編集] が開きます。



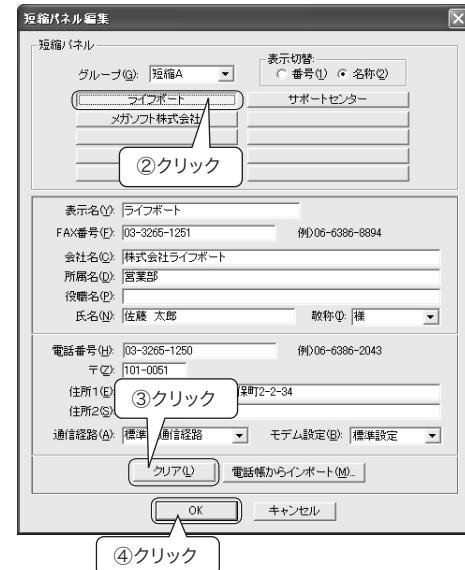
02 送り先の情報を変更する

- ② 変更したい送り先が登録されている短縮ダイヤルボタンをクリックします。
- ③ 送り先の情報を変更します。



- ④ [OK] をクリックします。

短縮パネルを削除する



電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する

短縮パネルに登録した送り先の削除は、次のように操作します。

01 [短縮パネル] の編集画面を表示する

① [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [短縮パネル編集] をクリックします。

[短縮パネル編集] が開きます。

02 送り先の情報を削除する

② 削除する送り先が登録されている短縮ダイヤルボタンをクリックします。

③ [クリア] をクリックします。

登録されている送り先の情報が削除されます。

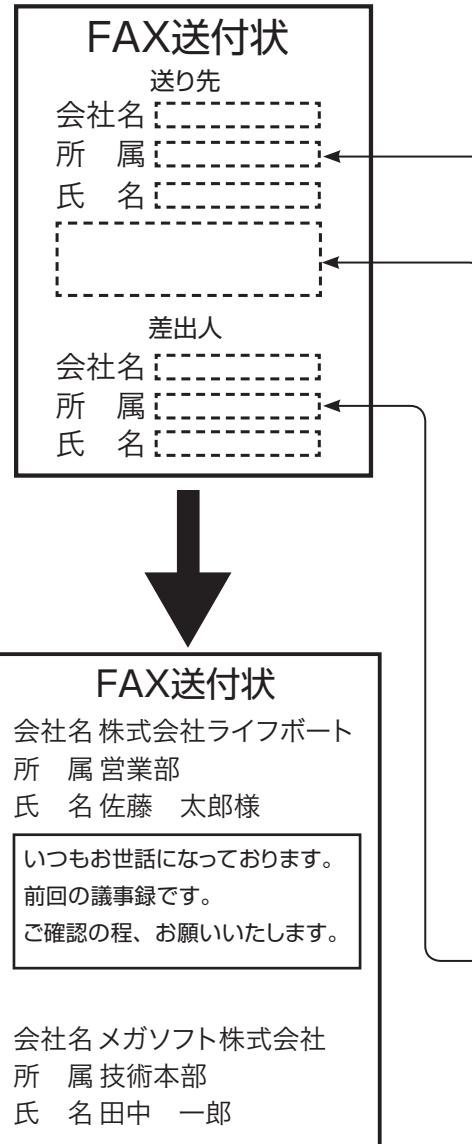
④ [OK] をクリックします。

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる

STARFAXの送付状とは?	88
サンプルの送付状を変更して、オリジナル送付状をつくる …	89
ワードの書類を変更してワード送付状にする <small>SF14 ONLY</small>	93

STARFAXの送付状とは？

STARFAXの送付状とは、設定しておいた「差出人の情報」、電話帳や短縮に登録した「送り先の情報」、送信前の「一言メモ」が差し込めるFAX原稿のことをいいます。



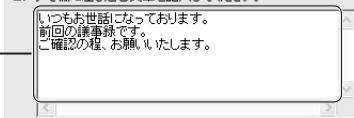
01 送付状の仕組み

[電話帳] や [短縮パネル] に登録した送り先の情報



一言メモ

2. メモ欄に差し込む文章を記入してください。



差出人の情報



サンプルの送付状を変更して、オリジナル送付状をつくる

STARFAXのサンプル送付状を変更して、オリジナル送付状をつくります。



STARFAXのサンプル送付状を変更して、オリジナル送付状をつくります。



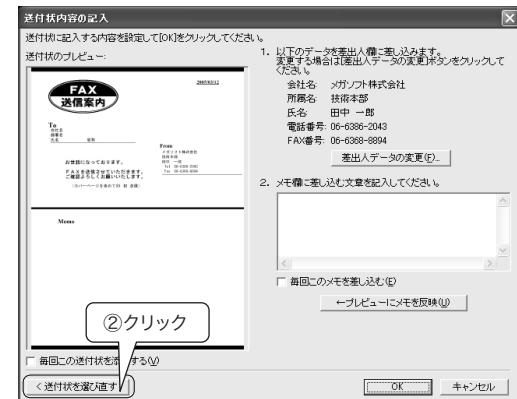
差出人情報を登録しておきましょう

差出人情報を登録しておくと、送付状がわかりやすくなります。

「差出人情報を登録・編集する」→38ページ

01 送付状を選択

① [ステーション] の **送付状** をクリックします。



② 〈送付状を選び直す〉をクリックします。



③ 編集する送付状をクリックします(例では04送付状)。

④ **編集(E)...** をクリックします。
[送付状エディタ] が開きます。



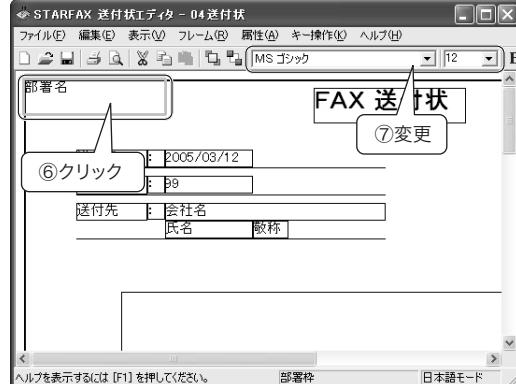
送付状を新規で作るときは
新規(N)... をクリックします。

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる



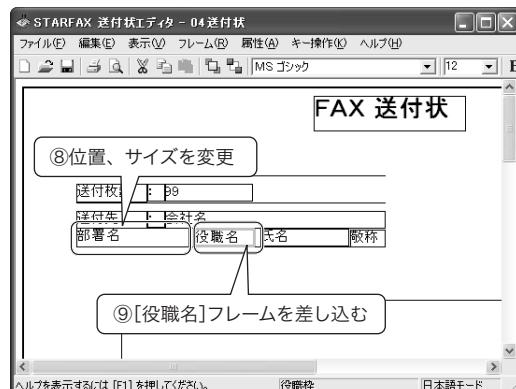
02 「送り先情報」を差し込む枠をつくる

⑤ [フレーム] – [相手先情報の差し込み枠] – [所属名]をクリックします。
[部署名]と表示されたフレームが送付状に表示されます。



⑥ [部署名]フレームをクリックします。

⑦ フォント名を[MSゴシック]、サイズを[12]に変更します。



⑧ [部署名]フレームの位置とサイズを変更します。

⑨ ⑤から⑧とほぼ同様の操作で、[役職名]フレームを差し込みます。



思ったフレームが選べないときは
送付状のエディタの何もない場所(背景の黒い部分)をクリックしてから、フレームをクリックし直します。



03 「一言メモ」を差し込む枠をつくる

例の「04送付状」には、メモ欄がありますが、メモ欄を差し込むには以下のように操作します。

⑩ [フレーム] – [メモ枠]をクリックします。



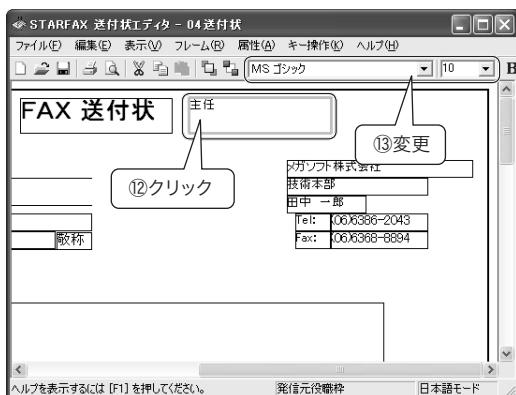
04 「差出人情報」を差し込む枠をつくる

⑪ [フレーム] – [差出人情報の差し込み枠] – [役職名]をクリックします。

差出人情報に登録されている役職名(例では主任)と表示されたフレームが送付状に表示されます。

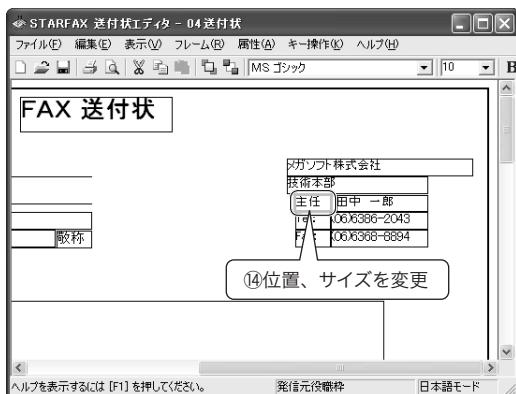


差出人情報の表示は
差出人情報で設定した値が、内容として表示
されます。

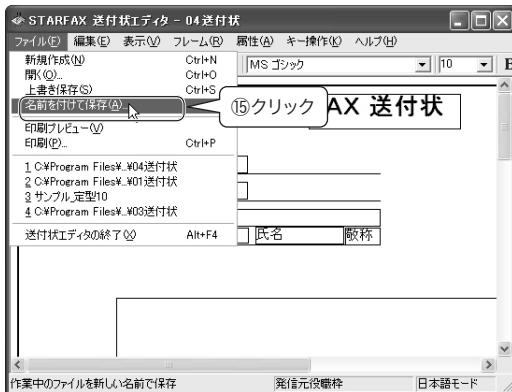


⑫ [役職名]フレーム(例では主任)をクリックします。

⑬ フォント名を[MSゴシック]、サイズを[10]に
変更します。

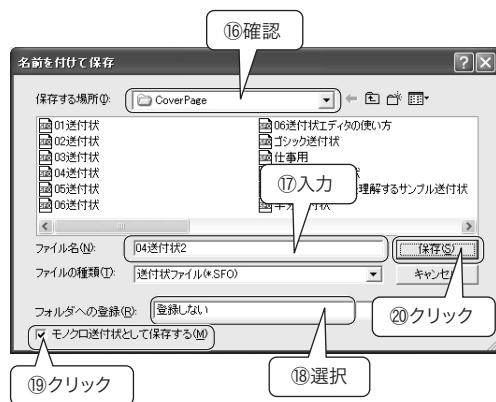


⑭ [役職名]フレームの位置とサイズを変更します。



05 送付状に名前をつけて保存する

⑯ [ファイル] - [名前をつけて保存] をクリックします。



⑯ 保存する場所が [CoverPage] になっていることを確認します。

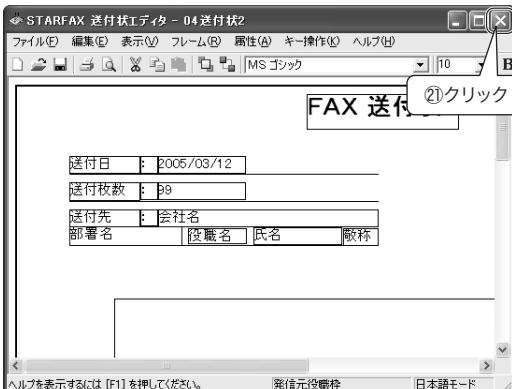
⑰ ファイル名を入力します(例では04送付状2)。

⑱ [フォルダへの登録] を選びます(例では登録しない)。

⑲ [モノクロ送付状として保存する] にチェックを入れます。

⑳ [保存] をクリックします。

新しい送付状が作成されます。



㉑ [X] をクリックして 送付状エディタを閉じます。

作成した送付状を使うには
「送付状を選ぶ」→37ページ

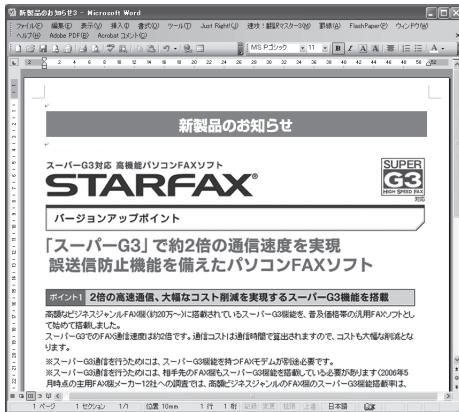
送付状エディタのその他の機能は
[STARFAX 14(または、14Lite)] - [マニュアル& Webページ] - [ヘルプ]

ワードの書類を変更してワード送付状にする

SF14 ONLY

Microsoft Wordで作成した書類を変更して、オリジナルの「ワード送付状」を作成します。

①ワードの書類を開く



Microsoft Wordで作成した書類に、STARFAXの「差し込み文字」を入力しておくと、電話帳や短縮パネルの送り先を差し込んだFAXが送れます。



差出人情報を登録しておきましょう

差出人情報を登録しておくと、送付状がわかりやすくなります。

「差出人情報を登録・編集する」→38ページ

01 Microsoft Wordで作成した書類を開く

①ワードで作成した書類を開きます。



02 「送り先情報」の差し込み文字を入力する

②「##」で前後を囲んだ差し込み文字を、ワードの書類に入力します。

ワードの書類に「##会社名##」と入力しておくと、電話帳や短縮パネルに登録された会社名に置き換わります。



電話帳・短縮パネルの差し込み文字

FAX番号	##FAX番号##
会社名	##会社名##
所属名	##所属名##
役職名	##役職名##
氏名	##氏名##
敬称	##敬称##
電話番号	##電話番号##
郵便番号	##〒##
住所1	##住所1##
住所2	##住所2##

※差し込み文字は半角でも全角でも使えます。

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる



03 「差出人情報」の差し込み文字を入力する

③「##」で前後を囲んだ差込文字を、ワードの書類に入力します。

ワードの書類に「##差出人会社名##」と入力しておくと、差出人情報に登録された会社名に置き換わります。

	差出人情報の差し込み文字
	差出人FAX番号 ##差出人FAX番号##
	差出人会社名 ##差出人会社名##
	差出人所属名 ##差出人所属名##
	差出人役職名 ##差出人役職名##
	差出人氏名 ##差出人氏名##
	差出人電話番号 ##差出人電話番号##
	差出人郵便番号 ##差出人〒##
	差出人住所 ##差出人住所##
※差し込み文字は半角でも全角でも使えます。	



04 その他の差し込み文字を入力する

④送付状選択画面で入力する「一言メモ」を差し込むときは「##メモ##」と入力します。

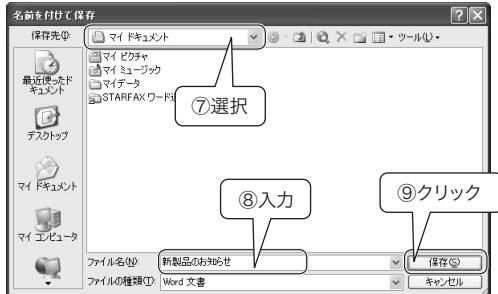
⑤送信原稿の総ページ数を差し込むときは、「##ページ##」と入力します。

	その他の差し込み文字
	一言メモ ##メモ##
	総ページ数 ##ページ##
	送信年月日 ##送信年月日##
	送信時刻 ##送信時刻##
※差し込み文字は半角でも全角でも使えます。	

注意 差し込み文字が使えない場所
 「テキストボックス」「縦書きテキストボックス」「Microsoft Excelワークシート」の中は差し込めません。
 ワード自身の置換機能が使えない場所へは差し込めません。

05 Microsoft Wordで作成した書類を保存する

⑥ [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックします。



⑦ [保存先] をクリックして、[マイドキュメント] にします(例ではマイドキュメント)。

⑧ ファイル名を決めます。

⑨ [保存] をクリックします。

⑩ ワードの書類を閉じます。

参考 作成したワード送付状を使うには
「ワード送付状を選ぶ」→42ページ

メモ ワード送付状の詳細は(14Liteは非対応)
[STARFAX 14] - [マニュアル&Webページ] -
[ヘルプ]

オリジナルの送付状やワード送付状をつくる

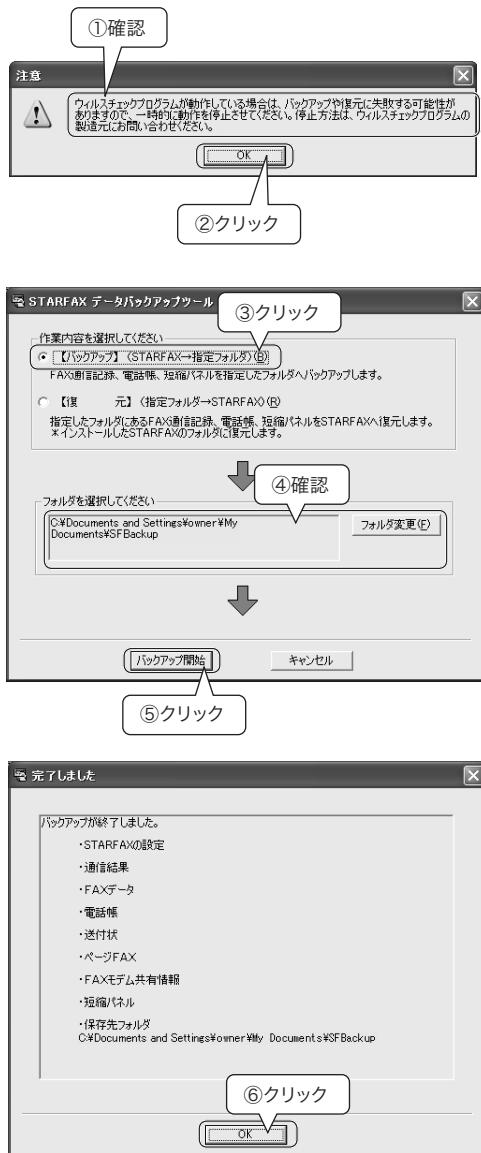
オリジナルの送付状やワード送付状をつくる

データやプログラムの管理

データをバックアップする	98
データを復元する・他のパソコンへデータを移す	99
オンラインアップデートについて	100
STARFAXをアンインストール(削除)する	101

データをバックアップする

「データバックアップツール」で、STARFAXのデータをバックアップします。電話帳や通信結果などのデータをバックアップしておくと、パソコンにトラブルがあったときも復元できます。



01 データバックアップツールを開く

- ①Windowsのスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX 14(または、14Lite)] – [その他の機能] – [データバックアップツール (STARFAXデータのバックアップと復元)] をクリックします。
注意が表示されます。
- ② [OK] をクリックします。
- ③ [[バックアップ] <STARFAX→指定フォルダ>] をクリックします。
- ④ バックアップ先のフォルダを確認します。
- ⑤ バックアップ開始 をクリックします。
バックアップを始めます。
- ⑥ [OK] をクリックします。

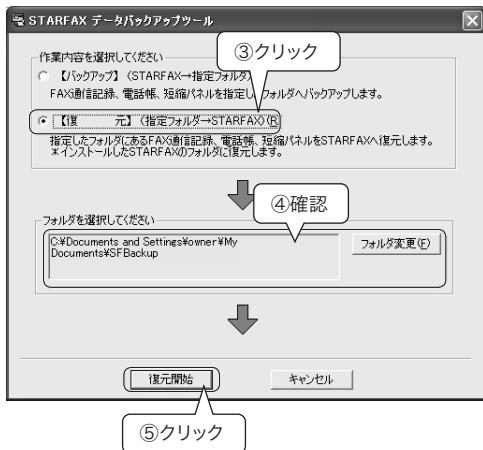
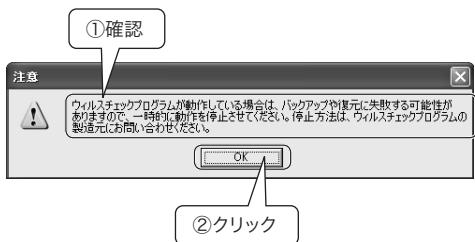
 バックアップされるデータの内容は STARFAXの設定、通信結果、FAXデータ、電話帳、送付状、ページFAX、グループFAX情報 (14Liteにはありません)、短縮パネル

 データの復元・他のパソコンへデータを移すには「データを復元する・他のパソコンへデータを移す」→99ページ

 データをCD-Rにバックアップする
バックアップしたフォルダをCD-Rにコピーしておくと、トラブルでパソコンをリカバリーしたときも、CD-Rからデータを復元できます。
CD-Rへコピーする方法は、CD-Rソフトのメーカーか、パソコンメーカーにご確認ください。

データを復元する・他のパソコンへデータを移す

「データバックアップツール」でバックアップしておいたデータから、以前の状態を復元します。トラブルなどでSTARFAXをアンインストール(削除)したときや、他のパソコンにSTARFAXのデータを移したいときに使用します。



01 データバックアップツールを開く

①Windowsのスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX 14(または、14Lite)] – [その他の機能] – [データバックアップツール (STARFAXデータのバックアップと復元)] をクリックします。

注意が表示されます。

②OKをクリックします。

③【復元】(指定フォルダ→STARFAX)をクリックします。

④復元もとのフォルダを確認します。

メモ CD-Rや別のフォルダから復元するには
「フォルダ変更(E)」をクリックしてフォルダを選びます。
CD-Rのバックアップデータを復元するときは、
CD-RドライブにCDを入れてフォルダを指定して
ください。

⑤復元開始をクリックします。

復元を始めます。

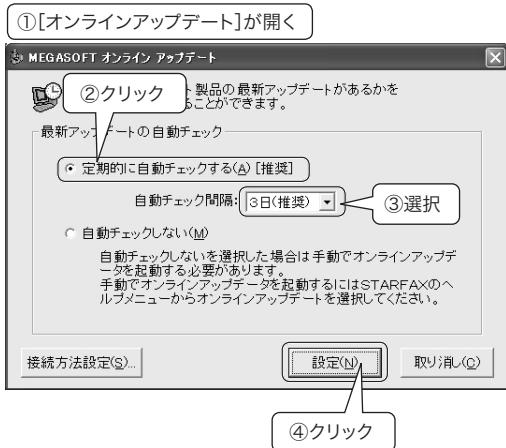
⑥OKをクリックします。

メモ 復元されるデータの内容は
STARFAXの設定、通信結果、FAXデータ、
電話帳、送付状、ページFAX、グループFAX情報、
短縮パネル

参照 データをバックアップするには
「データをバックアップする」→98ページ

オンラインアップデートについて

「オンラインアップデート」は、STARFAXを最新の状態へ更新するプログラムです。最新の状態に更新すると、より安定したSTARFAXがご利用いただけます。プログラムの更新確認は、3日ごとに自動的に行われます。初期設定がおすすめですが、更新間隔は次の方法で変更することができます。



オンラインアップデートの動作条件

オンラインアップデート機能はインターネットに繋がるパソコン環境でのみ使用できます。

01 自動更新の間隔を決める

①Windowsのスタートから[すべてのプログラム]→[STARFAX 14(または、14Lite)]→[その他の機能]→[オンラインアップデート(自動更新の間隔設定)]をクリックします。

②[定期的に自動チェックする]をクリックします。

③自動チェックの間隔を選びます。

④[設定]をクリックします。



接続方法を変えるには

接続方法設定(S)...をクリックするとインターネットへの接続方法を変えることができます。



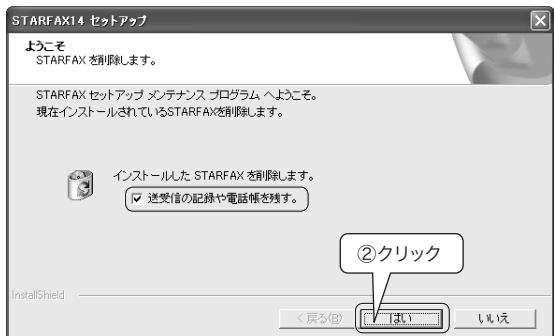
ユーザー権限について

オンラインアップデートは、Administrators権限を持つユーザーでログインしているときだけ使用できます。

STARFAXをアンインストール(削除)する

STARFAXをインストールし直したいときや、別のパソコンで使いたいときは、パソコンからSTARFAXをアンインストール(削除)します。

アンインストールは、現在のデータや設定を残したままプログラムだけを削除するのか、すべてを削除するのかを選ぶことができます。



01 STARFAXを削除する

- Windowsのスタートから [すべてのプログラム] – [STARFAX 14(または、14Lite)] – [その他の機能] – [STARFAXのアンインストール]をクリックします。

メモ データや設定を残すときは
[送受信の記録や電話帳を残す。]にチェックを入れます。

- ② [はい]をクリックします。
アンインストール(削除)が始まります。
- 以後、セットアップウィザードの指示にそって
アンインストールを行います。

注意 ロックされたファイルの検出が表示されたら
[次回からこのメッセージを表示しない]にチェックを入れ
[無視]をクリックします。

注意 「共有ファイルの検出」が表示されたら
[次回からこのメッセージを表示しない]にチェックを入れ、[はい]をクリックします。

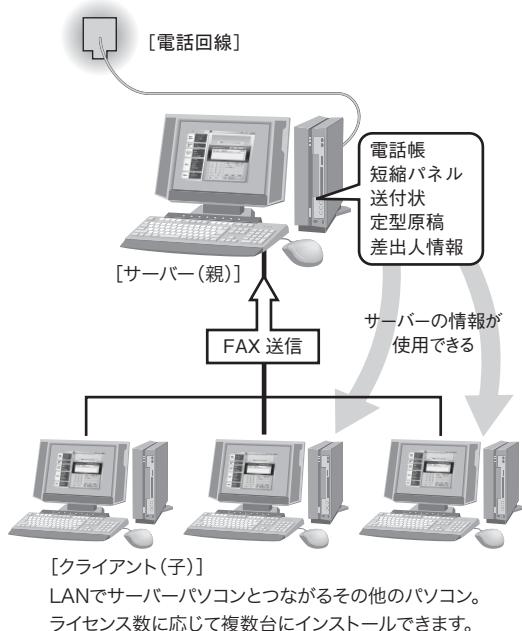
グループFAX機能を使う

SF14 ONLY

グループFAX機能とは	104
セットアップする	105
サーバー(親)をセットアップする	105
クライアント(子)をセットアップする	106
クライアント(子)とOCXをセットアップする	107
STARFAX 14サーバーにクライアントを追加する方法	108
STARFAX 14サーバーにSTARFAX 14 またはSTARFAX13クライアント(子機)を追加する	108
使用方法について	109
クライアントの使用方法(4つの設定について)	109
クライアントの使用方法(自由設定について)	110
クライアント(子)別に使用方法を設定する	111
接続方法について	112
クライアントとの接続方法(2つの接続方法について)	112
「ユーザー名・パスワードによるログインでの接続」について	113
クライアント(子)のデータを移動する	114
運用について	115
クライアント(子)の送信FAXを確認する	115
クライアント(子)送信待ちFAXを取り消す	116
グループFAX機能を停止・再開する	117
接続できるクライアント(子)台数の確認方法	118

グループFAX機能とは

グループFAX機能は、LAN内の複数台のパソコンでSTARFAXを使用する機能です。サーバーパソコン(親)に繋いだFAXモデムと電話回線を、LAN内のクライアントパソコン(子)で利用する機能で、次のような特徴を持っています。



■どなたでも使用できる簡単設定で、インストールするだけで、自動的にサーバーを探し出して自動接続してくれます。

■誤送信対策として、クライアントパソコン(子)の電話帳、短縮パネルを編集できなくしたり、ダイヤル入力を禁止したりできます。

■管理の手間を削減するため、FAXの送受信情報をすべてサーバーで保存しています。クライアントパソコンを変更した場合や、トラブルが発生した場合も、今までのFAX環境を簡単に復元できます。

- ・サーバーパソコン(親)の電話帳、短縮パネル、送付状、定型原稿、差出人情報を共有してクライアントパソコン(子)から利用できます。
- ・パソコンごとにFAXモデムや電話回線を接続する必要がありません。
- ・通信方法はSTARFAX同士のUDP通信なので、セキュリティホールになりやすいWindowsの共有フォルダを使用しません。
- ・1製品で1台のサーバー(親)と、1台のクライアント(子)が使用でき、別途追加ライセンスを購入すれば、2台以上のクライアント(子)が使用できます。



ライセンスを購入するには
「ライセンスについて」→146ページ

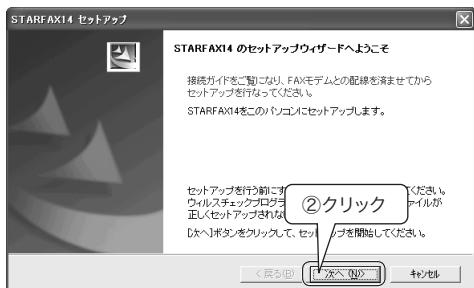


セットアップタイプについて
「通常セットアップ」と「グループFAXサーバー(親)」の切り替えは、[ステーション]の[設定]から変更できますが、「グループFAXクライアント(子)」への変更はできません。現在のSTARFAXをアンインストールしたあと、使用するタイプを選らんでインストールしなおしてください。

セットアップする

グループFAX機能を使うときは、はじめにサーバー(親)をセットアップし、次にクライアント(子)をセットアップします。

サーバー(親)をセットアップする



サーバーはインストールして、パソコンを再起動させると、「標準」設定、「自動接続」で利用できる状態になります。

01 サーバー(親)としてセットアップする

①アプリケーションのセットアップの「サーバー(親)としてセットアップする」をクリックします。

②「次へ(N)」をクリックします。
セットアップウィザードの指示にそってセットアップを進めます。



ライセンスキーが必要です

ライセンスキーはセットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。



ライセンスキーは英字の「O(オー)」と「I(アイ)」は使われていません。数字の「0(ゼロ)」と「1(イチ)」を使用します。



追加ライセンスがあるときは

「ライセンスキー」画面の「追加ライセンスキーを入力」をクリックしてライセンスキーを追加します。

③パソコンの再起動が終了したら、セットアップは完了です。

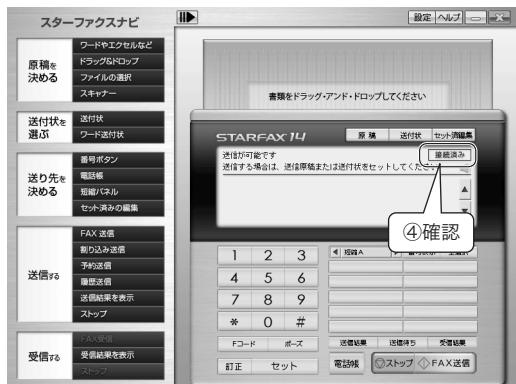
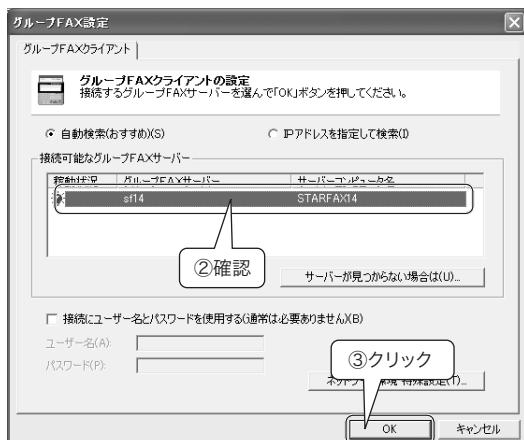


ライセンスを購入するには
「ライセンスについて」→146ページ



MEGASOFTライセンス認証について
「ライセンス認証(アクティベーション)について」
→147ページ

クライアント(子)をセットアップする



グループFAX機能を使う

クライアントはインストールして、再起動するだけで、「自動接続」で利用できる状態になります。

01 クライアントとしてセットアップする

① [クライアント(子)をセットアップ]をクリックします。

セットアップウィザードの指示にそってセットアップを進めます。

② 再起動後 [ステーション] を起動すると [グループFAX設定] が開きます。

[接続可能なグループFAXサーバー] が表示されていることを確認します。

③ [OK] をクリックしたらセットアップは完了です。

④ [接続済み] になっていることを確認します。

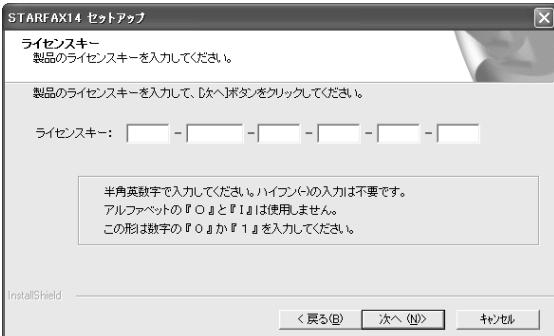


ライセンスオーバーでサーバーに接続できない
サーバーマネージャで接続できるライセンス数やクライアントの状態を確認できます。
「接続できるクライアント(子)台数の確認方法」
→118ページ



セットアップタイプについて
「通常セットアップ」と「グループFAXサーバー(親)」の切り替えは、[ステーション]の[設定]から変更できますが、「グループFAXクライアント(子)」への変更はできません。現在のSTARFAXをアンインストールしたあと、使用するタイプを選んでインストールしなおしてください。

クライアント(子)とOCXをセットアップする



クライアントはインストールして、再起動するだけで、「自動接続」で利用できる状態になります。

01 クライアントとOCXをセットアップする

① [クライアントとOCXをセットアップする] をクリックします。

セットアップウィザードの指示にそってセットアップを進めます。

注意 ライセンスキーが必要です
ライセンスキーはセットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。

参照 ライセンスオーバーでサーバーに接続できない
サーバーマネージャで接続できるライセンス数やクライアントの状態を確認できます。
「接続できるクライアント(子)台数の確認方法」
→118ページ

注意 セットアップタイプについて
「通常セットアップ」と「グループFAXサーバー(親)」の切り替えは、[ステーション]の[設定]から変更できますが、「グループFAXクライアント(子)」への変更はできません。現在のSTARFAXをアンインストールしたあと、使用するタイプを選んでインストールなおしてください。

STARFAX 14サーバーにクライアントを追加する方法

お使いのSTARFAX 14サーバー(親機)に接続するクライアントを追加する方法です。
STARFAX13、STARFAX 14のクライアントが追加できます。

STARFAX 14サーバーにSTARFAX 14 またはSTARFAX13クライアント(子機)を追加する

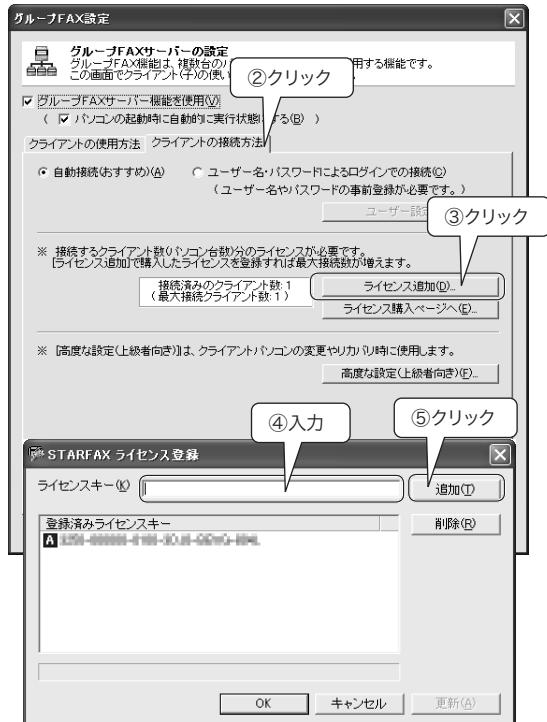


01 グループFAX設定を開く

①サーバーの[ステーション]の[設定]をクリックして表示されるメニューから[グループFAXサーバー]をクリックします。
[グループFAX設定]が表示されます。

02 クライアントライセンスを追加する

②[クライアントの接続方法]をクリックします。
③[ライセンス追加]をクリックします。
[STARFAXライセンス登録]が表示されます。
④[ライセンスキー]欄にSTARFAX 14または、STARFAX13のライセンスを入力します。
⑤[追加]ボタンをクリックします。
[登録済みライセンスキー]に④で入力したライセンスキーが表示されます。
[OK]をクリックします。



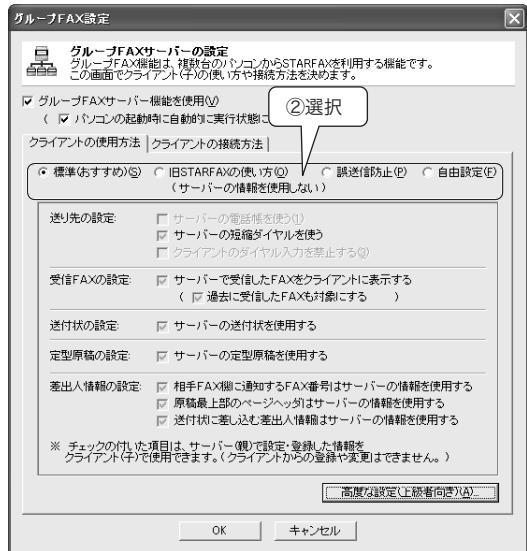
03 ライセンス数を確認する

⑥[グループFAX設定]の[最大接続クライアント数]をご確認ください。⑤で追加したライセンス数が反映されます。

使用方法について

グループFAX機能は、「標準」の設定で利用できるようになっていますが、使用方法を変更して誤送信防止対策を強化したり、クライアント(子)の設定を不要にすることもできます。

クライアントの使用方法(4つの設定について)



01 グループFAX設定を開く

①サーバーの「ステーション」の「設定」をクリックして表示されるメニューから「グループFAXサーバー」をクリックします。
[グループFAX設定]が表示されます。

02 クライアントの使用方法を選択する

②[クライアントの使用方法]タブから設定をクリックします。

以下の4つの設定から選択します。

・標準(おすすめ) おすすめの使い方です。

電話帳…クライアント個別に登録できます。

短縮ダイヤル…サーバーで登録した短縮ダイヤルをクライアントで使用します。クライアントから変更はできません。ダイヤル入力…クライアントがダイヤルボタンを使用できます。

受信FAX…クライアントで受信FAXを閲覧できます。

送付状…サーバーにある送付状をクライアントで使用します。クライアントから変更はできません。

定型原稿…サーバーにある定型原稿をクライアントで使用します。クライアントから変更はできません。

差出人情報の設定…サーバーで登録した差出人情報をクライアントで使用します。クライアントから変更はできません。

・旧STARFAXの使い方

電話帳や短縮ダイヤルをサーバーで管理させない使い方です。受信FAXはサーバーでのみ閲覧できます。

・誤送信防止

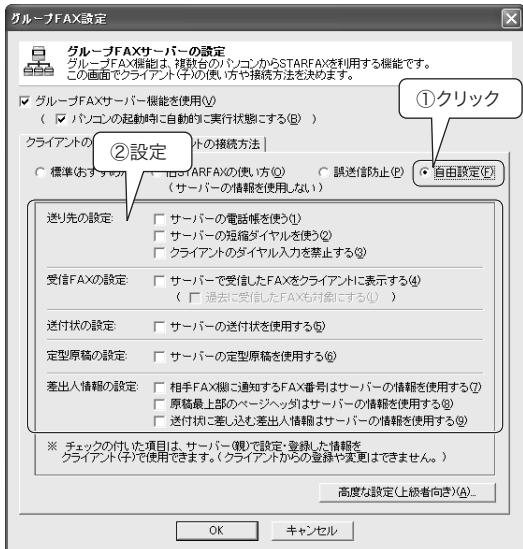
誤送信に特に注意が必要な企業(金融業や保険業)向けの設定です。

電話帳や短縮パネルはサーバーで登録したものだけを使用できます。ダイヤル入力も行えません。

・自由設定

設定値を自由に変更できます。

クライアントの使用方法(自由設定について)



01 自由設定を使う

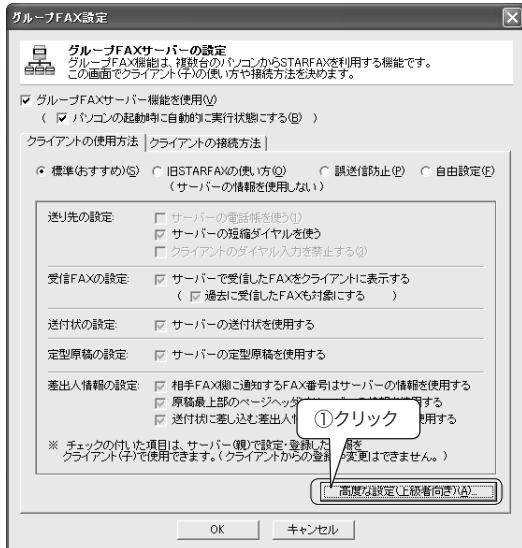
①[自由設定]をクリックします。

②項目を個別に設定します。チェックを入れた項目は、サーバーで設定・登録した情報をクライアントから使用できるようになります。

メモ クライアントのダイヤル入力を禁止する
[クライアントのダイヤル入力を禁止する]にチェックを入れるとクライアントで番号ボタンが使用できなくなります。誤送信を防止するときに使用してください。

メモ クライアントからサーバーの情報を登録・変更することはできません。

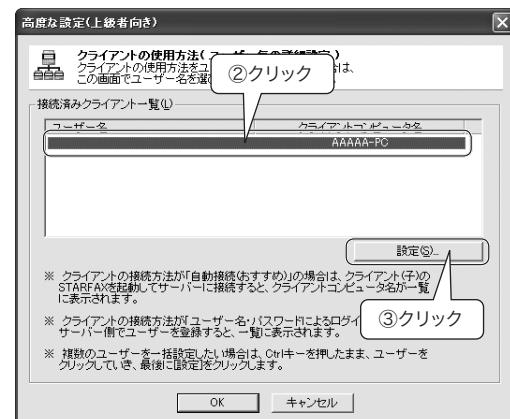
クライアント(子)別に使用方法を設定する



全体の設定とは別に、ユーザーごとに使用方法を設定することができます。

01 クライアント別に使用方法を設定する

① **高度な設定(上級者向き)(A)...** をクリックします。

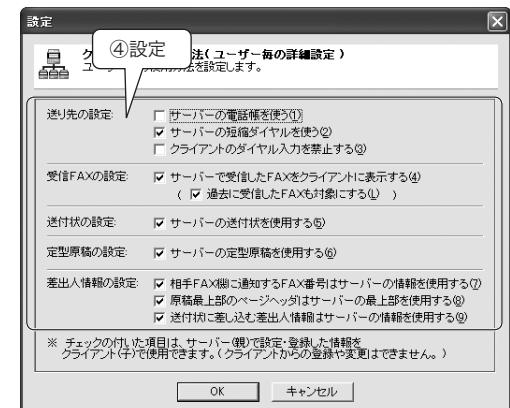


②「接続済みクライアント一覧」から設定するクライアントをクリックします。



クライアントが表示されないときは
設定するクライアントを一度サーバーに接続してから再度設定を行ってください。
サーバーに接続したことのないクライアントは表示されません。

③ **設定(S)...** をクリックします。



④項目を個別に設定します。チェックを入れた項目は、サーバーで設定・登録した情報をクライアントから使用できるようになります。

接続方法について

グループFAX機能は、インストール後にサーバーとクライアントが自動接続され、利用できるようになる「自動接続」が初期設定ですが、接続できるユーザーを制限してセキュリティを高めることもできます。

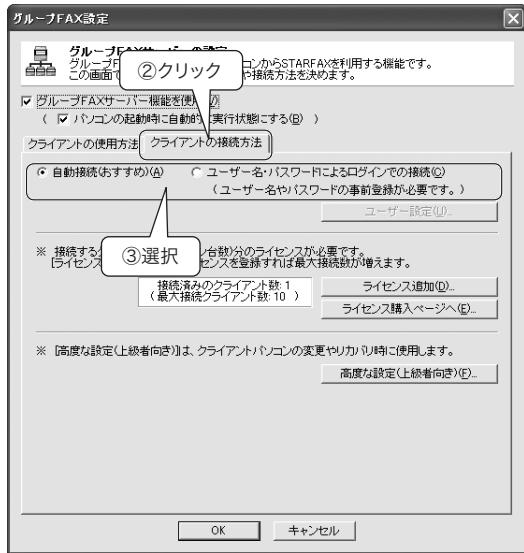
クライアントとの接続方法(2つの接続方法について)



01 グループFAX設定を開く

①サーバーの【ステーション】の【設定】をクリックして表示されるメニューから【グループFAXサーバー】をクリックします。

【グループFAX設定】が表示されます。



02 クライアントの使用方法を選択する

②[クライアントの接続方法]をクリックします。

③接続方法をクリックします。

以下の2つの設定から選択します。

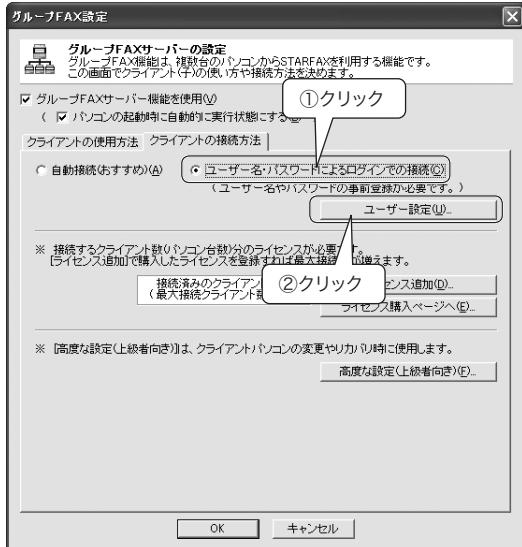
- ・自動接続(おすすめ)

設定が不要で簡単に接続できる設定です。

- ・ユーザー名・パスワードによるログインでの接続

セキュリティを高める接続方法で、クライアント側にユーザー名とパスワードの設定が必要となります。

「ユーザー名・パスワードによるログインでの接続」について

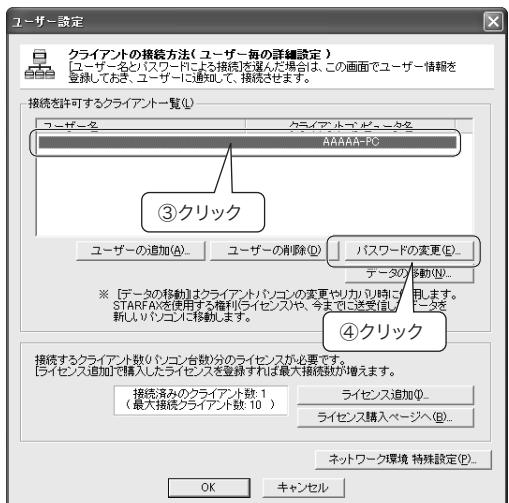


クライアントの接続時にユーザー名とパスワードで認証することでセキュリティを高めることができます。

01 ユーザー名・パスワードを設定する

① [クライアントの接続方法]画面で[ユーザー名・パスワードによるログインでの接続]をクリックします。

② ユーザー設定(U)... をクリックします。



③ 設定するクライアントをクリックします。

④ パスワードの変更(E)... をクリックします。

ユーザーを追加する
[ユーザーの追加(A)...] をクリックするとユーザーを追加できます。

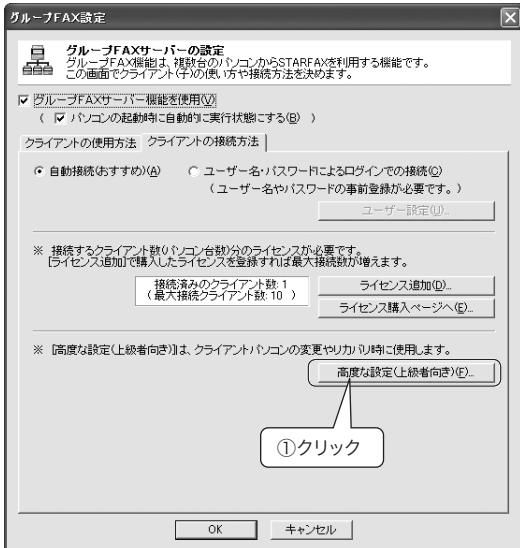
ユーザーを削除する
削除するユーザーを選択し [ユーザーの削除(D)] をクリックします。



⑤ ユーザー名・パスワードを入力します。

⑥ OK をクリックします。

クライアント(子)のデータを移動する

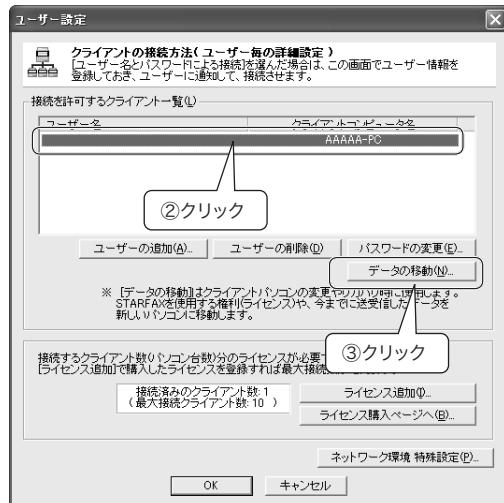


クライアントパソコンの置き換えなどのときに、クライアントのFAX送受信データと記録を移動させます。

01 クライアントのデータを移動する

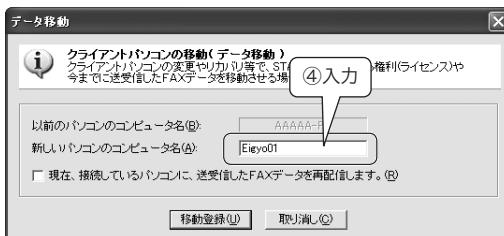
①[クライアントの接続方法]画面で

「高度な設定(上級者向き)(E)」をクリックします。



②データの移動を行うクライアントをクリックします。

③「データの移動(N)...」をクリックします。

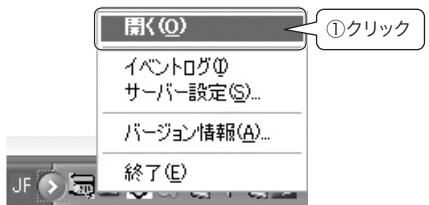


④新しいコンピュータ名を入力します。

運用について

サーバーマネージャを使用すれば、サーバー(親)からクライアント(子)の送信結果を確認したり、送信待ちのFAXを取り消したりできます。

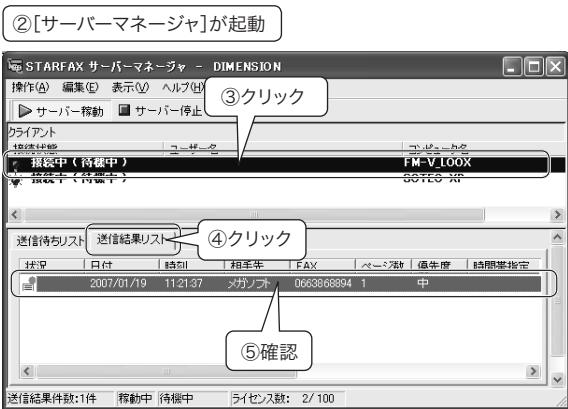
クライアント(子)の送信FAXを確認する



クライアントから送信された原稿を確認します。

01 サーバーマネージャを起動する

- ①[タスクトレイ]の  を右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- ②[STARFAX サーバーマネージャ]が起動します。



02 クライアントの送信結果リストを確認する

- ③確認するクライアントをクリックします。
- ④[送信結果リスト]をクリックします。
- ⑤結果を確認します。



03 送信原稿を確認する

- ⑥[送信結果リスト]から確認する送信原稿リストを右クリックして表示されるメニューから[FAX原稿の表示]をクリックします。

 送信結果を削除するときは右クリックして表示されるメニューから[削除]をクリックすると、送信結果を削除できます。



- ⑦原稿を確認します。

クライアント(子)送信待ちFAXを取り消す



クライアントから送信された送信待ちFAXを取り消します。

01 サーバーマネージャを起動する

- ①[タスクトレイ]のを右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- ②[STARFAX サーバーマネージャ]が起動します。
- ③[STARFAX サーバーマネージャ]が起動します。

02 クライアントの送信待ちリストを確認する

- ③確認するクライアントをクリックします。
- ④[送信待ちリスト]をクリックします。
- ⑤確認します。



03 送信待ちFAXを取り消す

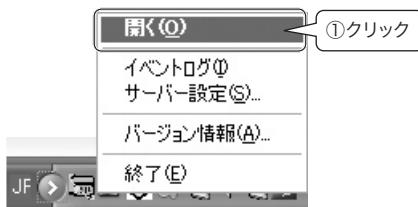
- ⑥[送信待ちリスト]から取り消す送信待ちリストを右クリックして表示されるメニューから[削除]をクリックします。
- ⑦[OK]をクリックします。



注 送信中のFAXについて
すでに送信が開始されているFAXは、サーバーマネージャで取り消すことはできません。
サーバーの[ステーション]で[ストップ]をクリックします。

グループFAX機能を停止・再開する

クライアントからの送信をすべて停止して、サーバーから送信したい場合や、メンテナンスなどで使用します。



②[サーバーマネージャ]が起動



01 サーバーマネージャを起動する

- ①[タスクトレイ]の  を右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- ②[STARFAX サーバーマネージャ]が起動します。

02 サーバーマネージャを停止する

- ③  サーバー停止 をクリックします。
- ④サーバーマネージャの状態が[稼働中]から[停止中]に変わったことを確認します。

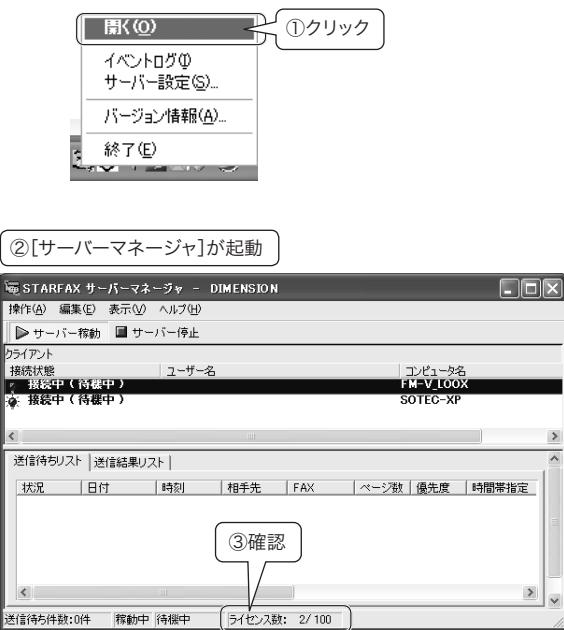
 サーバーマネージャの停止中にクライアントから送信された原稿は、[送信待ち]リストに登録されます。



03 サーバーマネージャを再開する

- ⑤  サーバー稼動 をクリックします。
- ⑥サーバーマネージャの状態が[停止中]から[稼働中]に変わったことを確認します。

接続できるクライアント(子)台数の確認方法



接続できるクライアントの台数を確認します。

01 サーバーマネージャを起動する

①[タスクトレイ]の を右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックします。

②[STARFAX サーバーマネージャ]が起動します。

02 ライセンス数を確認する

③ライセンス数を確認します。

ライセンス数: [接続中のクライアントの台数] / [接続できるクライアントの台数]



03 イベントログを表示する

ライセンス数が足りないため、ライセンスオーバーのエラーが起きた場合、イベントログに記録されます。

[操作] - [イベントログ] をクリックすると表示されます。

ライセンスを購入するには
 「ライセンスについて」→146ページ

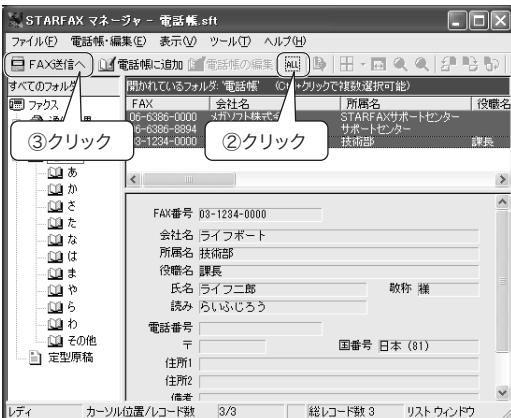
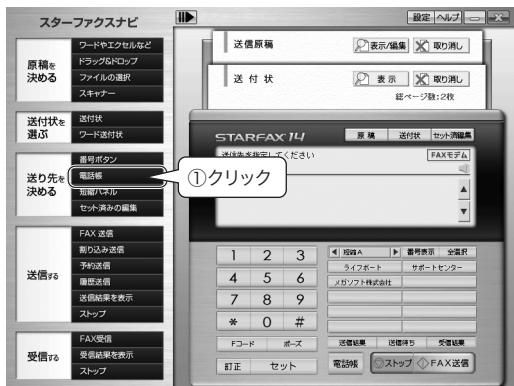
もっと使いこなす

同報送信について	120
同報送信(1つの原稿を複数の相手先に送信)を行う	120
同報送信を一時停止・再開する	121
QRコード付きのFAX原稿を送る	122
相手に応じて差出人情報を使い分ける	125
ページヘッダを使う	126
話しの中で送信できなかつた相手に再度送る(再送信)	128
ページFAXを使う	129
定型原稿に登録する	130
複数の電話帳を使いわける	132
電話帳登録せずに送付状に送り先の情報を差し込む	134
FAX情報サービスを使う	135
インターネットFAXとは?	137

同報送信について

パソコンFAXソフトでは、1つの原稿を複数の送り先に送信する同報送信が簡単にできます。

同報送信(1つの原稿を複数の相手先に送信)を行う



もっと使いこなす



01 電話帳を開く

[ステーション]を起動し、必要に応じて送信原稿や送付状をセットしておきます。

- ① 電話帳をクリックします。
[電話帳]が開きます。

02 複数の相手先をセットする

- ② ALLをクリックします。
[電話帳]の開かれているフォルダに表示されている相手先がすべて選択されます。

複数の相手先を選択するその他の方法
[Ctrl]キーを押しながらリストをクリックすると複数の相手先を[Shift]キーを押しながらリストをクリックすると連続した複数の相手先を選択できます。

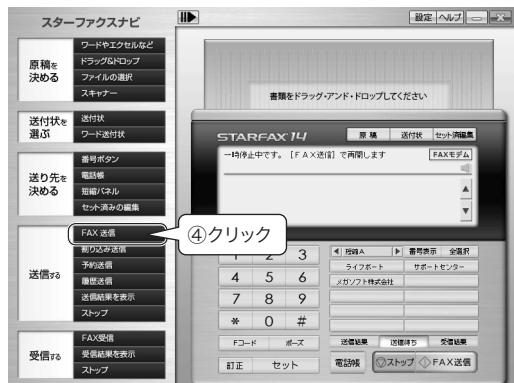
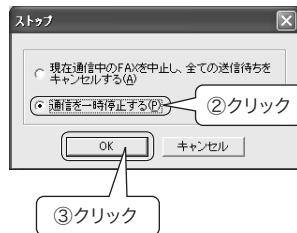
- ③ FAX送信へをクリックします。

03 FAX送信する

- ④ FAX送信をクリックします。

電話帳以外から相手先を追加する
番号ボタンや短縮ダイヤルから相手先を追加することもできます。

同報送信を一時停止・再開する



同報送信(複数の送り先へのFAX送信)を一時停止することができます。

一時停止すると、STARFAXが使用していた電話回線を使えるようになります。

01 送信を一時停止する

①FAXの送信中に **STOP** をクリックします。
[STOP] が開きます。

 中止を受け付けないときは、送信状況によっては、中止を受け付けないことがあります。そのときは、 **STOP** を何度かクリックしてみてください。

②[通信を一時停止する]をクリックします。
③ **OK** をクリックします。

02 送信を再開する

④ **FAX送信** をクリックします。

 一時停止した送信を中止するには **FAX送信** をクリックしたあと、
STOP をクリックします。
「現在通信中のFAXを中止し、全ての送信待ちをキャンセルする」を選んで **OK** をクリックします。

 同報送信中に別のFAXを送信する
同報送信中でも優先して送信したいFAXを割り込み送信することができます。
「割り込み送信する」→52ページ

もっと使いこなす

QRコード付きのFAX原稿を送る

QRはんこをつくり、FAX原稿に押して送信することができます。



QRコードとは

QRコードは日本で最も普及している2次元コードで、文章、氏名、電話番号、メールアドレスなどの情報やホームページのアドレス、フリーの文章などを埋め込みます。

埋め込まれたQRコードは、携帯電話などに搭載されているQRコード読み取り機能で読み取れます。

01 送信するFAX原稿を【ステーション】に登録する

①【ステーション】にFAX原稿を登録します。

 **参考** FAX原稿の登録方法は
「送る原稿を決める」→22ページ



02 FAX原稿を【ビューア】で開く

②  **表示/編集** をクリックします。

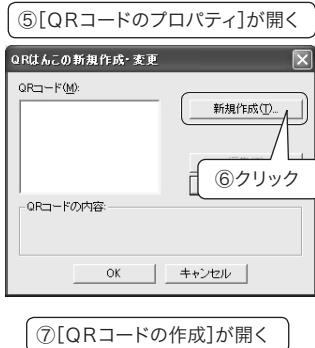
③ [ビューア]が開きます。

もっと使いこなす



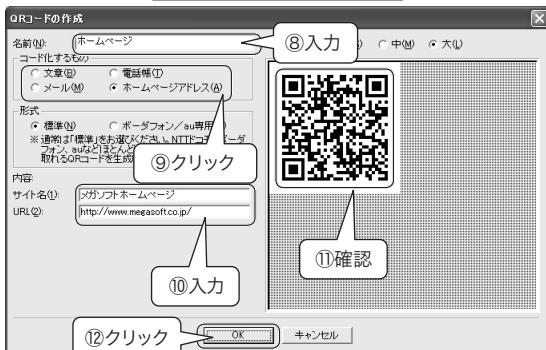
03 QRはんこを作る

④ QRをクリックして表示されるメニューから[QRはんこの新規作成・変更]をクリックします。



⑤[QRコードの新規作成・変更]が開きます。

⑥ 新規作成(1)... をクリックします。



⑦[QRコードの作成]が開きます。

⑧作成するQRコードの名前を入力します。

⑨コードにするものを選びます(例ではホームページアドレスを選んでいます)。

⑩[サイト名] [URL]といった内容を入れます。

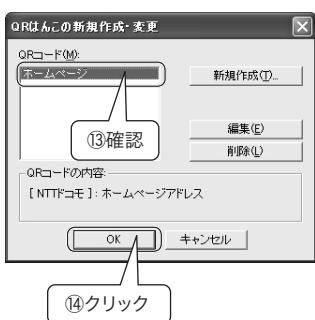
 [内容]は
[コード化するもの]の選択で入力項目が変わ
ります。

⑪作成されたQRコードが表示されます。

⑫ OK をクリックします。

⑬ [QRはんこの新規作成・変更]に作成したQRコードが表示されます。

⑭ OK をクリックします。



もっと使いこなす



04 QRはんこを押す

⑯ [ビューア] に表示されているFAX原稿の上のQRコードを表示したいところでクリックします。

※ 貼り付けたQRはんこを編集するには
貼り付けたはんこをダブルクリックします。

注! 意 [FAX送信へ]をクリックすると
[FAX送信へ]をクリックすると、画像になってしまふので、QRはんこが編集できなくなります。

⑯ **FAX送信へ** をクリックします。

05 FAX送信を開始する

必要に応じて送付状を選び、送り先を決めて送信を始めます。

参考 送付状を選ぶには
「送付状を選ぶ」→22ページ

送り先を決めるには
「FAXの送り先を決める」→23ページ

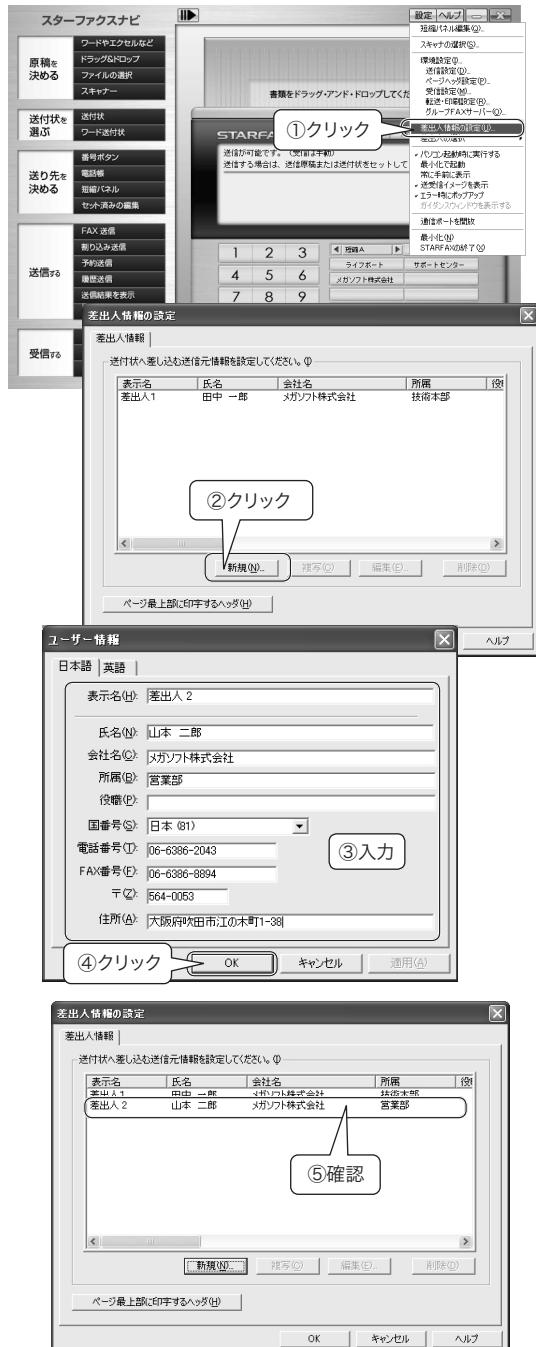
送信を始めるには
「送信を開始する」→23ページ

注! 意 読み取り携帯について
QRコードが読み取れない携帯電話もあります。
詳細は携帯電話のメーカーにご確認ください。

注! 意 送り先FAX機の品質について
送り先のFAX機の受信機能がノーマルしか受け取れないときや、印刷品質が低いときは、読み取れない可能性があります。

相手に応じて差出人情報を使い分ける

送付状に差し込む差出人情報を複数登録しておくと、送信相手に応じて使い分けることができます。



メモ 差出人情報の切り替え方は [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [差出人の選択] で選びます。

01 差出人情報を登録する

① [ステーション] の [設定] をクリックして表示されるメニューから [差出人情報の設定] をクリックします。

② **新規(N)...** をクリックします。

③ [ユーザー情報] に差出人情報を入力します。

④ **OK** をクリックして登録します。

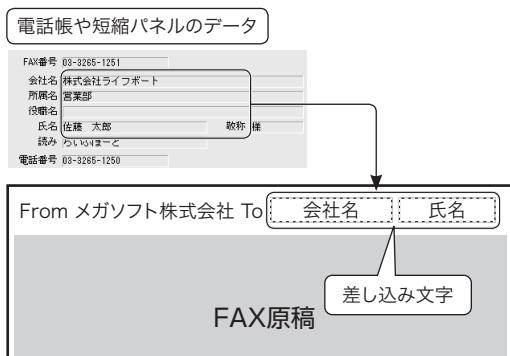
⑤ 登録した差出人情報が表示されます。

もっと使いこなす

参照 送付状への反映は
図書 「STARFAXの送付状とは?」→37ページ

ページヘッダを使う

ページヘッダとは、送信FAXの最上部に差し込む文字のことです。差出人の情報を設定しておくことが多いのですが、電話帳や短縮パネルの送り先情報を差し込むこともできます。

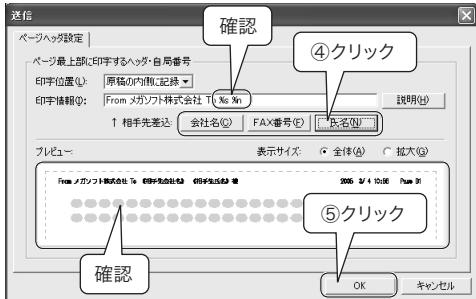


01 ページヘッダに「差出人情報」を設定する

- ① [ステーション] の [設定] をクリックし、表示されるメニューから [ページヘッダ設定] をクリックします。
- ② 印字位置を選びます。
- ③ 印字情報をクリックして、差出人情報を入力します(例では From メガソフト株式会社 To)。



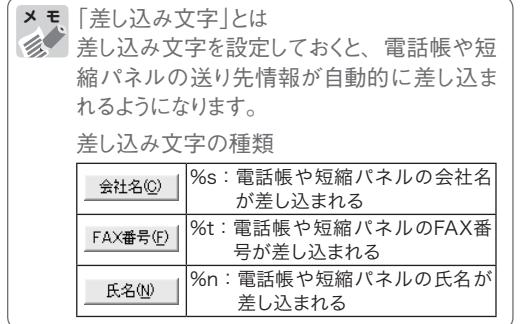
注意 ページヘッダの文字サイズは変更できません
差し込み文字のサイズを変更したい場合はワード
送付状をご利用ください。
「ワードの書類を変更してワード送付状にする」→
93ページ



02 ページヘッダに「送り先情報」を設定する

④ 会社名(②) と 氏名(④) をクリックします(例では会社名と氏名を設定します)。

差し込み文字の「%s」「%n」が設定されます。



⑤ OK をクリックします。

注意 ヘッダの最大文字数は58文字です
文字数は、送り先情報を差し込んだとの文字数で計算します。

03 FAX送信して設定内容を確認する

送る原稿、送り先を決めて送信を始めます。

参考 送る原稿を決めるには
「送る原稿を決める」→22ページ

送り先を決めるには
「FAXの送り先を決める」→23ページ

送信を始めるには
「送信を開始する」→23ページ

もっと使いこなす



⑥ 送信時にページヘッダが表示されます。

注意 ページヘッダの制限
ページヘッダはFAXの送信時に差し込まれますので、送信記録には表示されません。

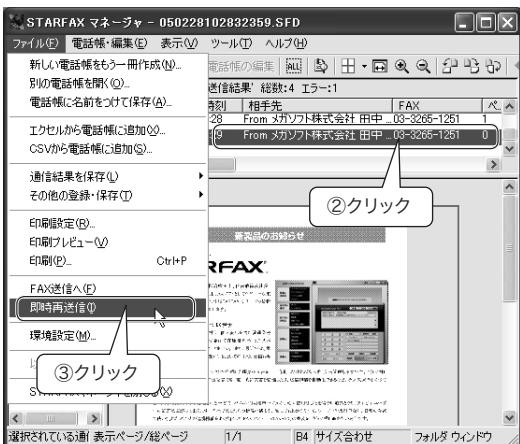
話し中で送信できなかつた相手に再度送る(再送信)

「即時再送信」は、話し中などで送信できなかつた相手にすばやく送り直すときに使う機能です。



01 [送信結果] を開く

① [送信結果を表示] をクリックします。



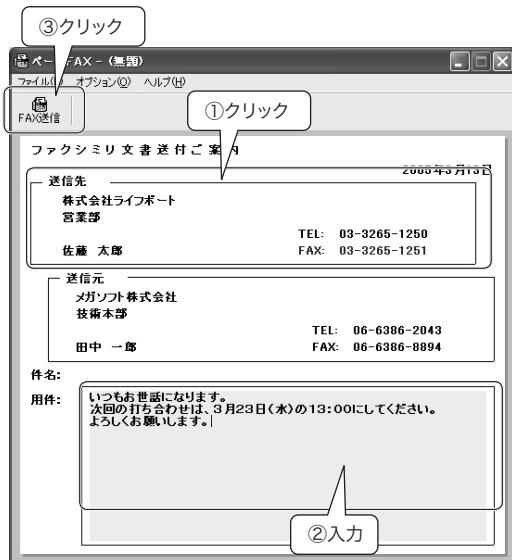
02 即時再送信する

②日付、時刻、相手先、FAX項目から再送信したいFAXを探してクリックします。

③[ファイル]→[即時再送信]をクリックします。
送信が始まります。

もっと使いこなす

ページFAXは「送信先」と「用件」を入力するだけで送信できる簡易FAX送信機能です。簡単な用件をすばやく送信したいときなどに使用します。



01 [ページFAX] を開く

Windowsのスタートから[すべてのプログラム] – [STARFAX 14] – [その他の機能] – [ページFAX]をクリックします。

02 送り先や用件を入力して送信する

- ①送り先を入力します。
- ②用件を入力します。
- ③ をクリックします。



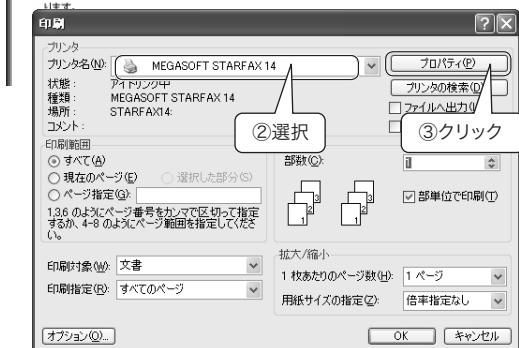
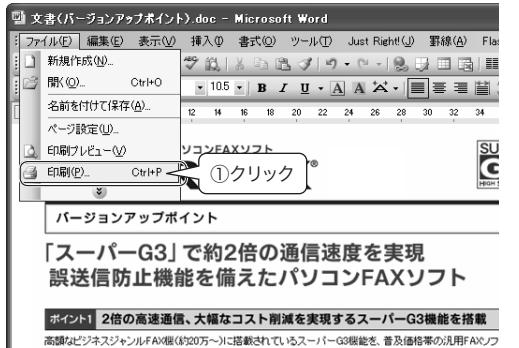
ページFAXその他の操作は
[STARFAX 14] – [マニュアル&Webページ] –
[ヘルプ]

もっと使いこなす

定型原稿に登録する

商品カタログのように内容がかわらないものは、定型原稿として登録しておくと、素早く送信できます。

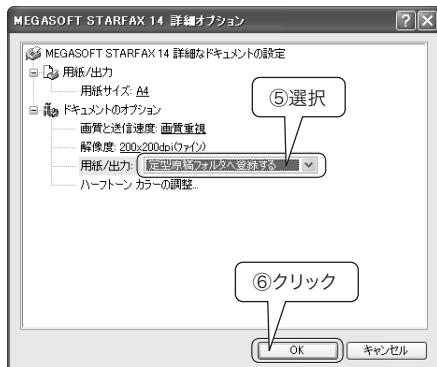
ソフトの印刷機能を使えば、どのような書類でも定型原稿に登録できます。



01 定型原稿として登録する

- ①定型原稿として登録したい書類を開きます。
[ファイル]-[印刷]をクリックします。
- ②[印刷]画面が開きます。
[プリンタ名]を[MEGASOFT STARFAX 14]に変更します。
- ③[プロパティ(P)]をクリックします。

- ④[詳細設定(U) ...]をクリックします。



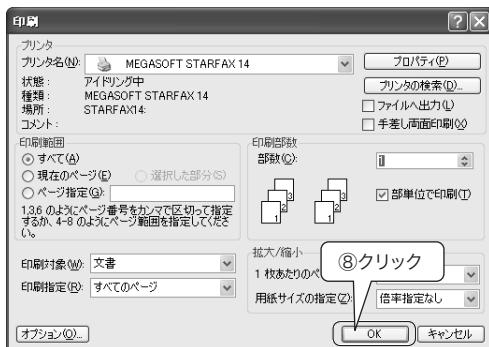
⑤ [用紙/出力] から [定型原稿フォルダへ登録する] を選びます。

⑥ をクリックします。

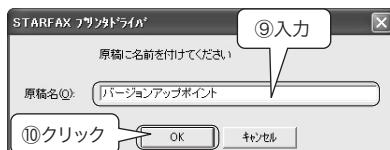
[印刷] 画面に戻り をクリックします。



⑦ をクリックします。



⑧ をクリックします。



⑨ [原稿名] を入力します。

⑩ をクリックします。

[定型原稿] に原稿が登録されます。

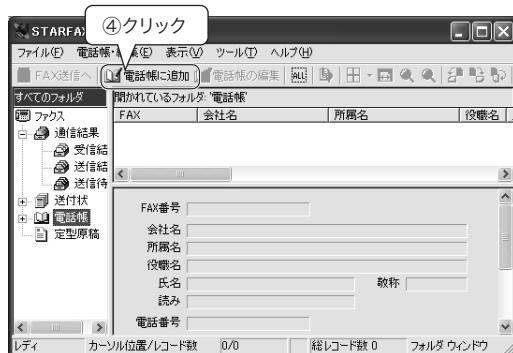
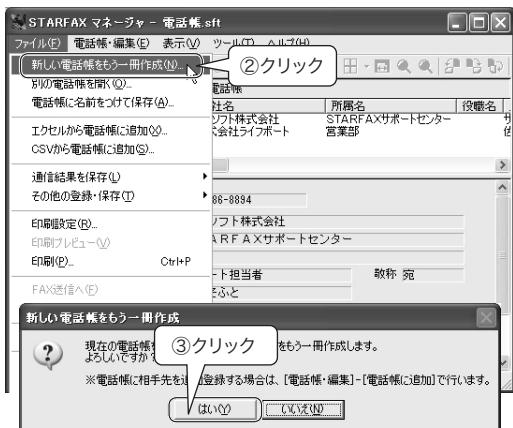
もっと使いこなす

 定型原稿を削除する方法は
[マネージャ] の [定型原稿] から削除する原稿を選び、
[電話帳・編集] - [削除] をクリックします。

複数の電話帳を使いわける

電話帳は複数持てます。

送り先ごとや、目的ごとに分けておけば効率よくFAX業務が行えます。



01 新しい電話帳を作る

① **電話帳** をクリックします。

② [ファイル] - [新しい電話帳をもう一冊作成] をクリックします。

③ 確認の画面が表示されますので **はい(Y)** をクリックします。

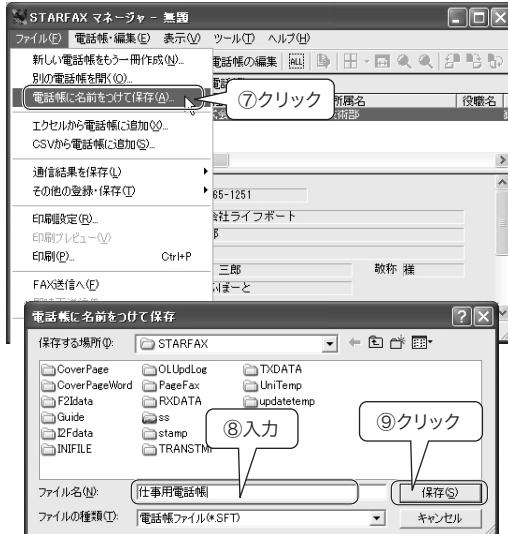
④ **電話帳に追加** をクリックします。

もっと使いこなす



⑤送り先の情報を入力します。

⑥ **OK** をクリックします。



02 新しい電話帳を保存する

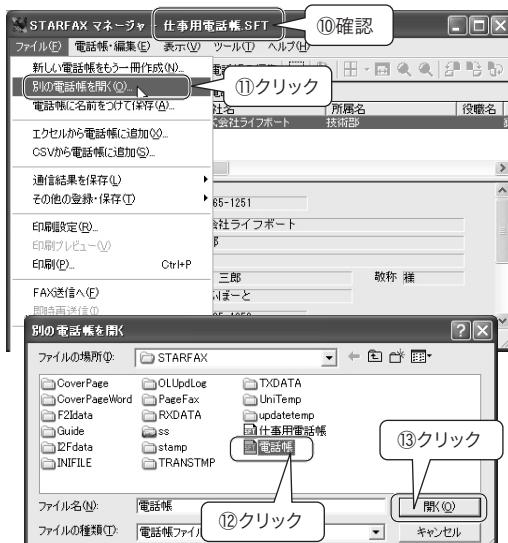
⑦ [ファイル] - [電話帳に名前をつけて保存] をクリックします。

⑧ ファイル名を入力します(例では仕事用電話帳)。

メモ 標準電話帳の名前は「電話帳.sft」というファイル名です。
違う名前をつけてください。

⑨ **保存** をクリックします。

⑩ タイトルバーに保存した名前(例では仕事用電話帳)が表示されたことを確認します。



03 別の電話帳の開き方

⑪ [ファイル] - [別の電話帳を開く] をクリックします。

⑫ 開く電話帳をクリックします。

⑬ **開く** をクリックします。

メモ 電話帳の最大登録件数は1つの電話帳に1万件まで登録できます。別の電話帳を作れば何件でも増やすことができます。

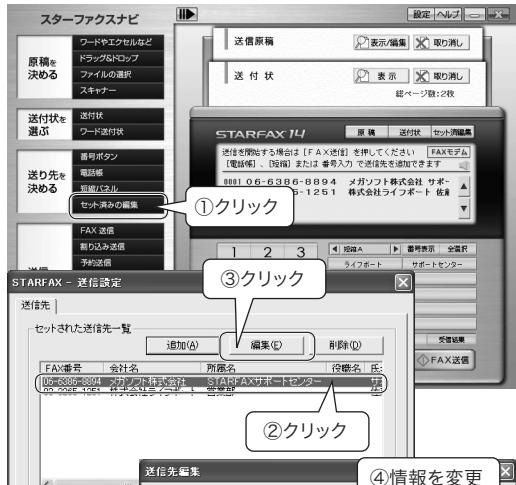
注意 グループ名の仕様制限について
複数の電話帳はそれぞれグループ分け(1~16)できますが、グループ名はSTARFAXに1つしか持つことができないため、名前は共通になります。

注意 電話帳が表示されないときは
[ファイル] - [別の電話帳を開く] をクリックします。
「電話帳.sft」をクリックします。

もっと使いこなす

電話帳登録せずに送付状に送り先の情報を差し込む

ステーションに登録した送り先の情報を一時的に変更できます。



×モ 变更した送り先情報について
ここでの変更は一時的なものです。
電話帳や短縮パネルには反映されません。

参照 電話帳や短縮パネルを変更するには
「電話帳を登録・変更・削除する」→76ページ
「短縮パネルを登録・変更・削除する」→84ページ

01 ステーションに登録した送り先の一覧を表示する

① [セット済みの編集] をクリックして、[送信設定] を表示します。

02 [送信設定] の送り先を変更する

② 変更したい送り先を、[送信設定] の一覧から選んでクリックします。

③ [編集(E)] をクリックします。

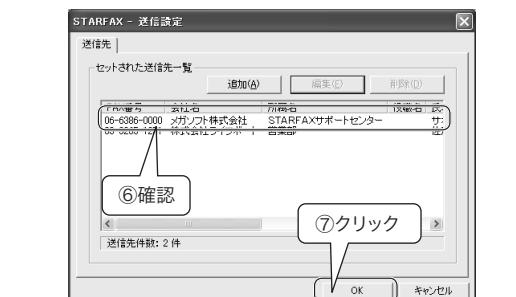
④ [送信先編集] で情報を変更します。
(この例では「FAX番号」を変更しています。)

⑤ [OK] をクリックします。

⑥ [送信設定] の情報が変更されます。

⑦ [OK] をクリックします。

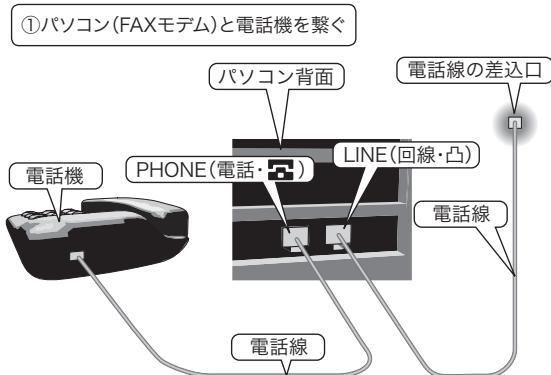
⑧ 変更が反映されます。



もっと使いこなす

FAX情報サービスを使う

FAX情報サービスから情報を受信します。



②[ステーション]を起動



注意 仕様制限事項

ポーリング受信には対応していません。

注意

FAX情報サービスが使えないFAXモデムについて
FAX受信中でも電話機の通話が切断されない仕
様のFAXモデムは、電話機の信号が干渉して通
信エラーを発生させることができます。

FAX情報サービスのダイヤル操作を行うと異常終
了してしまうFAXモデムがあります。

FAXモデムの仕様は、FAXモデムメーカーかパソ
コンメーカーにご確認ください。

FAX情報サービスの操作を行うためには、左の絵
のように、FAXモデムのPHONEポート(電話・電話
の絵)に電話機を繋いでおきます。

01 パソコン(FAXモデム)と電話機を繋ぐ

①FAXモデムのPHONE・電話・FAXポートに電話
機を繋ぎ、電話機とSTARFAXの両方の操作
で受信を行います。

02 FAX情報サービスを受信する

②[ステーション]を起動します。

③電話機でFAX情報サービスの番号をダイヤル
します。

④FAX情報サービスの指示に従って、FAXの音
(ポーー)が流れるまでの操作を電話機で行
います。

もっと使いこなす



⑤ [ステーション] の **FAX受信** をクリックします。

⑥ **OK** をクリックします。



⑥クリック



⑦ [ステーション] が受信を開始して電話機の通話が切断されたら、電話機の受話器を置きます。

⑧FAX情報サービスの受信を確認します。

もっと使いこなす

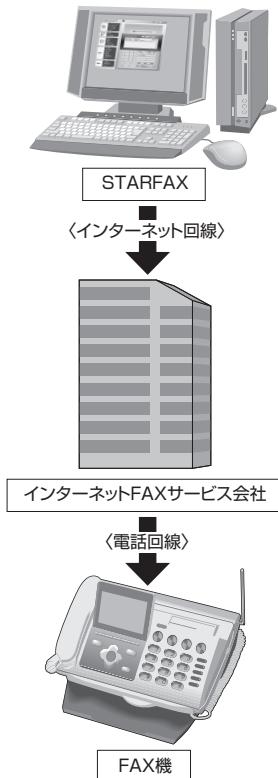


Microsoft FAX情報サービス
FAX番号: 03-5972-7149
サービス概要取り出し: 0#
(2009年1月現在)

インターネットFAXとは？

SF14 ONLY

インターネットFAXとは、メールとFAX間の双方向通信を可能にしたネットワークサービスのことをいいます。



「インターネットに繋がる環境なら使用できる」と考えられがちですが、それは誤りです。インターネットFAXサービス会社との契約が別途必要となり、課金制になっています。

インターネットFAXの最大のメリットは「大量のFAXが短時間で送信できる」ことですが、デメリットは「コストが高い」ことがあります。

詳細はヘルプをご覧ください。[STARFAX 14]—[マニュアル&Webページ]—[ヘルプ]

もっと使いこなす

もっと使いこなす

困ったときは

「相手ファクシミリが応答しません。配線不備の可能性もあります」が表示されてFAXの送信が行えない	… 140
STARFAXで受信させたいのに、FAX機が受信してしまう	… 140
「発信音を検出できません」と表示されてFAXが送れない	… 141
「ノイズ(モデム、併用するFAX機)により通信できません。」が表示されて、FAXの送受信が行えない	… 141
送信した原稿のサイズが小さくなる	… 144
FAX原稿が作成できない(ステーションに登録できない)	… 144
FAX原稿の文字が薄い	… 144
FAX原稿のページ数が変わってしまう(ページ割れする)	… 144

Q 「相手ファクシミリが応答しません。配線不備の可能性もあります」が表示されてFAXの送信が行えない

A ●すべての相手先で発生するときは

電話線がパソコン(のFAXモデムという機器)に繋がっていないことが考えられます。

※FAXソフトを使うには、インターネット通信の配線とは別に、FAX通信用の配線が必要です。

「FAXモデム接続ガイド」を見て、電話線がパソコンに繋がっていることを確認してください。

Q STARFAXで受信させたいのに、FAX機が受信してしまう

A FAX機の受信設定に問題があると考えられます。

FAX機が受信を開始するタイミングには次の2つの方法があります。

- ①FAX機で設定されたベル(RING)の回数設定で受信を開始する
- ②ベルに関係なく、FAX受信時に開始する(無鳴動着信やFAX優先モード)

STARFAXで利用するFAXモデムは①のベル回数でFAX受信を開始する方法をとっており、初期設定はベル1回になっていますが、ベル回数の数え方はパソコン(のFAXモデムという機器)により違いがありますので、FAX機のベル回数設定を3回以上に調整しておく方が確実です。



STARFAXの設定を確認するには

- ①[ステーション]の[設定]をクリックして表示されるメニューから[受信設定]をクリックします。
- ②[受信までのコール回数]を確認します。

もし、ご利用のFAX機が②の受信方法を使う設定になっていると、STARFAXの設定に関係なく必ずFAX機が受信してしまいます。無鳴動着信やFAX優先モードの設定は必ず解除して、ベル回数で受信する方法に変更しておいてください。詳細はFAX機メーカーにご確認ください。



「発信音を検出できません」と表示されてFAXが送れない



電話回線がパソコン(のFAXモデム)に接続されていないか、接続する場所を誤っています。

「FAXモデム接続ガイド」をご覧になり、電話線とパソコンの配線を確認してください。

※FAX機やFAXソフトは電話回線を使用して通信します。インターネット回線は使用しません。



「ノイズ(モデム、併用するFAX機)により通信できません。」が表示されて、FAXの送受信が行えない



●すべての相手先で発生するときは

1本の電話回線をパソコンとFAX機で併用しているなら、FAX機が干渉して通信エラーの原因になっていることが考えられます。FAX機の電源を切ってからFAXの送受信をためして、干渉が原因かどうかを確認してください。

FAX機の干渉を避けるには、電話線の配線を「秘話機能付き電話線分配機」で行います。

秘話機能付き電話線分配機の配線は、内蔵FAXモデムをご使用のときは142ページ、外付けFAXモデムをご使用のときは143ページをご覧ください。

●特定の相手先で発生するときは

相手先のFAX機・電話回線の品質が低いことが原因であると考えられます。

根本対策は相手先の環境を改善してもらうことですが、それができないときは、次の対処をおためしください。

①[ステーション]の をクリックします。

②エラーが発生する送り先を選択して、 をクリックします。

③[FAXモデム設定]を「エラー時設定1」または「エラー時設定2」に変更します。

設定で解消できないようなら、FAX環境の品質を向上させることをご検討ください。

品質を向上させるには、外付け型FAXモデムの使用をおすすめします。

外付け型FAXモデムは、内蔵型FAXモデムに比べて品質が高く、FAX通信に最適です。

検証済み外付けFAXモデムの情報は、次のホームページをご覧ください。

<http://www.megasoft.co.jp/starfax/modem.html>

内蔵FAXモデムを使うときは

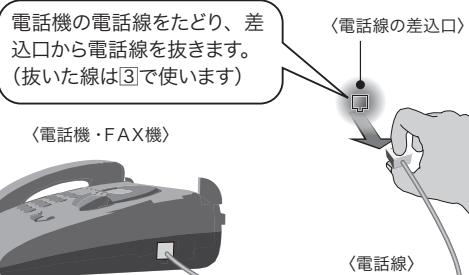


図の「電話線の差込口」は電話機やFAX機につながっている電話線が差し込まれている場所をあらわしています。差込口はお客様によりちがいますので、イメージ図であらわしていますが、実際はインターネット機器、電話機器、壁の差込口になります。

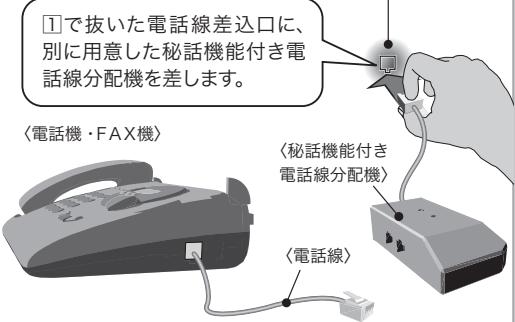
接続に
別途
必要なもの



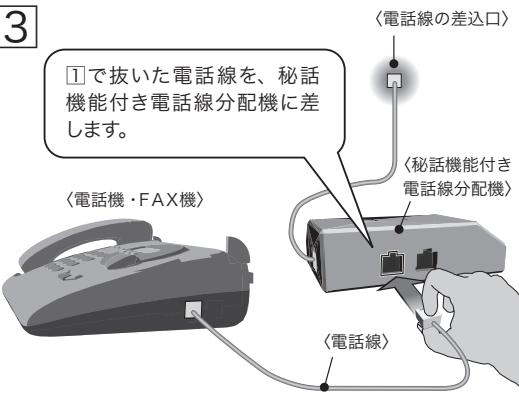
1



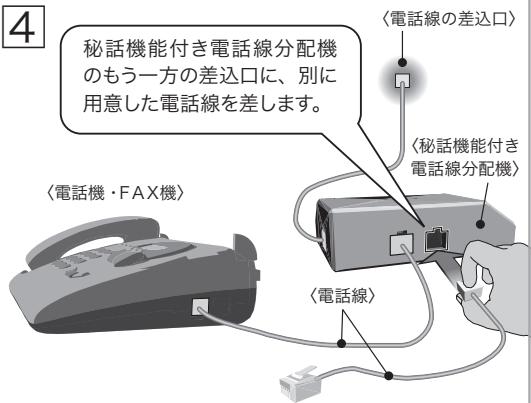
2



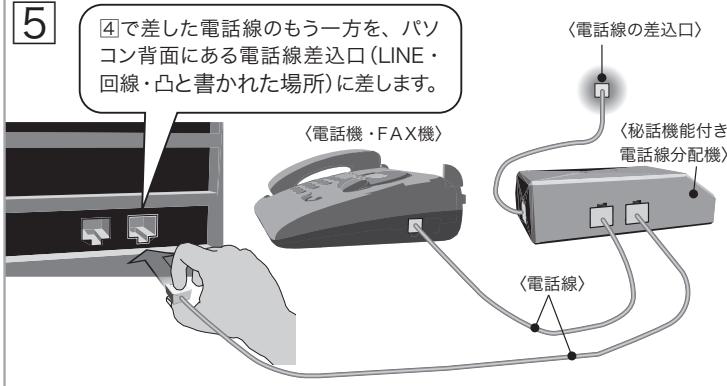
3



4



5



6



困ったときは

①電話線分配機は、1つの電話線差込口を2つもしくは複数に分ける機器です。

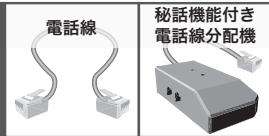
秘話機能が付いた電話線分配機は、FAX機の干渉による通信エラーを防ぎます。(電話線分配機とADSLスプリッターは別製品です。)

外付けFAXモデムを使うときは



図の「電話線の差込口」は電話機やFAX機につながっている電話線が差し込まれている場所をあらわしています。差込口はお客様によりちがいますので、イメージ図であらわしていますが、実際はインターネット機器、電話機、壁の差込口になります。

接続に
別途
必要なもの



1

電話機の電話線をたどり、差込口から電話線を抜きます。
(抜いた線は③で使います)

〈電話機・FAX機〉



〈電話線の差込口〉

〈電話線〉

2

①で抜いた電話線差込口に、別に用意した秘話機能付き電話線分配機を差します。

〈電話機・FAX機〉



〈秘話機能付き電話線分配機〉

〈電話線〉

〈電話線の差込口〉

3

①で抜いた電話線を、秘話機能付き電話線分配機に差します。

〈電話機・FAX機〉



〈電話線の差込口〉

〈秘話機能付き電話線分配機〉

〈電話線〉

4

秘話機能付き電話線分配機のもう一方の差込口に、別に用意した電話線を差します。

〈電話機・FAX機〉



〈電話線の差込口〉

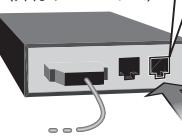
〈秘話機能付き電話線分配機〉

〈電話線〉

5

④で差した電話線のもう一方を、外付けFAXモデムの電話線差込口(LINE・回線・凸と書かれた場所)に差します。

〈外付けFAXモデム〉



〈電話機・FAX機〉



〈電話線の差込口〉

〈秘話機能付き電話線分配機〉

〈電話線〉

6



電話やFAX機がつながることをご確認ください。

① 電話線分配機は、1つの電話線差込口を2つもしくは複数に分ける機器です。

秘話機能が付いた電話線分配機は、FAX機の干渉による通信エラーを防ぎます。(電話線分配機とADSLスプリッターは別製品です。)

困ったときは



送信した原稿のサイズが小さくなる



FAX通信は、ページに収めることを重視した規格になっているため、送信側・受信側双方のFAX機がサイズを変更してしまうことがあります。

これはFAX通信の規格の問題で解決する方法はありません。



FAX原稿が作成できない(ステーションに登録できない)



CADソフトなどの一部のソフトは、解像度をノーマル(200×100dpi)やスーパーフайн(200×400)にすると、原稿が作成できなことがあります。

解像度をファイン(200×200)に変更してから、FAX原稿を作成してみてください。

送信速度を早くしたい場合や、美しくしたい場合は、[解像度]ではなく、[画質と送信速度]を変更してみてください。



FAX原稿の文字が薄い



STARFAXの送信記録から、送信したFAX原稿を確認します。

この原稿が薄くないのであれば、相手先のFAX機が薄くしていることになります。

相手先FAX機の設定などをご確認ください。

確認したFAX原稿が薄いようなら、元原稿のフォントをゴシックに変更するか、大きめのフォントサイズを使用してください。



FAX原稿のページ数が変わってしまう(ページ割れする)



ユーザーズマニュアルの次の章をご確認ください

「FAX原稿のページ数が変わってしまうときは」→25ページ

サポートサービスについて

ライセンスについて	146
ライセンス認証(アクティベーション)	147
ユーザーサポートを受けるためには	149
ユーザー登録が必要です	149
お問い合わせの前に	150
お問い合わせ方法は	151
製品を紛失したときは	152
ユーザー登録の内容を変更したいときは	152

ライセンスについて

STARFAXを複数のパソコンで使用するときや、体験版から製品版へ変更するときにはライセンスを別途お求めください。

・ライセンスの種類について

ライセンス……製品パッケージをお求めいただくときの通常ライセンスです。

体験版を製品版にするときはこちらをお求めください。

追加ライセンス……製品版をお持ちの方が購入できる追加専用のライセンスです。

グループFAX機能でクライアントを増やすとき、こちらをお求めください。

・ライセンス数の考え方

インストールするパソコン1台につき、1つのライセンスが必要です。

グループFAX機能を利用するときは、製品ライセンス1つで、サーバーパソコン1台、クライアントパソコン1台がご利用いただけます。

・ライセンスの購入方法

ライセンスは次のホームページから購入できます。

http://www.megasoft.co.jp/products/starfax_li/starfax14_li.html



購入ページの開き方は

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[マニュアル&Webページ]—[追加ライセンス購入ページへ]をクリックします。

・ライセンスパックのお問い合わせ先

企業、団体などで複数のライセンスを導入されるときは、お得なライセンスパックをお求めください。

<https://shopping.megasoft.co.jp/shop/>

メガソフトインフォメーションセンター

祝祭日を除く月曜日～金曜日：9:30～11:45／13:00～17:00

TEL：06-6386-2072

FAX：06-6386-2123

・ライセンスの登録方法

購入したライセンスは、[ライセンス登録]で登録すると有効になります。



ライセンスの登録方法は

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[その他の機能]—[ライセンス登録]で登録します。

・体験版から製品版へするには

ライセンスキーを購入して、[ライセンス登録]で登録すると製品版に変わります。

体験版と製品版はまったく同じプログラムなので、再インストールすることなく、体験版のデータが製品版へ引き継がれます。



ライセンスの登録方法は

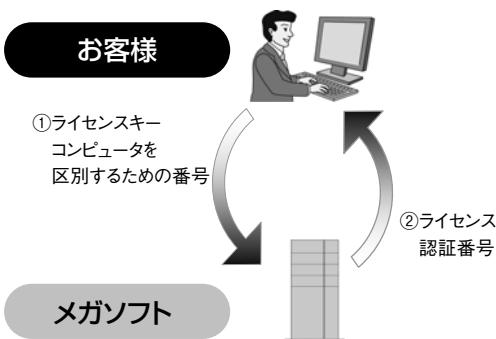
Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[その他の機能]—[ライセンス登録]で登録します。

ライセンス認証(アクティベーション)

STARFAXでは、正規ユーザー様の権利を擁護するため、ライセンス認証(アクティベーション)が導入されています。

・ライセンス認証について

ライセンス認証とはソフトウェアの不正コピーを防止し、正規に使用許可されたソフトウェアであることを確認するためのものです。認証は短時間で行え、その際に個人情報をご提供いただく必要はありません。また、これによりソフトウェアの利便性が損なわれることはありません。



セットアップ時または初回起動時にライセンス認証を促す画面が表示されます。

コンピュータがインターネットに接続されている場合は、認証の手続きは自動的に行われます。

インターネットに接続されていない場合は、電話で、メガソフトからライセンス認証番号を取得します。

STARFAXは、1ライセンスにつきセットアップできるコンピュータは1台です。複数のコンピュータで使用される場合は、新たにソフトウェアをご購入いただく必要があります。



グループFAX機能を利用するときは
グループFAX機能を利用するときは、製品ライ
センス1つで、サーバーパソコン1台、クライアン
トパソコン1台がご利用いただけます。

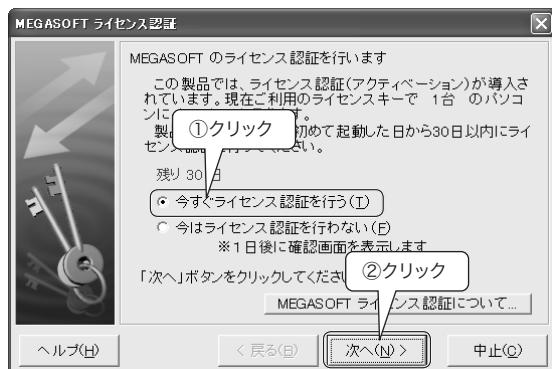
・ライセンス認証の操作

お使いのコンピュータがインターネットに接続されている場合、以下のように認証が行われます。



インターネットに接続されていない場合

コンピュータがインターネットに接続されていない場合は、電話でメガソフトからライセンス認証番号を入手することができます。



セットアップ時または初回起動時にライセンス認証を促す画面(左図)が表示されます。

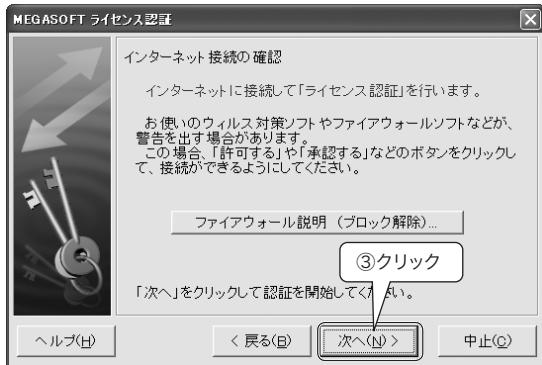
①[今すぐライセンス認証を行う]をクリックします。



セットアップ時に認証を行わなかった場合、一
日一回起動時に認証を促す画面が表示され
ます。

ライセンス認証は初回起動時から30日以
内に必ず行ってください。30日を越えると、
STARFAXを起動できなくなります。

②[次へ(N) >]をクリックします。



③ **次へ(N) >** をクリックします。



お使いのウィルス対策ソフトやファイアウォールソフトなどが警告を出す場合があります。その際は、「ファイアウォール説明 (ブロック解除)」ボタンをクリックして、ブロック解除の方法を確認し、接続できるように設定します。

・アンインストール時のライセンス認証について

プログラムのアンインストール(削除)を行う際、インターネットに接続された環境であれば、ライセンス認証番号の返還(ライセンス認証の解除)が自動的に行われます。

一方、インターネットに接続されていない環境では、自動的には行えません。できるだけ接続された環境でアンインストールを行ってください。

・ライセンス認証ができない場合(再セットアップ時)

アンインストール時にライセンス認証番号の返還が行えなかった場合や、ソフトウェアをアンインストールせずにフォルダごと削除したり、コンピュータを譲渡したりした場合には、再セットアップができないことがあります。必ずアンインストールしてから再セットアップを行ってください。

電話での認証窓口

電話: 06-6386-6153

(サポートセンターの連絡先は06-6386-2043)

(対応時間: 9:30~11:45/13:00~17:00 特別期間の休業を除く全日)

ユーザーサポートを受けるためには

ユーザーサポートは、弊社へのユーザー登録がお済みのお客様だけがご利用いただけるサービスです。

ユーザー登録が必要です

サポートサービスをご利用いただくためには、STARFAX 14/14Liteの「ユーザー登録」が必要です。



※以前のバージョンをお持ちの方もSTARFAX 14/14Liteでのユーザー登録が必要です。

インターネットで登録

メガソフトの「ユーザー登録」ページから行えます。

<http://www.megisoft.co.jp/entry/>



「ユーザー登録」ページの開き方



デスクトップの **メガソフトユーザー登録・変更** をクリックします。

ハガキ・FAXで登録

インターネットがご利用いただけない場合は、製品に同梱された「ユーザー登録ハガキ」をFAXするか、郵送でお送りください。



宛先は「ユーザー登録ハガキ」に記載しております。

お問い合わせの前に

・FAXモデム接続ガイドをご覧ください

FAXが送受信できない多くの理由は、電話線がパソコンに繋がっていないためです。

FAX通信の配線は、インターネットの配線とは異なります。

「FAXモデム接続ガイド」で配線をご確認ください。

・マニュアルをご覧ください

FAXの送受信や電話帳の使い方などの基本的な操作はマニュアルに記載しています。

目次や索引からご確認ください。

・ヘルプをご覧ください。

ユーザーズマニュアルにのっていない操作方法や機能を記載しています。



「ヘルプ」の開き方

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[マニュアル&Webページ]—[ヘルプ]

・サポート情報ページをご覧ください。

マニュアルに記載できなかったお問い合わせへの回答など、最新情報を記載しています。



「STARFAXサポート情報」ページの開き方

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[マニュアル&Webページ]—[サポート情報ページへ]

お問い合わせ方法は

マニュアルやサポート情報で問題が解決しないときは、次の3つの方法でお問い合わせください。

・インターネットのホームページから問い合わせる

ホームページの「オンライン調査依頼」からお送りください。

STARFAXサポート情報ページ：<http://www.megasoft.co.jp/support/starfax/>



「STARFAXサポート情報」ページの開き方

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[マニュアル&Webページ]—[サポート情報ページへ]

・FAXで問い合わせる

インターネットがご利用いただけないときは、ユーザーズマニュアル153ページの「調査依頼書」か、「調査依頼書テキスト」に質問内容を記入してFAXでお送りください。

FAX：06-6386-8894



「調査依頼書テキスト」の開き方

Windowsのスタートから[すべてのプログラム]—[STARFAX 14(または、14Lite)]—[その他の機能]—[サポートツール]—[調査依頼書]

・電話で問い合わせる

インターネットやFAXがご利用いただけないときは、お電話でお問い合わせください。

サポートには「ライセンスキー」、「STARFAXのバージョン」、「パソコン環境」が必要です。

ご確認の上でご連絡ください。

祝祭日を除く月曜日～金曜日：9:30～11:45／13:00～17:00

TEL：06-6386-2043(ライセンス認証ができない場合は06-6386-6153)



サポート電話が比較的繋がりやすい時間は

10:30～11:45、14:00～16:00

・サポートセンターの連絡先は

メガソフトサポートセンター

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

TEL：06-6386-2043 / FAX：06-6386-8894

Web：<http://www.megasoft.co.jp/support/starfax/>

製品を紛失したときは

・ライセンスキーを紛失したときは

- ・ユーザー登録がお済みのときは

サポートセンターにお問い合わせください。ライセンスキーをご連絡いたします。

サポートセンターの連絡先は151ページをご覧ください。

- ・ユーザー登録がお済みでないときは

下記の手順でサポートセンターにご連絡ください。

1.154ページの「ユーザー登録変更届け」をコピーして、「新」の項目を記入します。

2.「ユーザー登録変更届け」の「備考」に「ライセンスキー再発行依頼」と記入します。

3.「ユーザー登録変更届け」を、サポートセンター(06-6386-8894)にFAXでお送りください。

4.サポートセンターからライセンスキーを連絡いたします。

・セットアップディスクやユーザーズマニュアルを紛失したときは

- ユーザー登録がお済みの場合のみ、有償でご購入いただけます。

サポートセンターにお問い合わせください。購入手続きの書類を送らせていただきます。

ユーザー登録の内容を変更したいときは

・インターネットのホームページから変更する

転居や使用者の変更などで登録内容と状況が変わってしまったときは、「ユーザー登録・変更」ページから、変更手続きをお願いいたします。

<http://www.megasoft.co.jp/entry/>



「ユーザー登録・変更」ページの開き方

デスクトップの



をクリックします。

インターネットがご利用いただけないときは、154ページの「ユーザー登録変更届け」をコピーして、「ライセンスキー」と、「変更のあった新旧」をご記入の上、FAXまたは郵送でお送りください。



次の点にご注意ください

- ・電話による変更は聞き間違いなどのミスをふせぐため、受け付けておりません。
- ・個人から法人への変更や、法人から個人への変更はできません。
- ・ソフトの譲渡や転売はできません。

STARFAX 14/14Lite 調査依頼書

■調査依頼日	西暦 年 月 日
■会社・部署名	
■お名前	
■電話番号	
■FAX番号	
■メールアドレス	
■ライセンスキー	セットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。
■STARFAXのバージョン情報	Windowsのスタートから[すべてのプログラム] – [STARFAX 14(または、14Lite)] – [その他の機能] – [バージョン情報]で確認します。
■ご利用のWindows	
■ご利用のFAXモデム	※Windowsのスタートから[コントロールパネル]を開き、「クラシック表示に切り替える」を選んだあと、「電話とモデムのオプション」でFAXモデムを確認します。
■ご利用の電話回線	※例：一般電話回線、一般回線(ADSL)、IPフォン、ISDN回線、携帯、PHS、cdmaOne
■電話回線の使い方	※例：FAX機と共に、電話と共に、STARFAXのみで使用
■お問い合わせ種別	※例：セットアップがわからない、操作がわからない、送信できない、受信できない、STARFAXの動作が異常
■問題が発生するようになった原因	※例：始めから、パソコンを変えた、利用回線を変更した
■お問い合わせ内容	※当社で再現できるよう、できるだけ詳しくご記入ください。

※ユーザー登録がお済みでないときは、ユーザー登録をお願いしたあとに回答させていただきます。

メガソフト株式会社STARFAXサポートセンター行
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

FAX：06-6386-8894

ユーザー登録変更届

■製品名	STARFAX 14/14Lite	
■ライセンスキー	(ご記入がないときは変更できません)	
セットアップディスクのケースか、製品に同梱されたユーザー登録ハガキをご覧ください。		
新	■住所	〒
	■会社名・部署名	
	■お名前	
	■E-mail	
	■電話番号	
	■FAX番号	
旧	■住所	〒
	■会社名・部署名	
	■お名前	
	■E-mail	
	■電話番号	
	■FAX番号	
■備考	※変更理由を簡単にご記入ください。	

メガソフト株式会社 STARFAXユーザー登録係行き
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

FAX: 06-6386-2123

■商標について

STARFAX、MEGASOFTは、メガソフト株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名などは各社の商標または登録商標です。

索引

番号

50音表示

- グループ設定を使う 81
- 電話帳から選ぶ 46
- 電話帳を登録する 76

アルファベット

C

- CSVファイル 56, 68, 77, 83

E

Email

- 送受信したFAXをメールで転送する 69

Excel

- FAX原稿のページ数が変わってしまうときは 25
- エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する 77
- 電話帳を一覧表(CSV)に書き出す・印刷する 83

F

- FAX原稿のページ数が変わってしまうときは 25
- FAX情報サービスを使う 135
- FAX送信をためす 17
- FAXモデム接続ガイド 10, 150

J

JPG(JPEG)

- 受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 67
- 送受信したFAXをメールで転送する 69
- 送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 55

P

PDF

- 受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 67
- 送受信したFAXをメールで転送する 69
- 送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 55

Q

QRはんこ

- QRコード付きのFAX原稿を送る 122
- 受信したFAXを編集する 65
- 登録した原稿を確認する 33

S

- STARFAXの送付状とは? 37, 88
- STARFAXをアンインストール(削除)する 101

T

TIFF

- 受信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 67
- 送受信したFAXをメールで転送する 69
- 送信したFAXをPDFや画像ファイルに変換する 55

W

Word

- FAX原稿のページ数が変わってしまうときは 25
- 登録したワード送付状を取り消す 44
- 登録したワード送付状を確認する 44
- ワード送付状を選ぶ 42
- ワードの書類を変更してワード送付状にする 93

かな

あ

相手先

短縮パネルから選ぶ	47
電話帳から選ぶ	46
電話帳登録せずに送付状に送り先の情報を差し込む	134
登録した送り先を取り消す	48
番号ボタンで入力する	45

アクティベーション

アドレス帳・電話帳も参照	147
電話帳・短縮パネルを登録・変更・削除する	75
電話帳から選ぶ	46
アプリケーション	
ワードやエクセルなど(ソフト)の印刷機能を使う	24
アンインストール	101

い

一太郎

FAX原稿のページ数が変わってしまうときは	25
以前のSTARFAXシリーズをご利用の場合	16

印刷

FAXの送信結果を見る	54
画質を選ぶ	26
受信したFAXを印刷する	66
受信結果の一覧表を保存・印刷する	68
受信したFAXをプリンタで印刷する	71
送信結果の一覧表を保存・印刷する	56

インストール

STARFAXをセットアップする	14
クライアント(子)をセットアップする	106, 107
サーバー(親)をセットアップする	105

え

エクセル

FAX原稿のページ数が変わってしまうときは	25
エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する	77

お

送り先の設定

短縮パネルから選ぶ	47
電話帳から選ぶ	46
電話帳登録せずに送付状に送り先の情報を差し込む	134
登録した送り先を取り消す	48
番号ボタンで入力する	45

お問い合わせ方法は

151

オリジナル送付状

サンプルの送付状を変更して、オリジナル送付状をつくる	89
ワードの書類を変更してワード送付状にする	93

オンラインアップデートについて

100

か

画質を選ぶ

26

カバーページ

オリジナルの送付状やオリジナルのワード送付状をつくる	87
送付状を選ぶ	37

く

グループFAX機能を使う

103	
クライアント(子)送信待ちFAXを取り消す	116
クライアント(子)のデータを移動する	114
クライアント(子)別に使用方法を設定する	111
クライアントの使用方法(4つの設定について)	108, 109
クライアントの使用方法(自由設定について)	110
クライアントとの接続方法(2つの接続方法について)	112
クライアント(子)の送信FAXを確認する	115
グループFAX機能を停止・再開する	117
接続できるクライアント(子)台数の確認方法	118
セットアップ(サーバー)	105
セットアップ(クライアント)	106, 107
「ユーザー名・パスワードによるログインでの接続」について	113
グループ設定を使う	81

け

原稿

原稿を決める	24
確認する	33
画質を選ぶ	26
送付状を選ぶ	37
追加する	32
取り消し	35
不要なページを取り消す	36
編集する	34

さ

サーバーマネージャ

クライアント(子)の送信FAXを確認する	115
クライアント(子)送信待ちFAXを取り消す	116
グループFAX機能を停止・再開する	117
サーバー(親)をセットアップする	105
接続できるクライアント(子)台数の確認方法	118

削除

短縮パネルを削除する	86
電話帳を削除する	80
同報送信を一時停止・再開する	121
登録したワード送付状を取り消す	44
登録した原稿から不要なページを取り消す	36
登録した原稿を取り消す	35
登録した送り先を取り消す	48
登録した送付状を取り消す	41

差出人情報

相手に応じて差出人情報を使い分ける	125
一時的に変更	40
登録・編集する	38

サポート

ユーザーサポートを受けるためには	149
------------------	-----

し

シーエスブイ → CSVファイル

受信したFAXを自動印刷する	71
----------------	----

受信

自動受信を使う	59
手動受信を使う	60

受信結果

FAXで転送する	72, 73
PDFや画像ファイルに変換する	67
一覧表を保存・印刷する	68
印刷する	66
確認する	63
自動印刷する	71
ビューアで表示する	64
編集する	65
メールで転送する	69
受信しないように設定する	62

受信できない

困ったときは	139
--------	-----

す

スキャナ	29
------	----

せ

セット

FAXの送り先を決める	45
送る原稿を決める	24
送付状を選ぶ	37
番号ボタンで入力する	45

セットアップ

STARFAXをセットアップする	14
クライアント(子)をセットアップする	106, 107
サーバー(親)をセットアップする	105

そ

送信

FAXの送信結果を見る	54
送り先を決める	45
原稿を決める	24
送信を開始する	49
送付状を選ぶ	37

送信結果

PDFや画像ファイルに変換する	55
一覧表を保存・印刷する	56
確認する	54
送信先の設定 → 送り先の設定	
送信できない	
困ったときは	139
送信を中止する	53
送付状・ワード送付状も参照	
オリジナル送付状をつくる	89
確認する	41
選択する	39
ソフトの印刷機能を使う	24

た

体験版

ライセンスについて	146
-----------	-----

ダイヤル

番号ボタンで入力する	45
------------	----

短縮パネル

短縮パネルから送り先を選ぶ	47
短縮パネルを削除する	86
短縮パネルを登録する	84
短縮パネルを変更する	85

ち

小さくなる

送信した原稿のサイズが小さくなる	144
------------------	-----

つ

追加ライセンス

サーバー(親)をセットアップする	105
ライセンスについて	146

通信記録

過去に送受信した原稿を使う	31
---------------	----

て

定型原稿

定型原稿を使う	30
定型原稿に登録する	130
データをバックアップする	98
データを復元する	99

転送・印刷

受信したFAXをメール転送する・自動印刷する	69
------------------------	----

電話帳

エクセルやCSVの住所録を電話帳に追加する	77
電話帳から送り先を選ぶ	46
グループ設定を使う	81
電話帳を一覧表(CSV)に書き出す・印刷する	83
電話帳を削除する	80
電話帳を登録する	76
電話帳を変更する	79
複数の電話帳を使いわける	132

と

同報送信

一時停止・再開する	121
同報送信を行う	120

ドラッグ&ドロップ

トラブルシューティング	27
困ったときは	139

取り消し

同報送信を一時停止・再開する	121
登録したワード送付状を取り消す	44
登録した原稿から不要なページを取り消す	36
登録した原稿を取り消す	35
登録した送り先を取り消す	48
登録した送付状を取り消す	41
短縮パネルを削除する	86
電話帳を削除する	80

に

二枚目

- 短縮パネルから選ぶ 47
- 電話帳から選ぶ 46
- 番号ボタンで入力する 45

二枚目

- FAX原稿のページ数が変わってしまう(ページ割れする) 144
- 別の原稿を追加する 32

は

バックアップ

..... 98

はんこ

- QRコード付きのFAX原稿を送る 122
- 受信したFAXを編集する 65
- 登録した原稿を確認する 33

ふ

ファクス

- FAXの送り先を決める 45
- FAXの送信結果を見る 54
- FAXを受信する 59
- 送る原稿を決める 24
- 受信したFAXをメール転送する・自動印刷する 69
- 受信したFAXを確認する 63
- 送信を開始する 49
- 送付状を選ぶ 37

ファクス転送

- 受信したFAXをFAXで転送する 72, 73

復元

- データを復元する・他のパソコンへデータを移す 99

プリンタ

- FAXの送信結果を見る 54
- 受信したFAXを印刷する 66
- 受信結果の一覧表を保存・印刷する 68
- 受信したFAXをプリンタで印刷する 71
- 送信結果の一覧表を保存・印刷する 56

へ

- ページFAXを使う 129
- ページヘッダを使う 126
- ヘルプについて 10, 150

ほ

- 他のパソコンへデータを移す 99

め

- メール転送 69

も

文字

- FAX原稿の文字が薄い 144

ゆ

- ユーザーサポートを受けるためには 149

- ユーザー登録について 149

よ

- 予約送信 50, 51

ら

- ライセンスについて 146

- ライセンス認証 147

り

リカバリ

- STARFAXをアンインストール(削除)する 101
- オンラインアップデートについて 100
- データをバックアップする 98
- データを復元する・他のパソコンへデータを移す 99

リストア

- データを復元する・他のパソコンへデータを移す 99

わ

割り込み送信する 52

ワード

FAX原稿のページ数が変わってしまうときは 25

ワード送付状・送付状も参照

確認する 44

選択する 42

ワード送付状をつくる 93

Credit

Producer

Tsuda Itaru

Director

Oh Kanehide

Assistant Director

Tanabe Kazuko

Art Director

Hirai Kiyotaka

Programmer

Sakai Toshio

Quality Assurance Director

Morimoto Shinpei

WebSite Director

Morimoto Takeshi

Sales Director

Kawada Tetuya

NetSales

Nakahara Yasushi

Ryota Emi

Manual

Ayama Osamu(studio oh's)

Morimoto Shinpei

Tanabe Kazuko

Production

Tokai Midori

Tester

Morimoto Shinpei

Valtes Corporation

STARFAX 14/14Lite ユーザーズマニュアル

発行日：2009年8月 初版

発行者：メガソフト株式会社

〒564-0053

大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

MEGASOFT®